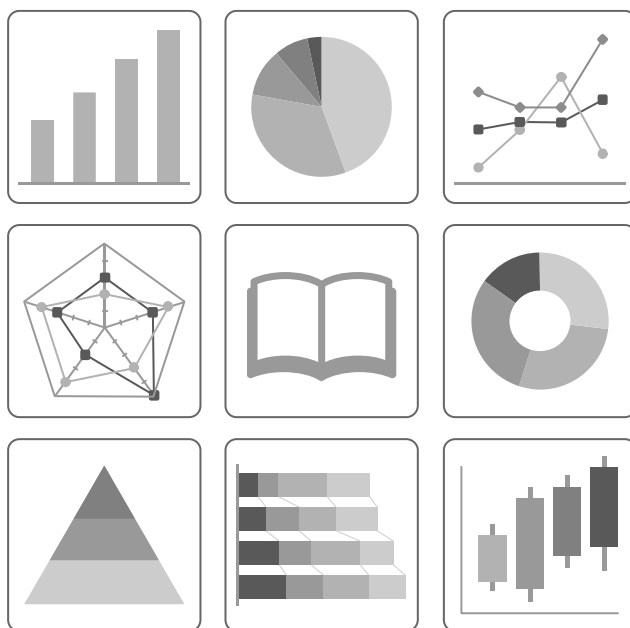


二宮町

子ども・子育て支援に関するアンケート調査 調査結果報告書



令和6年3月

二 宮 町

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果.....	2
1	未就学	2
	(1) お住まいの地域について	2
	(2) お子さんご家族の状況について	3
	(3) 子どもの育ちをめぐる環境について	5
	(4) ご家族の経済状況について	9
	(5) 保護者の就労状況について	11
	(6) 平日の「定期的」な教育・保育事業の利用状況について	21
	(7) 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の 利用希望について	32
	(8) 地域の子育て支援事業の利用状況について	38
	(9) 病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	44
	(10) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	51
	(11) あて名のお子さんが5歳以上（年長児）である方の、 小学校就学後の放課後の過ごし方について	57
	(12) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	65
	(13) 子どもの権利について	76
	(14) 子育て全般について	78

2	小学生	86
(1)	お住まいの地域について	86
(2)	お子さんご家族の状況について	87
(3)	子どもの育ちをめぐる環境について	89
(4)	ご家族の経済状況について	93
(5)	保護者の就労状況について	95
(6)	病気の際の対応について	104
(7)	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	110
(8)	放課後の過ごし方や学校生活について	115
(9)	子どもの権利について	121
(10)	子育て全般について	123

Ⅲ	自由意見.....	131
---	-----------	-----

1	未就学	131
2	小学生	132

Ⅳ	調査票.....	133
---	----------	-----

I 調査の概要

1 調査の目的

新たな「二宮町子ども・子育て支援事業計画」を策定（令和7年度）するにあたり、子ども・子育て支援に関する生活実態や要望・意見などを把握するための基礎資料を得るために実施。

2 調査対象

未就学：町内の未就学のお子さんがある 700 世帯

小学生：町内の小学生がいる 300 世帯

3 調査期間

令和5年12月12日から令和5年12月28日

4 調査方法

郵送配布・郵送回収（督促を兼ねた礼状を1回発送）

5 回収状況

	配 布 数	有効回答数	有効回答率
未就学	700 通	383 通	54.7%
小学生	300 通	156 通	52.0%

6 調査結果の表示方法

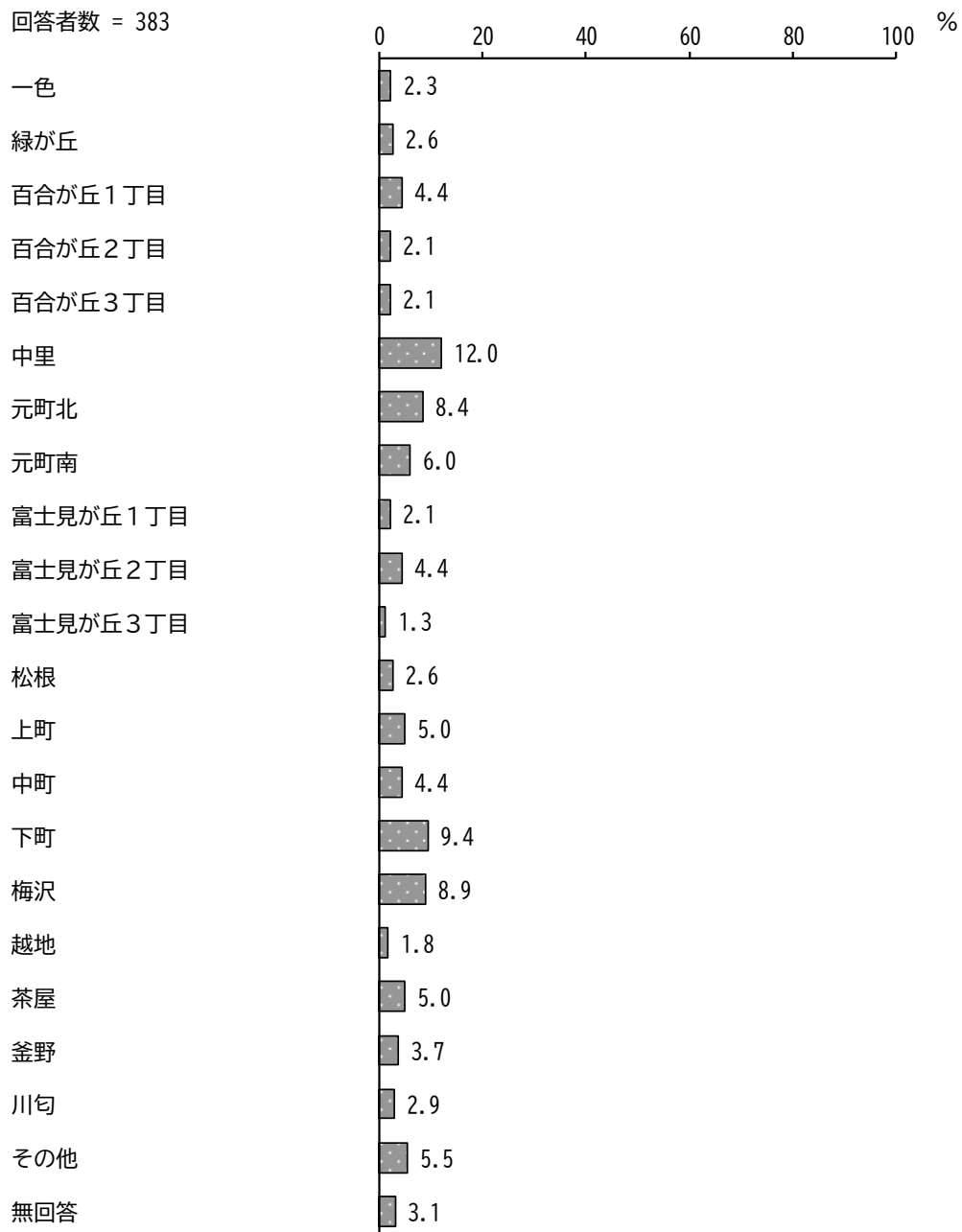
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

Ⅱ 調査結果

1 未就学

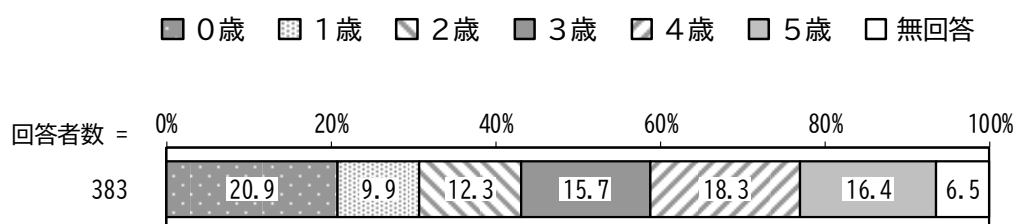
(1) お住まいの地域について

問1 お住まいの地区としてあてはまる番号1つに○をつけてください。



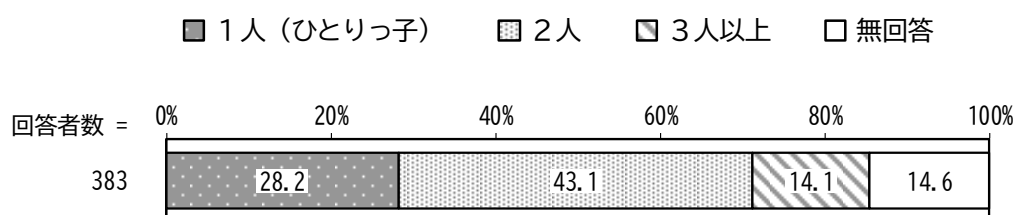
(2) お子さんご家族の状況について

問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。和暦を選んだ後、数字でご記入ください。

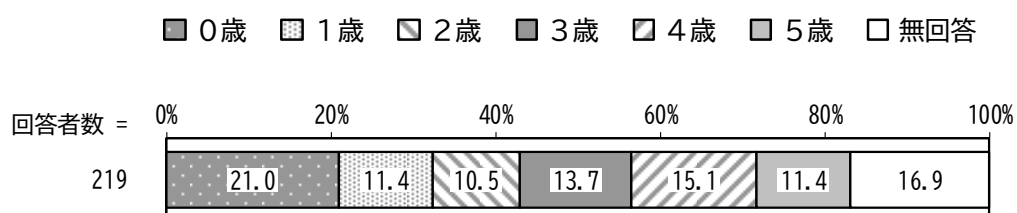


問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を () 内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月を、和暦を選んだ後、数字でご記入ください。

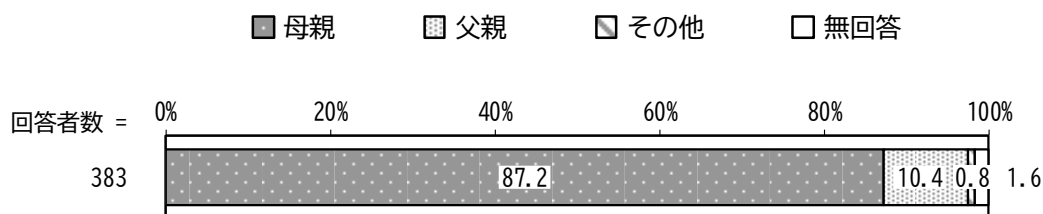
きょうだい数



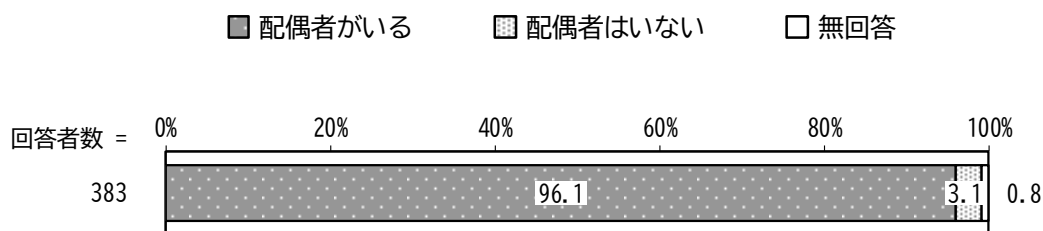
末子の年齢 (ひとりっ子を除く)



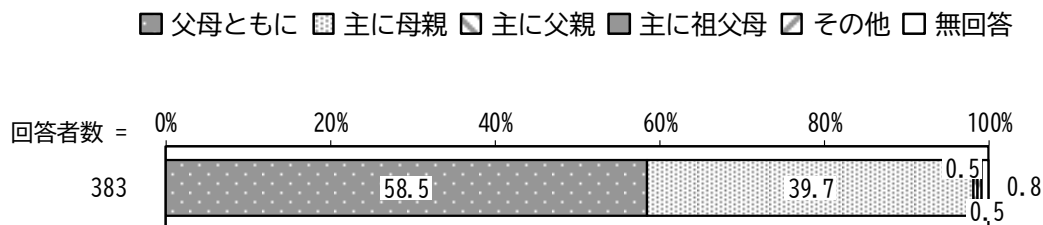
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。



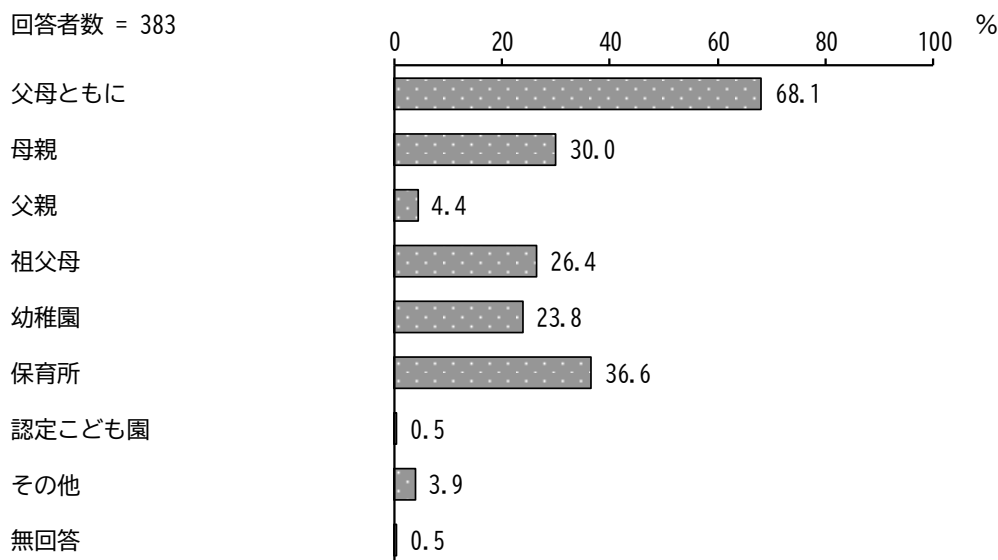
問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係であてはまる番号1つに○をつけてください。



(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

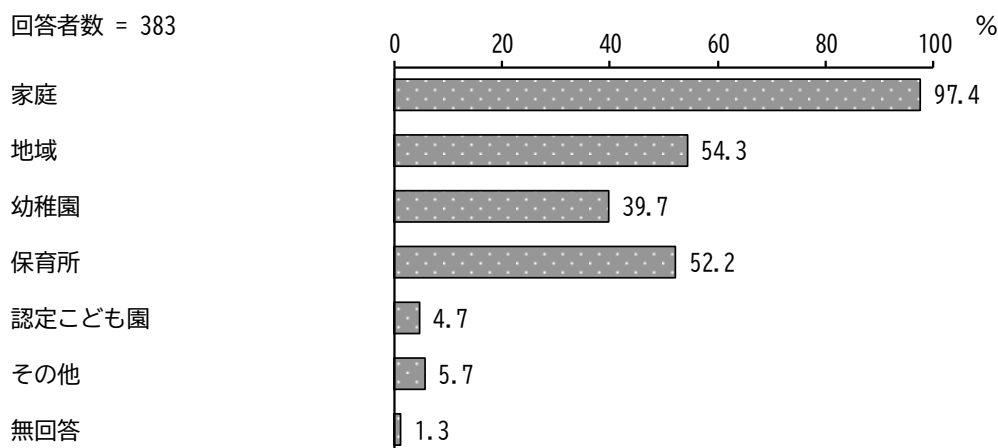
問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係であてはまる番号すべてに○をつけてください。

「父母ともに」の割合が 68.1%と最も高く、次いで「保育所」の割合が 36.6%、「母親」の割合が 30.0%となっています。



問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

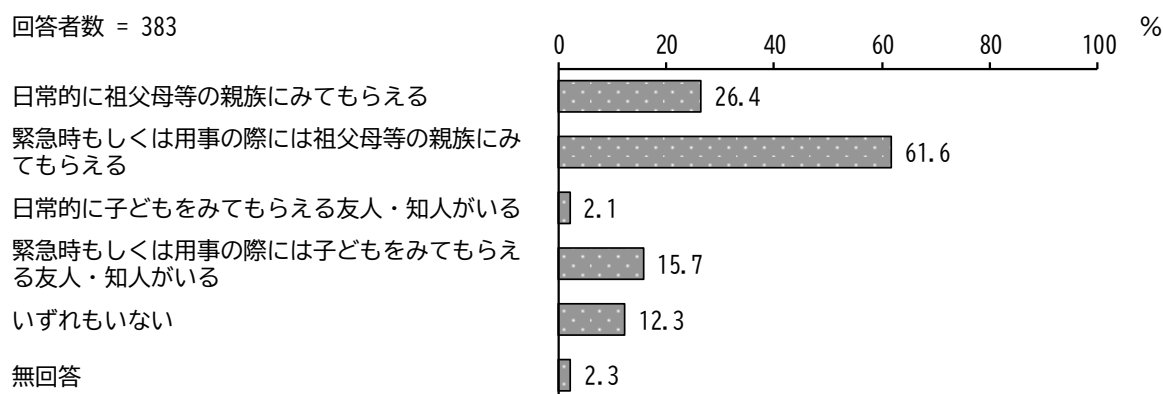
「家庭」の割合が 97.4%と最も高く、次いで「地域」の割合が 54.3%、「保育所」の割合が 52.2%となっています。



問9 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 61.6%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 26.4%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が 15.7%となっています。

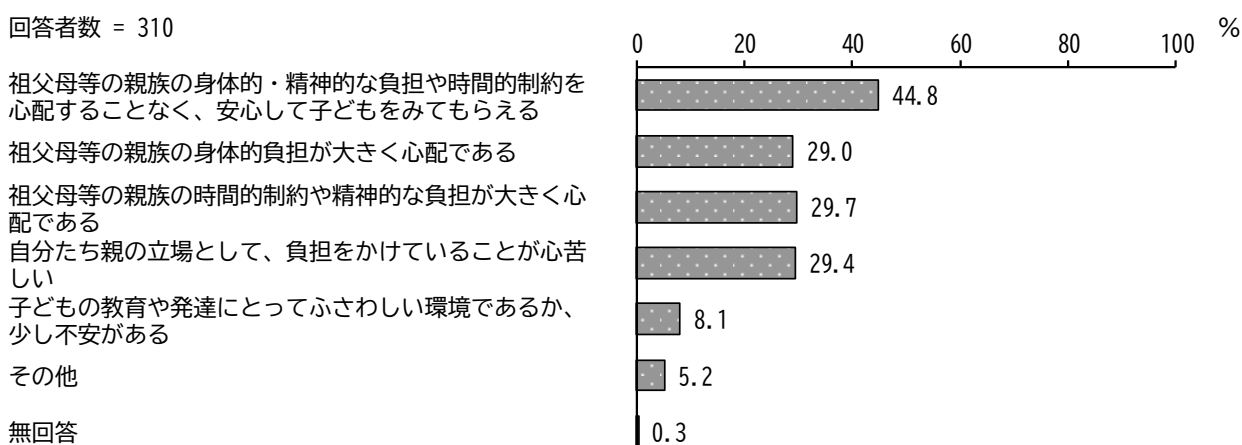
回答者数 = 383



問9-1 問9で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 44.8%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が 29.7%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 29.4%となっています。

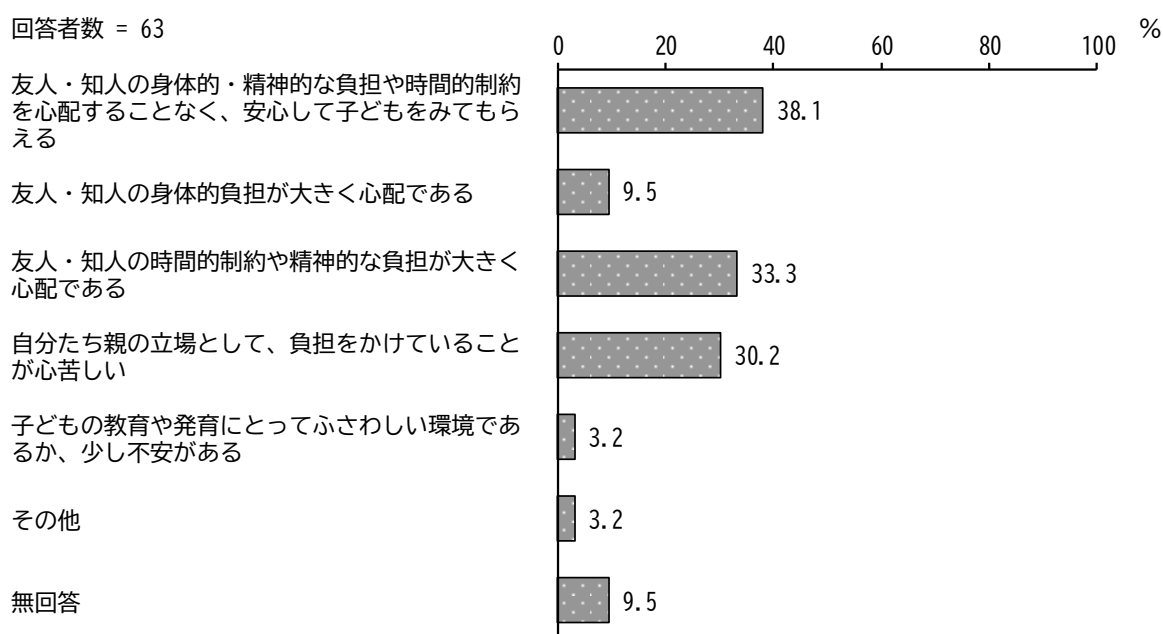
回答者数 = 310



問9-2 問9で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

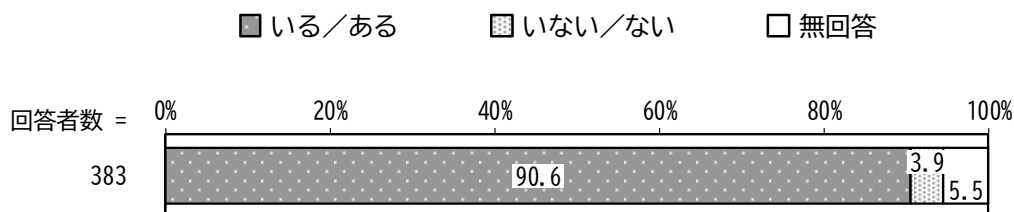
「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が38.1%と最も高く、次いで「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が33.3%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が30.2%となっています。

回答者数 = 63



問10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

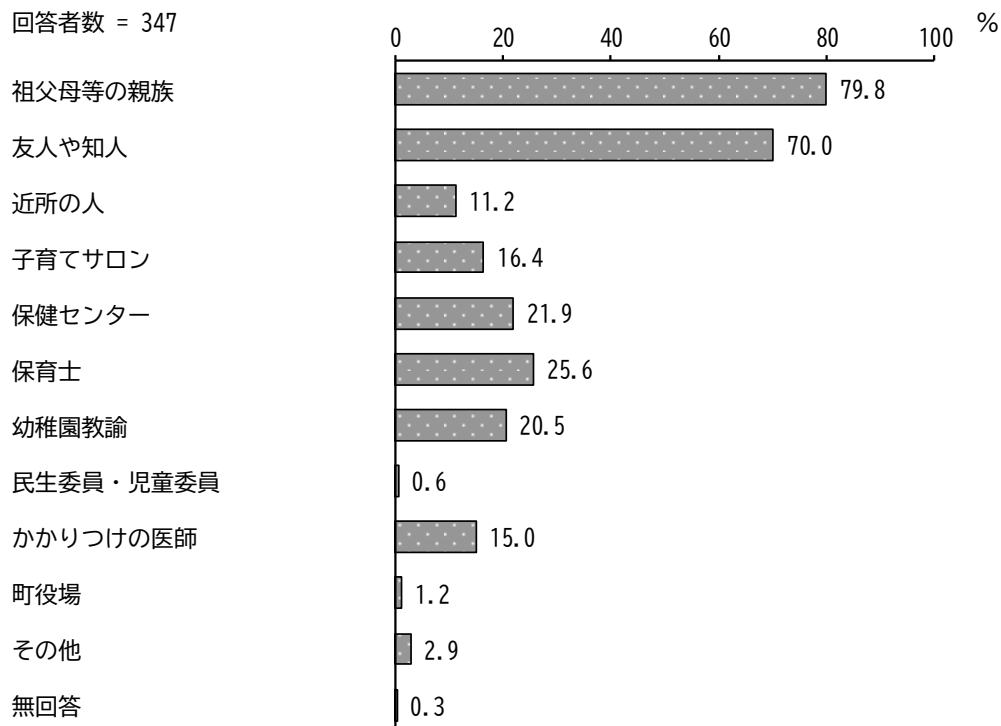
「いる／ある」の割合が90.6%、「いない／ない」の割合が3.9%となっています。



問10-1 問10で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族」の割合が79.8%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が70.0%、「保育士」の割合が25.6%となっています。



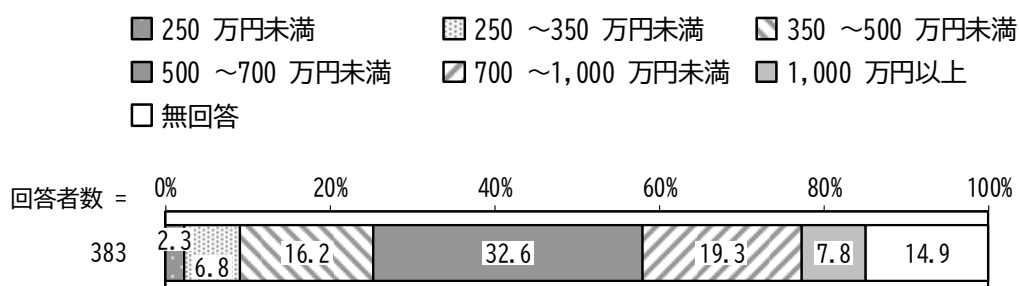
問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

一時預かり	51
相談	23
日常的なサポート	21
交流の場	18
金銭的サポート	14
病児・病後児保育の充実	8
広報・情報提供	7
遊びの場	6
子育てと仕事の両立	5
移動支援	2
施設の整備・増設	2
その他	15
現状で満足	2
なし	225
合計	399

(4) ご家族の経済状況について

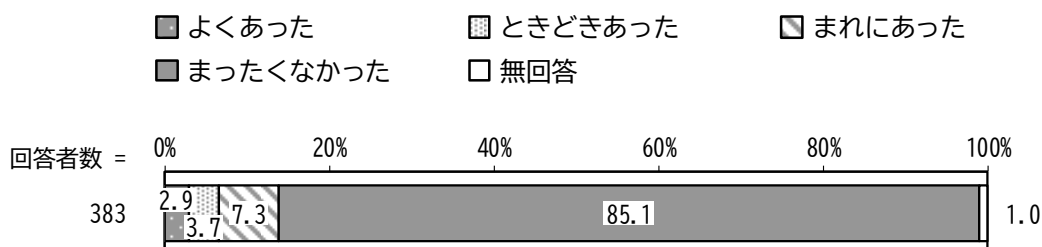
問 12 昨年1年間（令和4年1月～令和4年12月）の、家族全員の収入（所得税・住民税などの税金や健康保険料・介護保険料などを支払った後の手取り額）の合計額は、およそいくらでしたか。年間の世帯収入額をご記入ください。

「500 ～700 万円未満」の割合が 32.6%と最も高く、次いで「700 ～1,000 万円未満」の割合が 19.3%、「350 ～500 万円未満」の割合が 16.2%となっています。



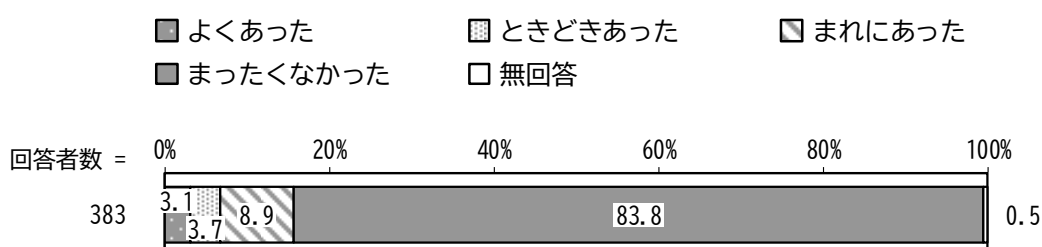
問 13 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が 85.1%と最も高くなっています。



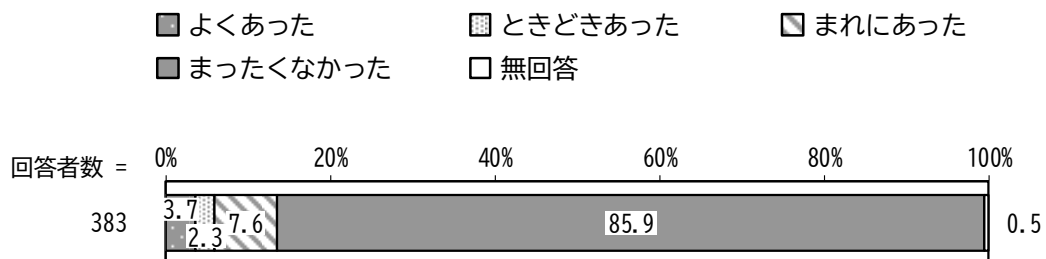
問 14 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が 83.8%と最も高くなっています。



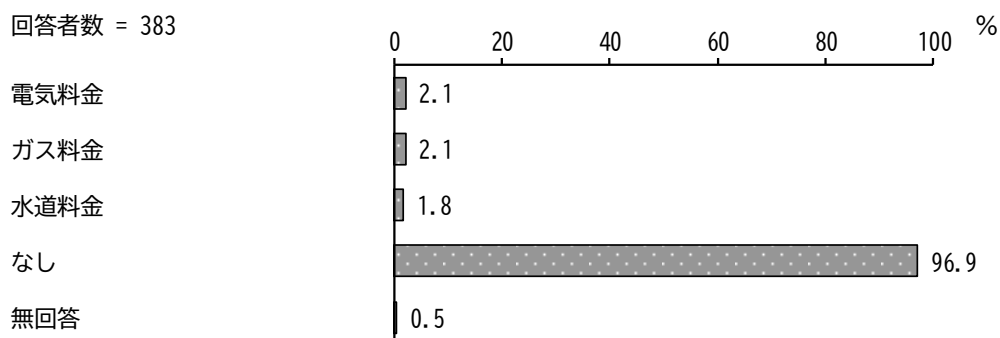
問 15 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、教育に関わるお金（保育料・学用品・給食費等）で困ったことがありましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が85.9%と最も高くなっています。



問 16 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください

「なし」の割合が96.9%と最も高くなっています。



(5) 保護者の就労状況について

問 17 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

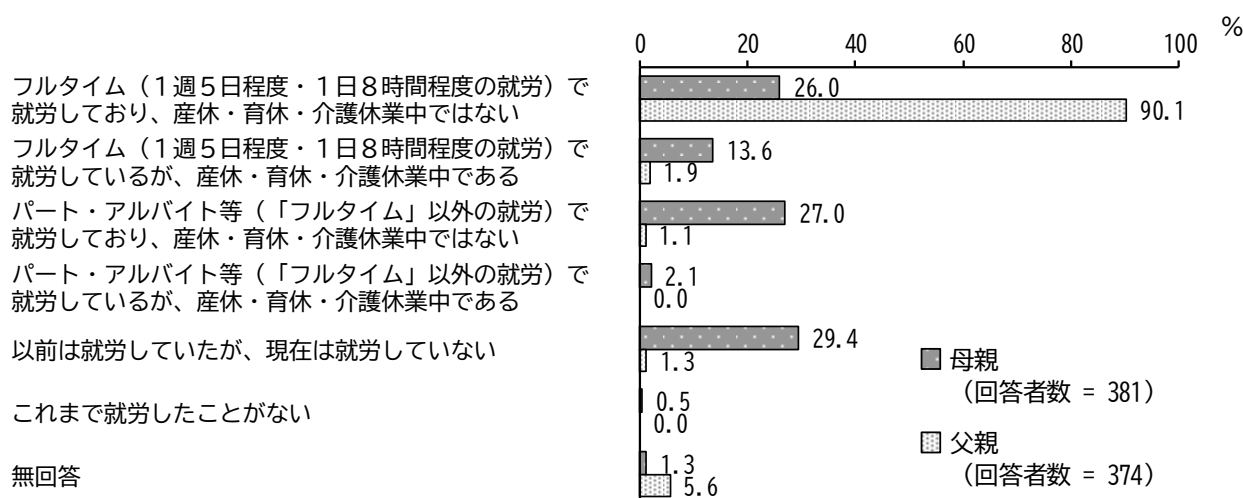
(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

母親では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 29.4%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 27.0%、「フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 26.0%となっています。

父親では、「フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しており、産休・介護休業中ではない」の割合が 90.1%と最も高くなっています。

比較すると、「母親」で「フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が高くなっています。一方、「父親」で「フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が高くなっています。



【母親 1週当たりの就労日数別】

1週当たりの就労日数別にみると、「週3日」で「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全 体	262	37.8	19.8	39.3	3.1	—	—	—
週1日	6	16.7	—	83.3	—	—	—	—
週2日	13	7.7	—	84.6	7.7	—	—	—
週3日	26	3.8	—	96.2	—	—	—	—
週4日	37	—	5.4	89.2	5.4	—	—	—
週5日	170	52.9	28.8	15.9	2.4	—	—	—
週6日	3	100.0	—	—	—	—	—	—
週7日	1	100.0	—	—	—	—	—	—

【父親 1週当たりの就労日数別】

1週当たりの就労日数別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数（件）	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全 体	348	96.8	2.0	1.1	—	—	—	—
週1日	—	—	—	—	—	—	—	—
週2日	1	100.0	—	—	—	—	—	—
週3日	6	83.3	—	16.7	—	—	—	—
週4日	5	80.0	—	20.0	—	—	—	—
週5日	269	97.0	2.2	0.7	—	—	—	—
週6日	45	100.0	—	—	—	—	—	—
週7日	8	100.0	—	—	—	—	—	—

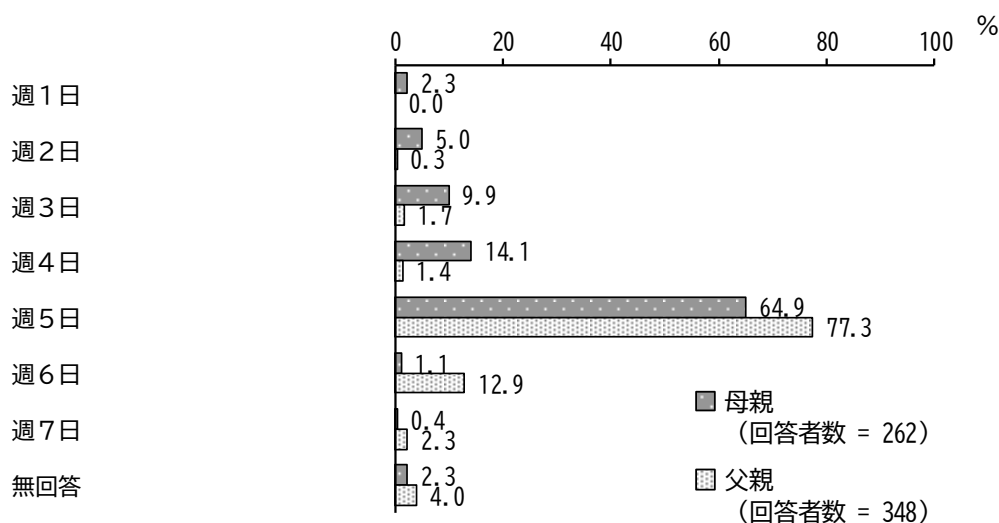
- (1) - 1 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。()内に数字でご記入ください。
- (2) - 1 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。()内に数字でご記入ください。

1週当たりの就労日数

母親では、「週5日」の割合が64.9%と最も高く、次いで「週4日」の割合が14.1%となっています。

父親では、「週5日」の割合が77.3%と最も高く、次いで「週6日」の割合が12.9%となっています。

比較すると、「母親」で「週3日」、「週4日」の割合が高くなっています。一方、「父親」で「週5日」、「週6日」の割合が高くなっています。

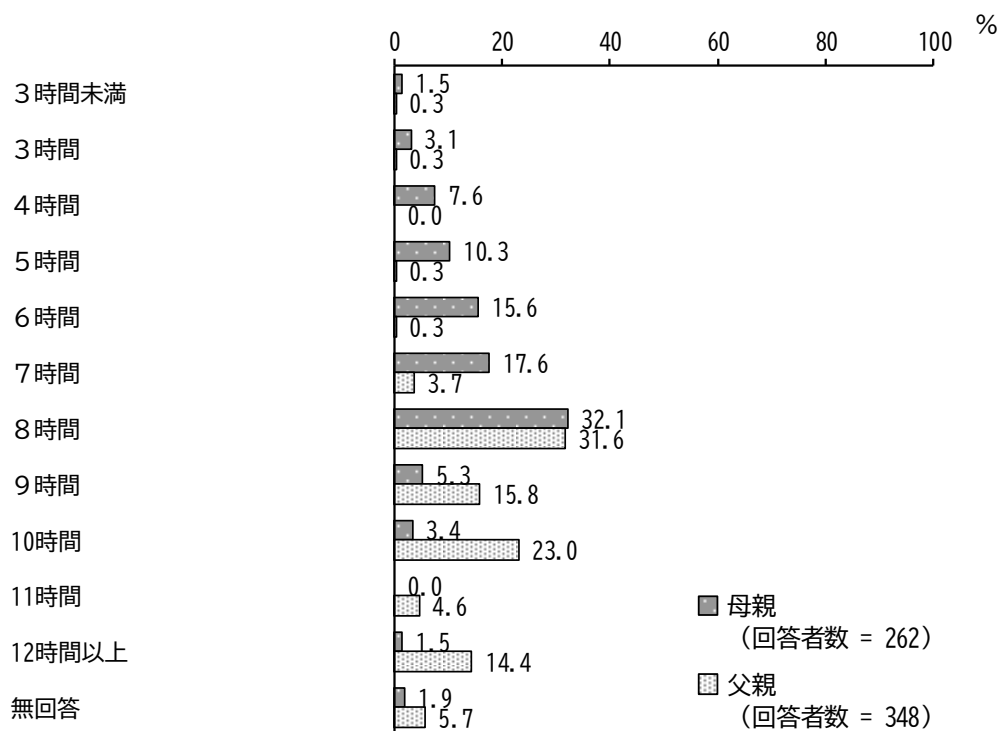


1 日当たりの就労時間

母親では、「8時間」の割合が 32.1%と最も高く、次いで「7時間」の割合が 17.6%、「6時間」の割合が 15.6%となっています。

父親では、「8時間」の割合が 31.6%と最も高く、次いで「10時間」の割合が 23.0%、「9時間」の割合が 15.8%となっています。

比較すると、「母親」で「4時間」、「5時間」、「6時間」、「7時間」の割合が高くなっています。一方、「父親」で「9時間」、「10時間」、「12時間以上」の割合が高くなっています。



(1) - 2 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時~18時のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。

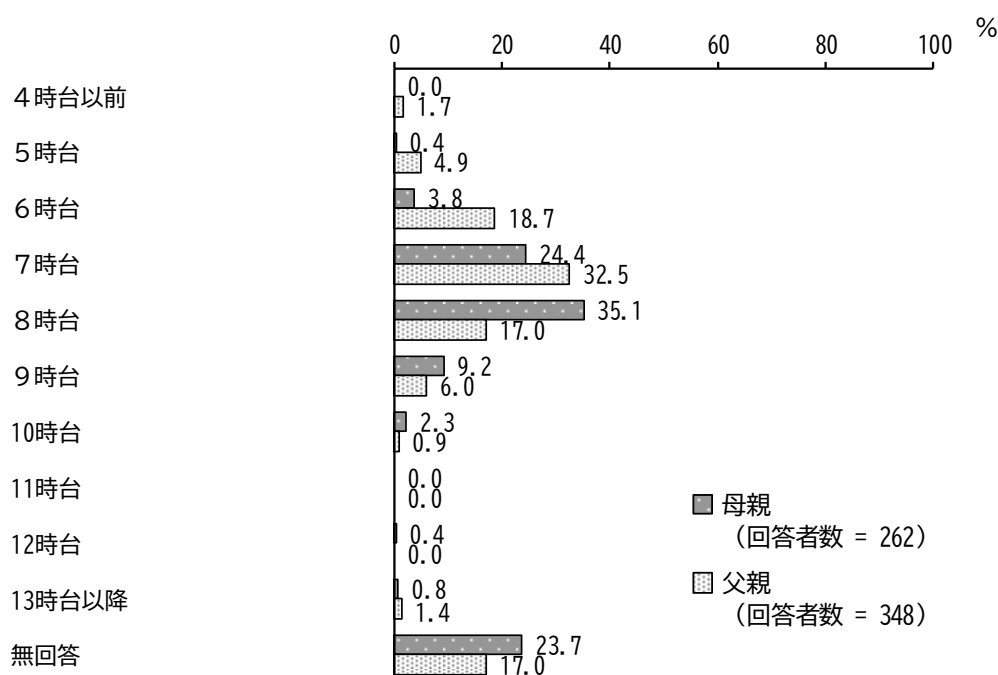
(2) - 2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時~18時のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。

家を出る時刻

母親では、「8時台」の割合が35.1%と最も高く、次いで「7時台」の割合が24.4%となっています。

父親では、「7時台」の割合が32.5%と最も高く、次いで「6時台」の割合が18.7%、「8時台」の割合が17.0%となっています。

比較すると、「母親」で「8時台」の割合が高くなっています。一方、「父親」で「6時台」、「7時台」の割合が高くなっています。

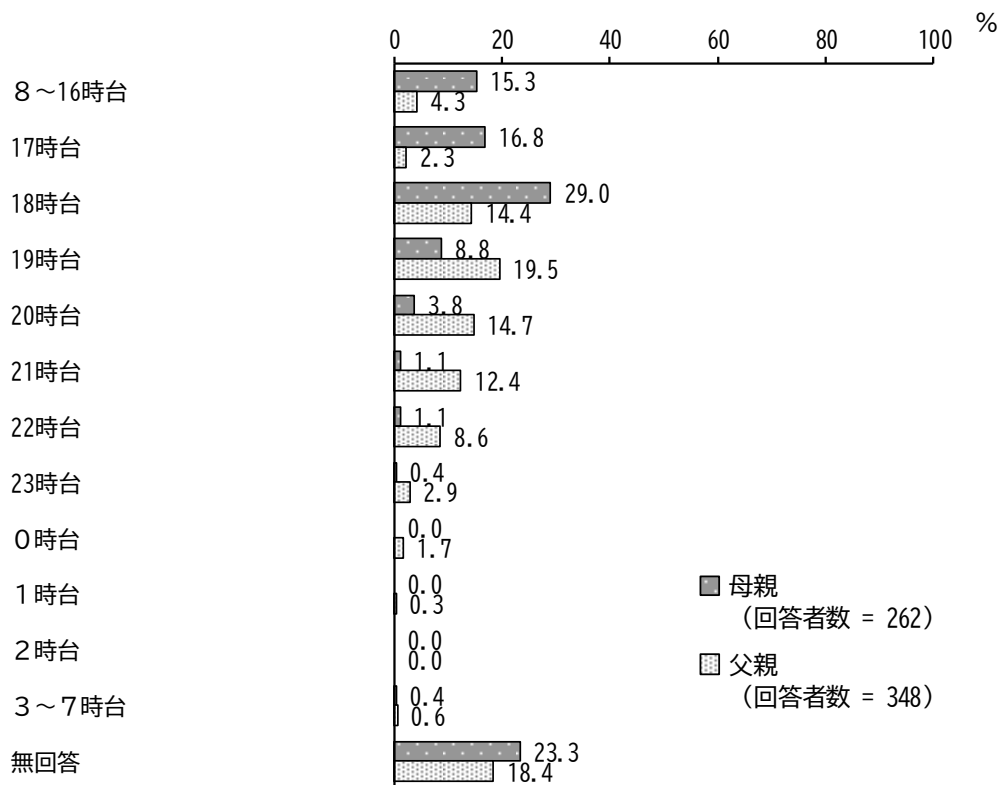


帰宅時刻

母親では、「18 時台」の割合が 29.0%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 16.8%、「8～16 時台」の割合が 15.3%となっています。

父親では、「19 時台」の割合が 19.5%と最も高く、次いで「20 時台」の割合が 14.7%、「18 時台」の割合が 14.4%となっています。

比較すると、「母親」で「8～16 時台」、「17 時台」、「18 時台」の割合が高くなっています。一方、「父親」で「19 時台」、「20 時台」、「21 時台」、「22 時台」の割合が高くなっています。

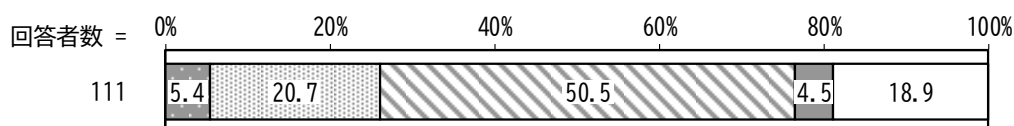


問18 問17の(1)または(2)で「3.」、「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問20へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

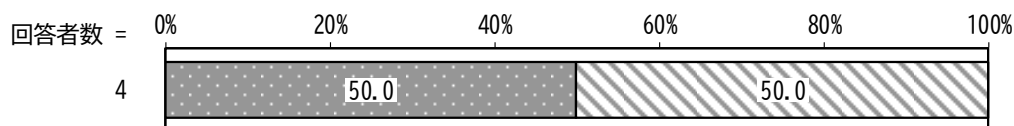
「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が50.5%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が20.7%となっています。

- ☒ フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- ☒ フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- ☒ パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- ☐ パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい
- ☐ 無回答



(2) 父親

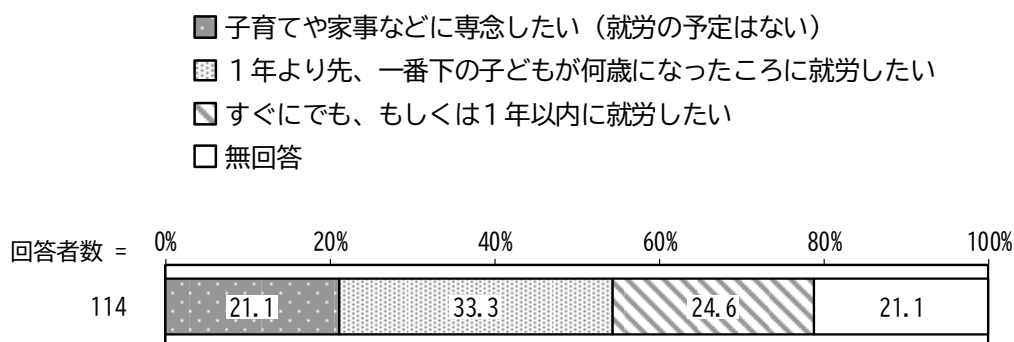
「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が2件となっています。



問 19 問 17 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 20 へお進みください。
就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する () 内には数字でご記入ください。

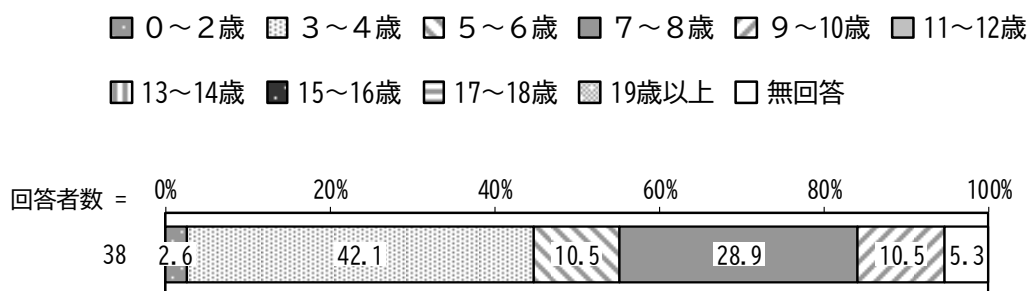
(1) 母親

「1 年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1 年以内に就労したい」の割合が 24.6%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が 21.1%となっています。



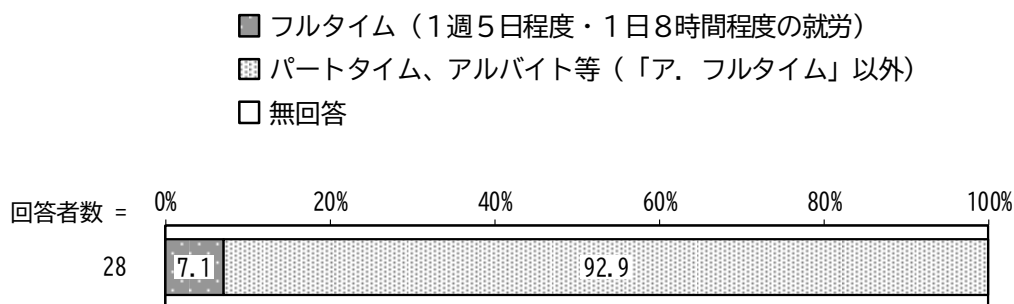
末子の年齢による就労意向

「3～4 歳」の割合が 42.1%と最も高く、次いで「7～8 歳」の割合が 28.9%、「5～6 歳」、「9～10 歳」の割合が 10.5%となっています。



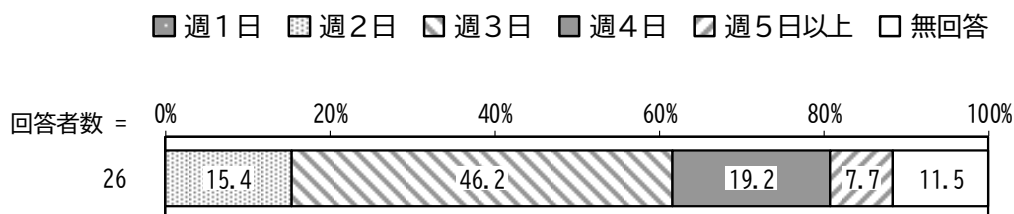
希望する就労形態

「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）」の割合が 7.1%、「パートタイム、アルバイト等（「ア. フルタイム」以外）」の割合が 92.9%となっています。



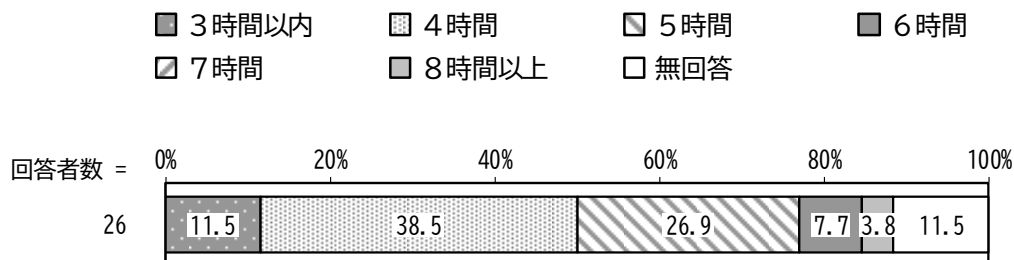
希望する就労日数（１週当たり）

「週３日」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「週４日」の割合が 19.2%、「週２日」の割合が 15.4%となっています。



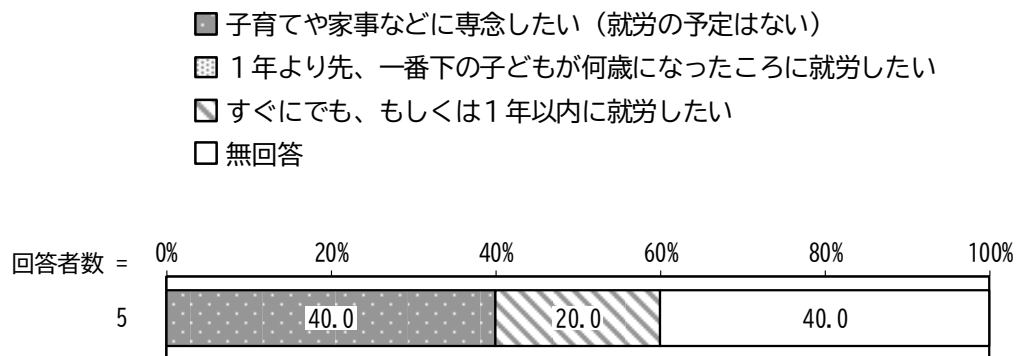
希望する就労時間（１日当たり）

「４時間」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「５時間」の割合が 26.9%、「３時間以内」の割合が 11.5%となっています。



(2) 父親

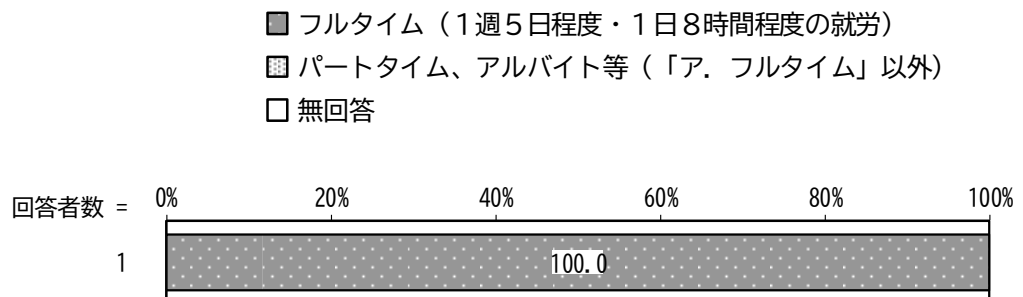
「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が2件となっています。「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1件となっています。



末子の年齢による就労意向
有効回答がありませんでした。

希望する就労形態

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が1件となっています。



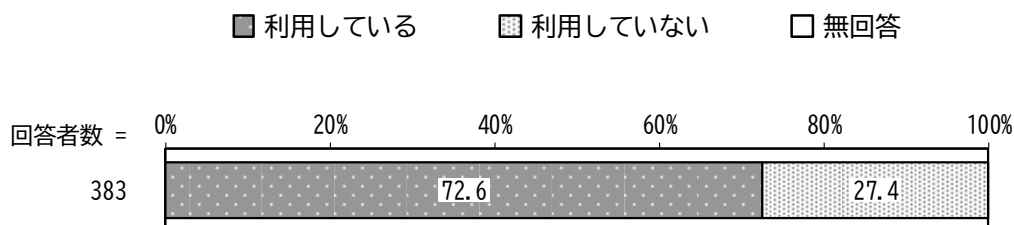
希望する就労日数（1週当たり）
有効回答がありませんでした。

希望する就労時間（1日当たり）
有効回答がありませんでした。

（６）平日の「定期的」な教育・保育事業の利用状況について

問 20 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

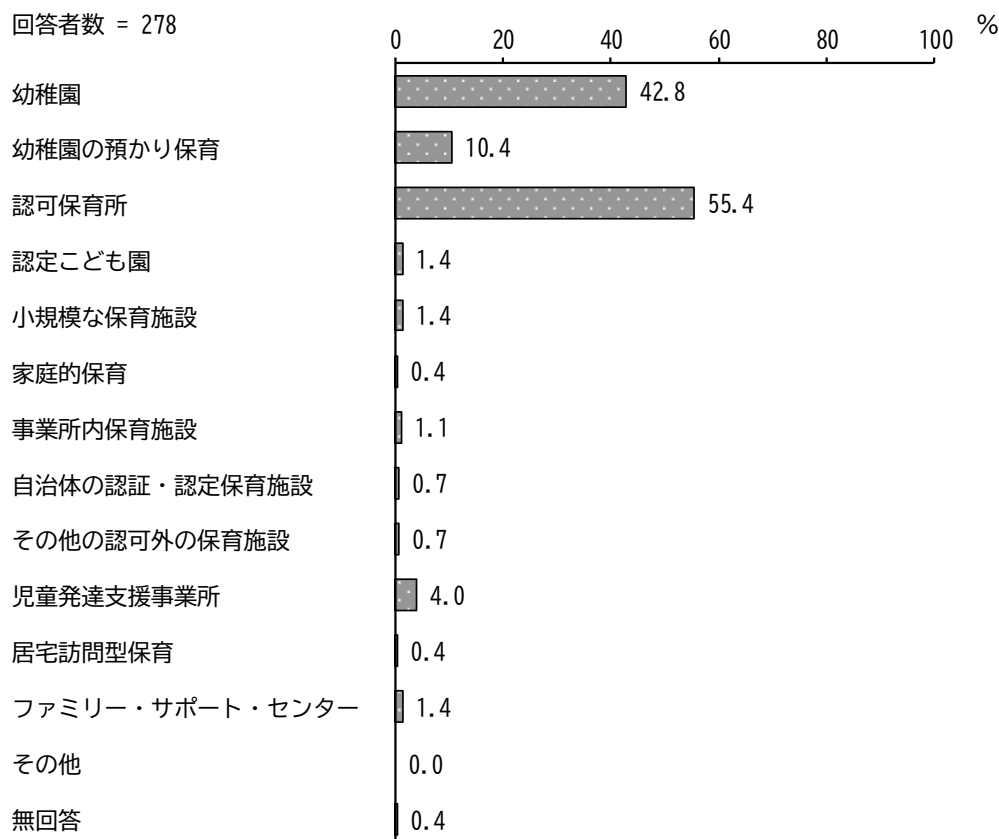
「利用している」の割合が 72.6%、「利用していない」の割合が 27.4%となっています。



問 20-1 問 20 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「認可保育所」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が 42.8%、「幼稚園の預かり保育」の割合が 10.4%となっています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」で「認可保育所」の割合が、「以前は就労していたが、現在は就労していない」で「幼稚園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園	育 幼稚園の預かり保	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設
全 体	276	43.1	10.5	55.1	1.4	1.4	0.4	1.1
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	99	14.1	6.1	82.8	2.0	2.0	－	2.0
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	15	13.3	－	86.7	－	－	－	－
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	89	42.7	20.2	56.2	1.1	2.2	1.1	1.1
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	3	33.3	33.3	66.7	－	－	－	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	65	96.9	6.2	1.5	1.5	－	－	－
これまで就労したことがない	1	100.0	－	－	－	－	－	－

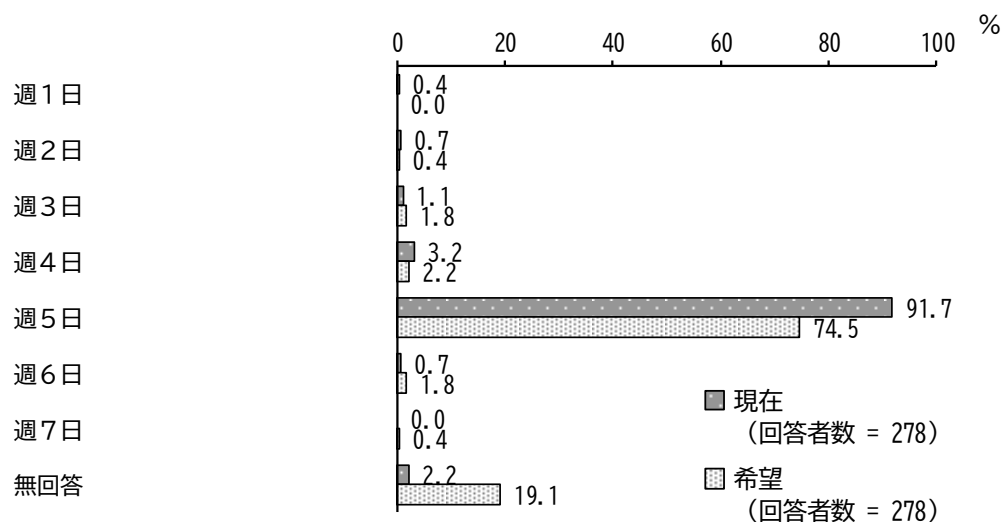
区分	自治体の認証・認定 保育施設	その他の認可外の 保育施設	児童発達支援事業 所	居宅訪問型保育	ファミリー・サポ ート・センター	その他	無回答
全 体	0.7	0.7	4.0	0.4	1.4	－	0.4
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	－	－	4.0	1.0	2.0	－	－
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	－	－	－	－	－	－	－
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1.1	2.2	5.6	－	1.1	－	1.1
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	－	－	－	－	－	－	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	1.5	－	3.1	－	－	－	－
これまで就労したことがない	－	－	－	－	－	－	－

問 20－2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週間当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、（ ）内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。

1週間当たりの利用日数

現在、希望ともに、「週5日」の割合が最も高く、「現在」で91.7%、「希望」で74.5%となっています。

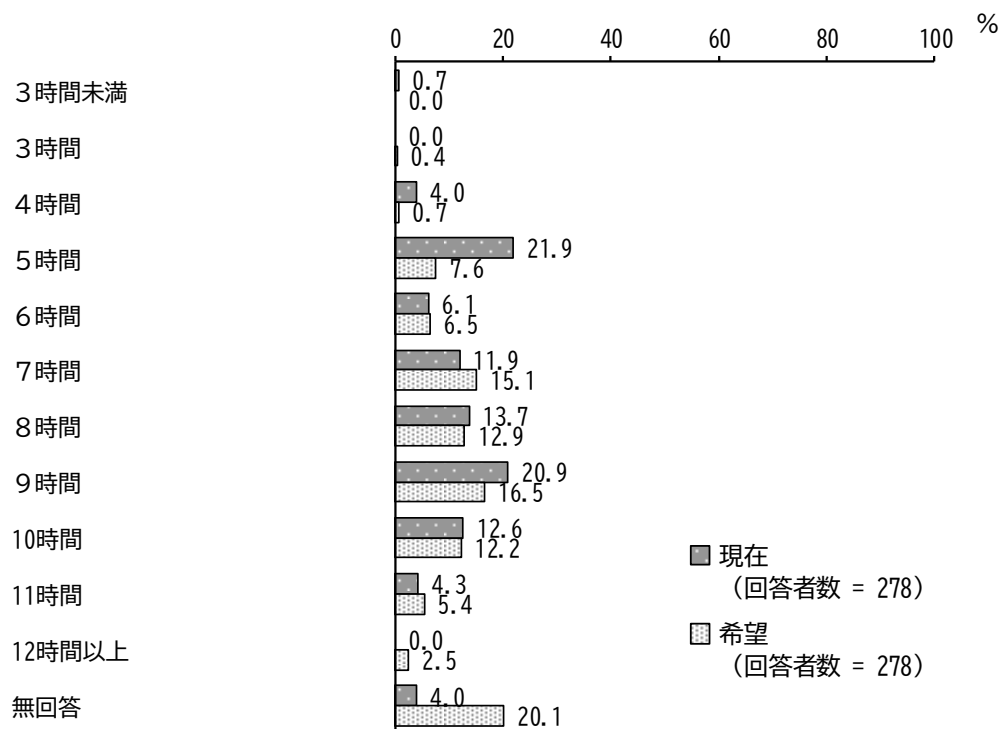
比較すると、「現在」で「週5日」の割合が高くなっています。



1 日当たりの利用時間

現在では、「5時間」の割合が 21.9%と最も高く、次いで「9時間」の割合が 20.9%、「8時間」の割合が 13.7%となっています。

希望では、「9時間」の割合が 16.5%と最も高く、次いで「7時間」の割合が 15.1%、「8時間」の割合が 12.9%となっています。



【現在 母親の就労時間別】

母親の就労時間別にみると、母親の就労時間が長いほど、1日当たりの利用時間も長くなっています。

単位：％

区分		回答者数 (件)	平日の利用時間											無回答
			3時間未満	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間以上	
全 体		206	—	—	1.5	8.3	4.4	14.1	17.5	27.2	17.0	5.3	—	4.9
母親の就労時間	3時間未満	4	—	—	—	50.0	—	25.0	25.0	—	—	—	—	—
	3時間	7	—	—	—	71.4	14.3	—	—	—	—	—	—	14.3
	4時間	17	—	—	5.9	5.9	11.8	29.4	17.6	17.6	—	—	—	11.8
	5時間	23	—	—	4.3	17.4	4.3	34.8	17.4	13.0	—	—	—	8.7
	6時間	36	—	—	2.8	5.6	2.8	5.6	27.8	36.1	8.3	5.6	—	5.6
	7時間	40	—	—	—	2.5	5.0	17.5	15.0	30.0	25.0	2.5	—	2.5
	8時間	59	—	—	—	1.7	3.4	8.5	15.3	30.5	28.8	8.5	—	3.4
	9時間	10	—	—	—	—	—	—	10.0	40.0	30.0	20.0	—	—
	10時間	5	—	—	—	20.0	—	20.0	20.0	—	20.0	20.0	—	—
	11時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12時間以上	3	—	—	—	—	—	—	33.3	33.3	33.3	—	—	—

【希望 母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、パート・アルバイト等で就労している人に比べ、フルタイムで就労している人で1日当たりの利用時間は長くなっています。

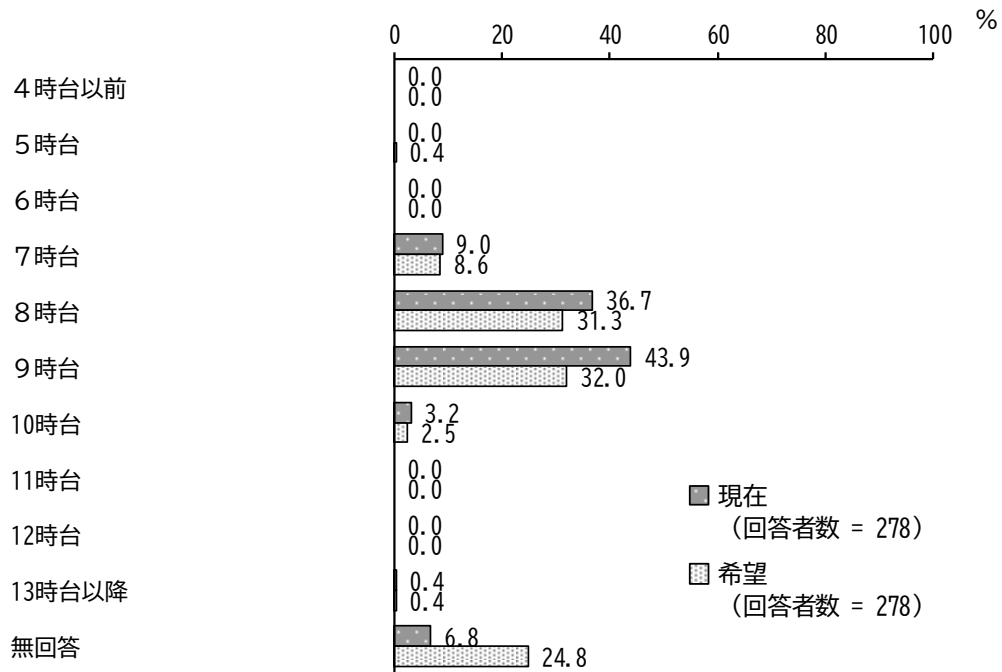
単位：％

区分		回答者数 (件)	平日の利用時間											無回答
			3時間未満	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間以上	
全 体		276	—	0.4	0.7	7.6	6.5	15.2	13.0	16.7	12.0	5.1	2.5	20.3
母親の就労状況	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	99	—	—	—	1.0	1.0	8.1	12.1	22.2	24.2	8.1	3.0	20.2
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	15	—	—	—	—	—	33.3	6.7	13.3	6.7	13.3	6.7	20.0
	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	89	—	—	—	6.7	4.5	16.9	18.0	19.1	6.7	4.5	3.4	20.2
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	3	—	—	—	—	—	33.3	—	33.3	—	—	—	33.3
	以前は就労していたが、現在は就労していない	65	—	1.5	3.1	21.5	18.5	20.0	9.2	3.1	3.1	—	—	20.0
	これまで就労したことがない	1	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—

利用開始時刻

現在、希望ともに、「9時台」の割合が最も高く、「現在」で43.9%、「希望」で32.0%となっています。次いで、「8時台」の割合が高く、現在で36.7%、希望で31.3%となっています。

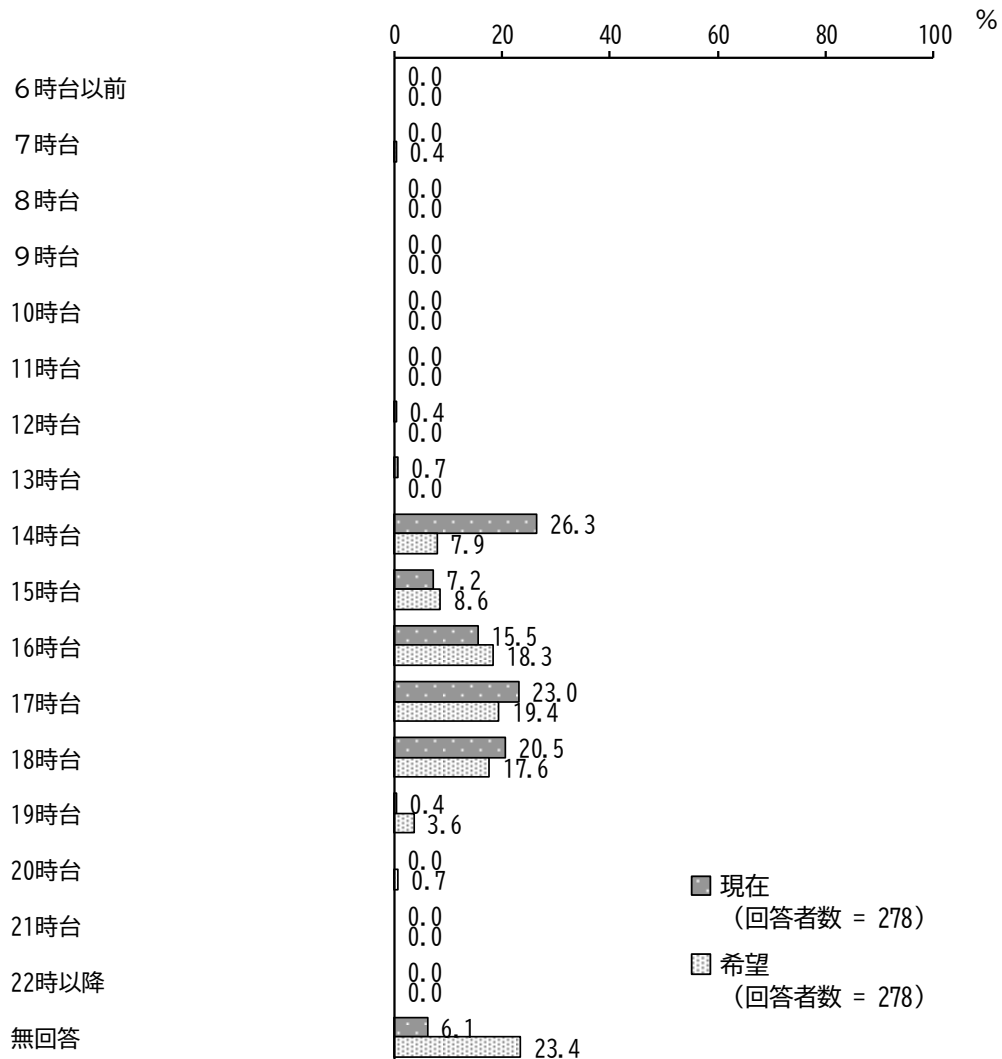
比較すると、「現在」で「8時台」、「9時台」の割合が高くなっています。



利用終了時刻

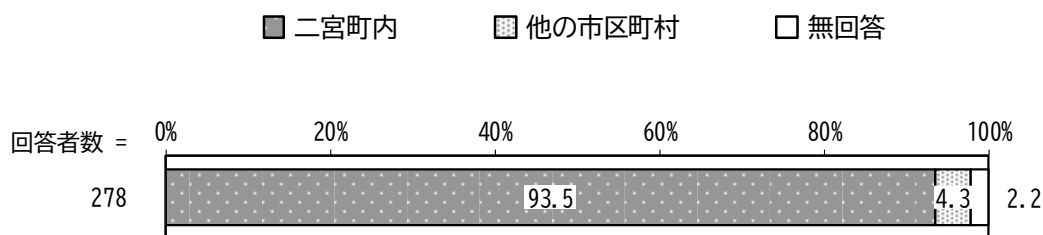
現在では、「14 時台」の割合が 26.3%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 23.0%、「18 時台」の割合が 20.5%となっています。

希望では、「17 時台」の割合が 19.4%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 18.3%、「18 時台」の割合が 17.6%となっています。



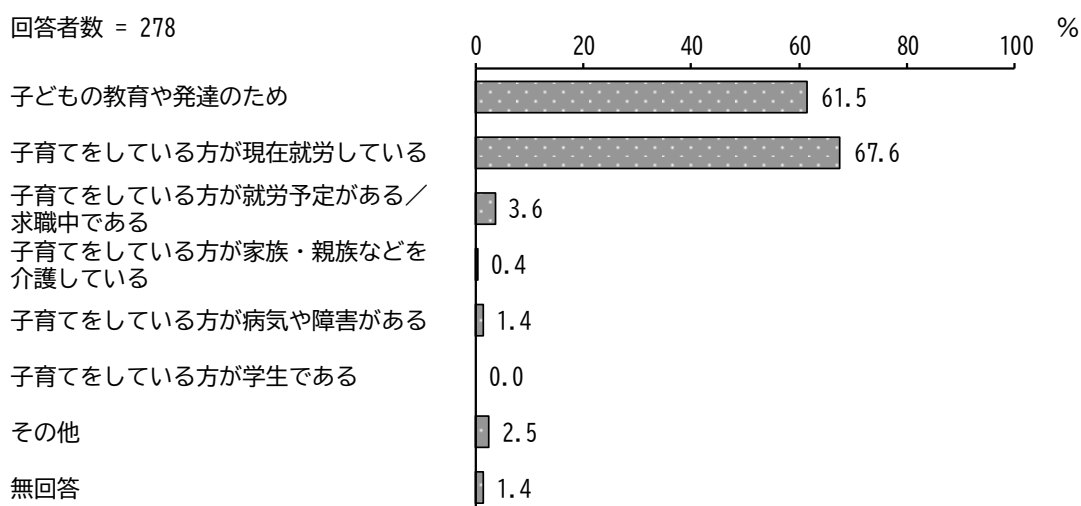
問 20－3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。
「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

「二宮町内」の割合が 93.5%、「他の市区町村」の割合が 4.3%となっています。



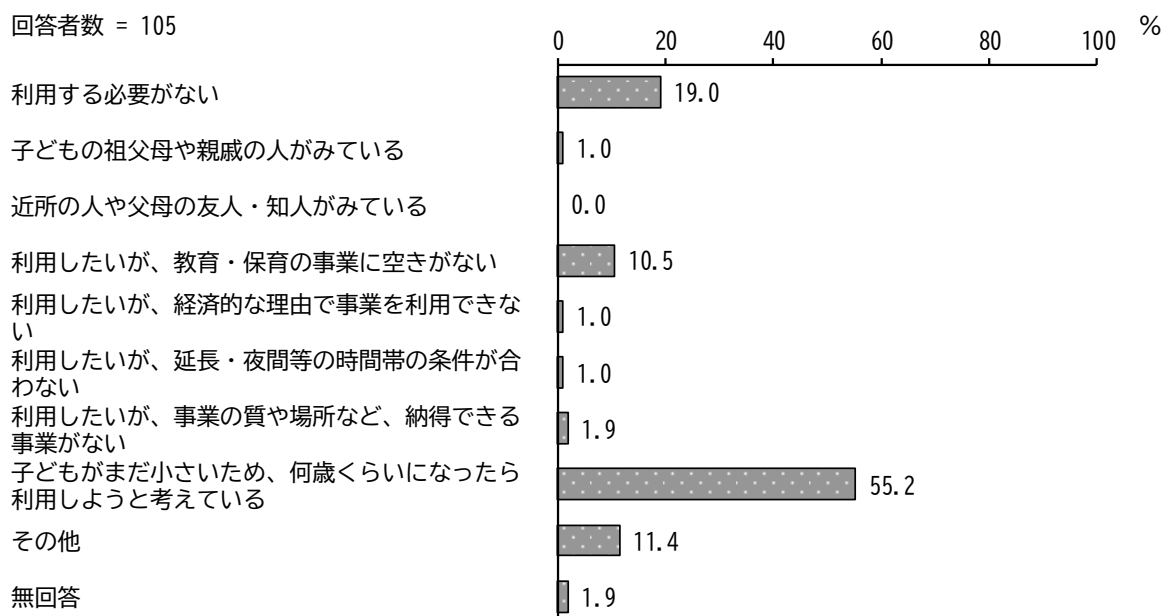
問 20－4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「子育てをしている方が現在就労している」の割合が 67.6%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が 61.5%となっています。



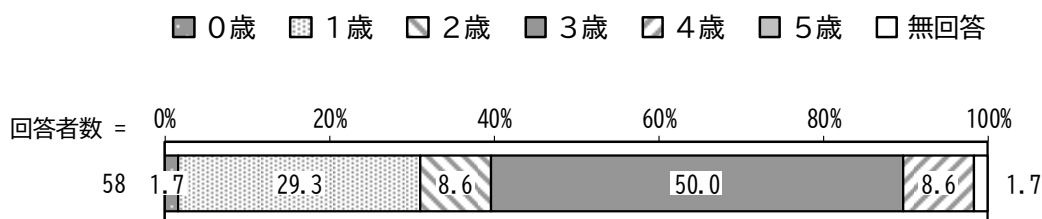
問 20－5 問 20 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
利用していない理由は何ですか。理由としてもっともあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもがまだ小さいため、何歳くらいになったら利用しようと考えている」の割合が 55.2%と最も高く、次いで「利用する必要がない」の割合が 19.0%、「利用したいが、教育・保育の事業に空きがない」の割合が 10.5%となっています。



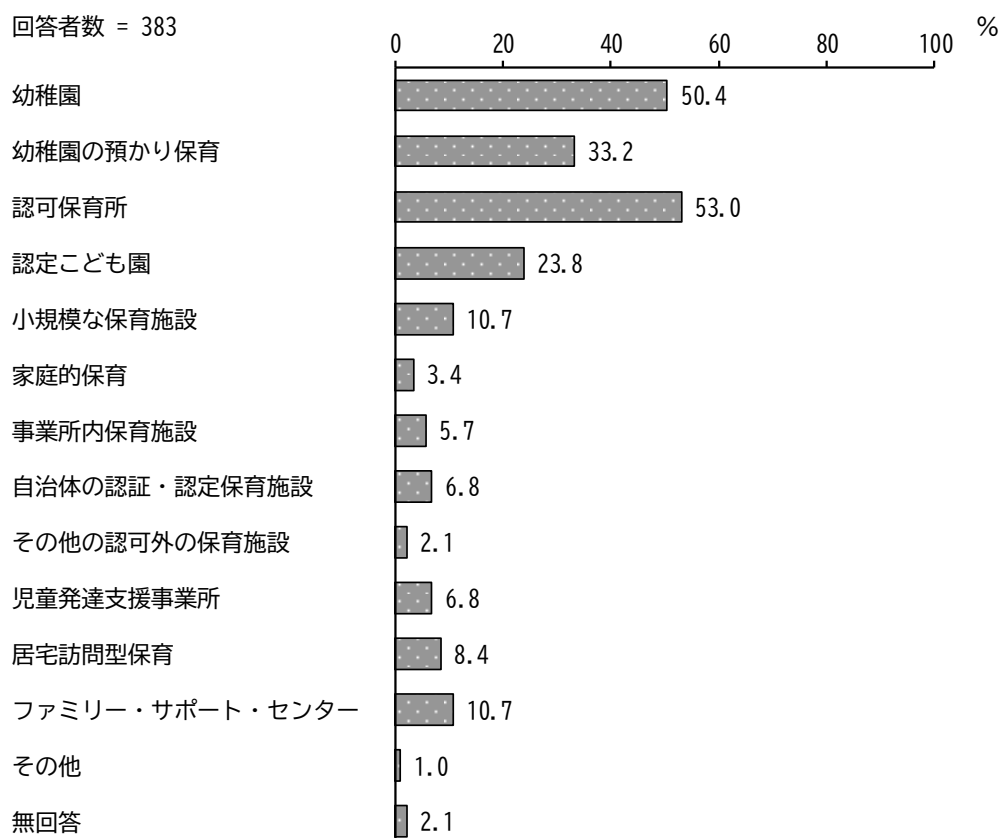
定期的な教育・保育事業の利用開始年齢

「3歳」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「1歳」の割合が 29.3%となっています。
また、3歳未満の割合は 39.6%となっています。



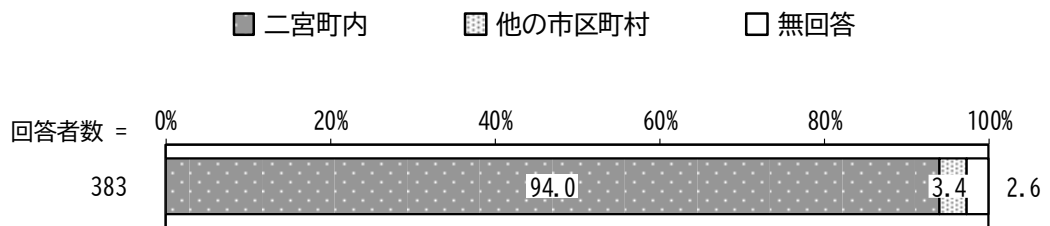
問 21 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

「認可保育所」の割合が 53.0%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が 50.4%、「幼稚園の預かり保育」の割合が 33.2%となっています。



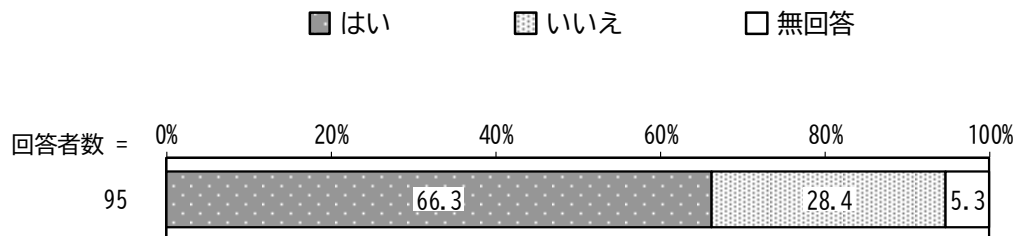
問 21－1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

「二宮町内」の割合が 94.0%、「他の市区町村」の割合が 3.4%となっています。



問 21－2 問 21 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ 3～13 にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

「はい」の割合が 66.3%、「いいえ」の割合が 28.4%となっています。



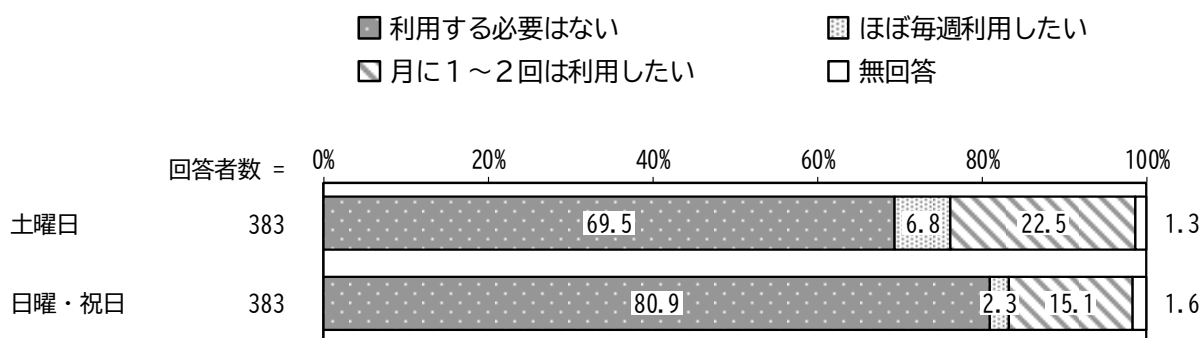
(7) 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 22 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。
※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

土曜日では、「利用する必要はない」の割合が69.5%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が22.5%となっています。

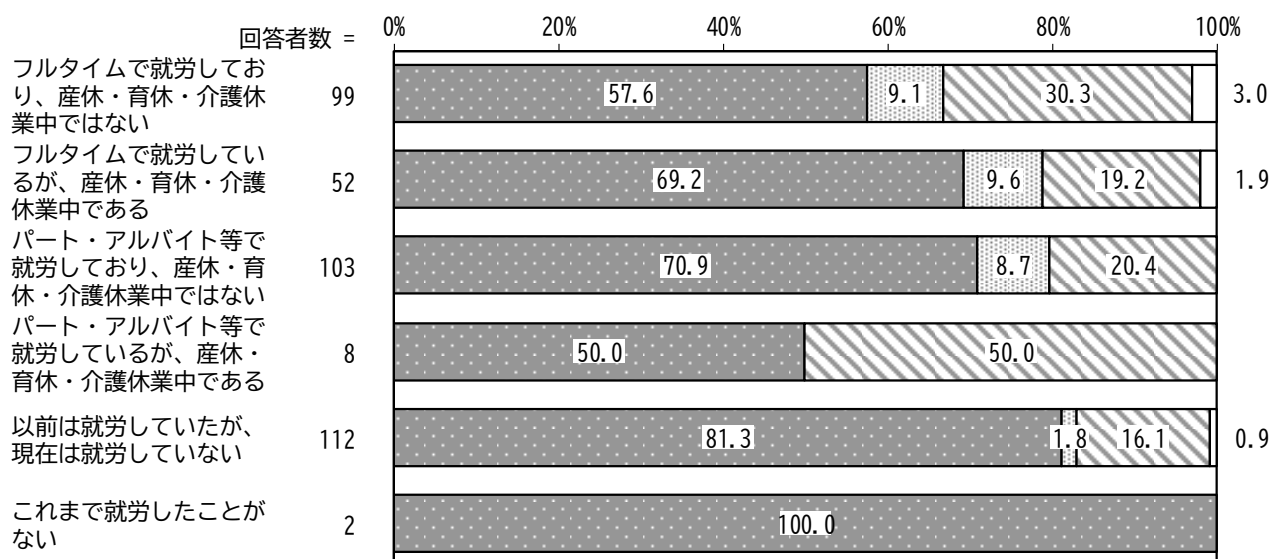
日曜・祝日では、「利用する必要はない」の割合が80.9%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が15.1%となっています。

比較すると、「土曜日」で「月に1～2回は利用したい」の割合が高くなっています。一方、「日曜・祝日」で「利用する必要はない」の割合が高くなっています。



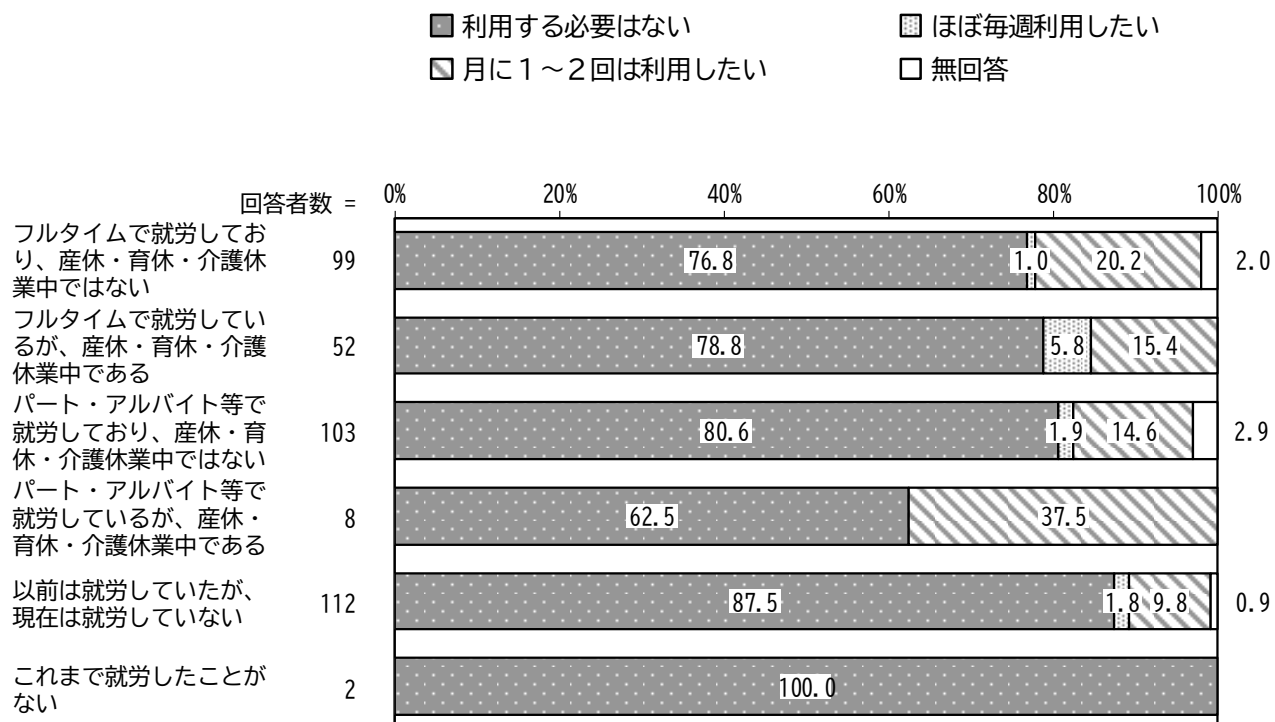
【土曜日 母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」で「利用する必要はない」の割合が高くなっています。



【日曜・祝日 母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」で「利用する必要はない」の割合が高くなっています。

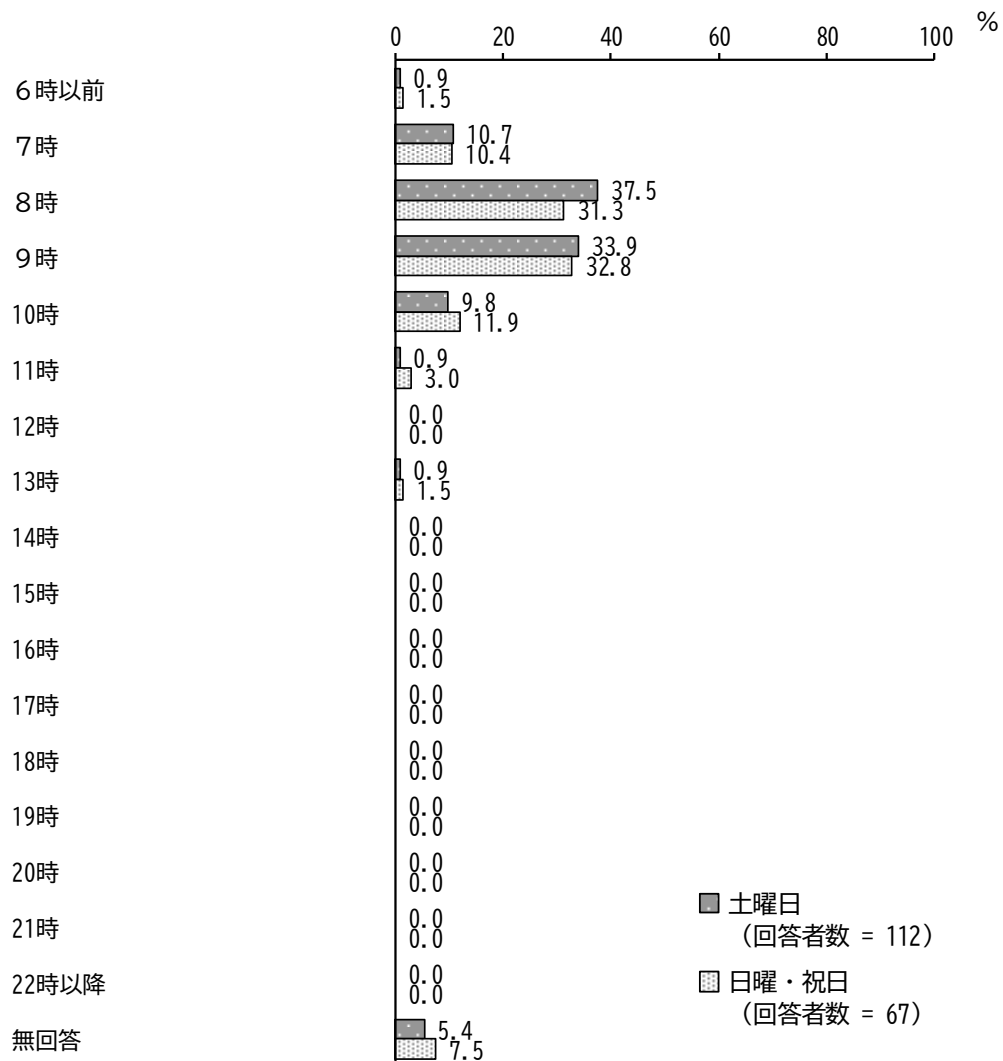


利用希望開始時間

土曜日では、「8時」の割合が37.5%と最も高く、次いで「9時」の割合が33.9%、「7時」の割合が10.7%となっています。

日曜・祝日では、「9時」の割合が32.8%と最も高く、次いで「8時」の割合が31.3%、「10時」の割合が11.9%となっています。

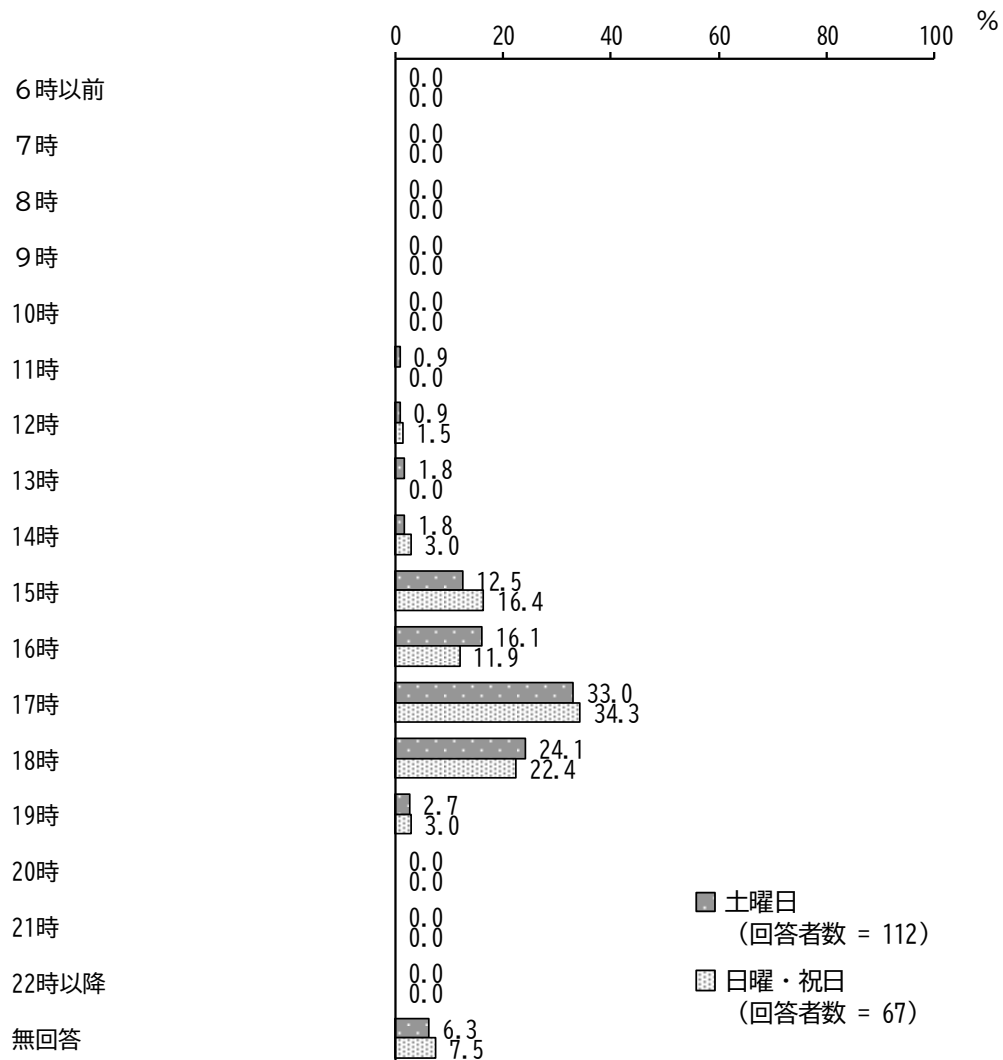
比較すると、「土曜日」で「8時」の割合が高くなっています。



利用希望終了時間

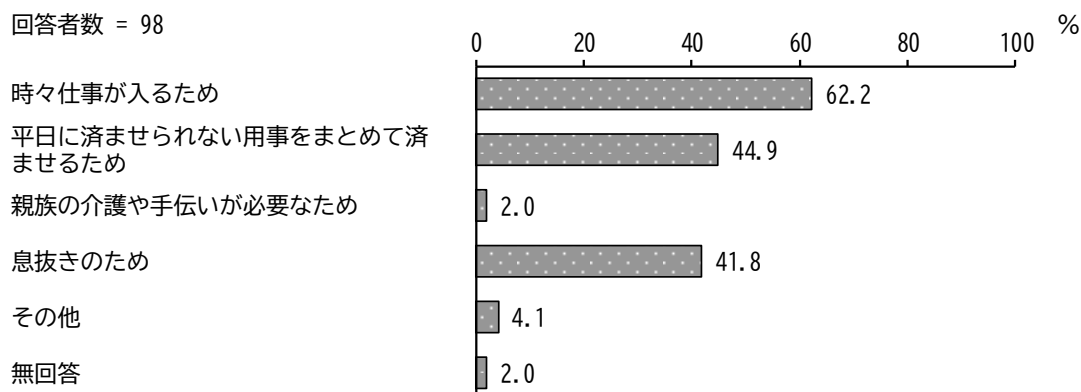
土曜日、日曜・祝日ともに、「17 時」の割合が最も高く、「土曜日」で 33.0%、「日曜・祝日」で 34.3%となっています。次いで、「16 時」の割合が高く、「土曜日」で 16.1%、「日曜・祝日」で 16.4%となっています。

比較すると、大きな差はみられません。



問 22－1 問 22 の（１）もしくは（２）で、「３．月に１～２回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

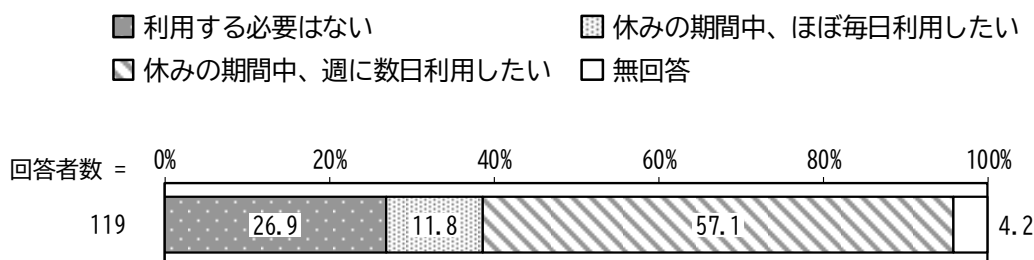
「時々仕事が入るため」の割合が 62.2%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が 44.9%、「息抜きのため」の割合が 41.8%となっています。



問 23 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

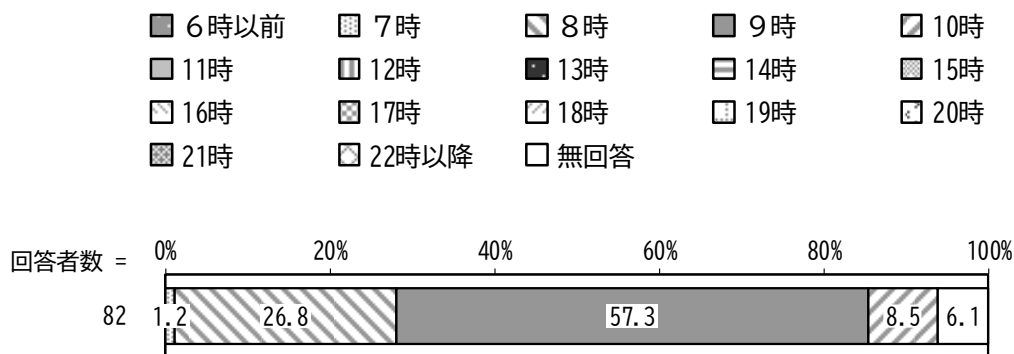
あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が 26.9%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が 11.8%となっています。



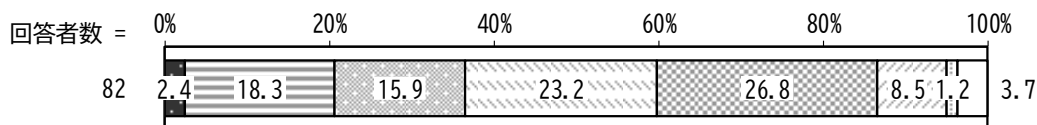
利用希望開始時間

「9時」の割合が57.3%と最も高く、次いで「8時」の割合が26.8%となっています。



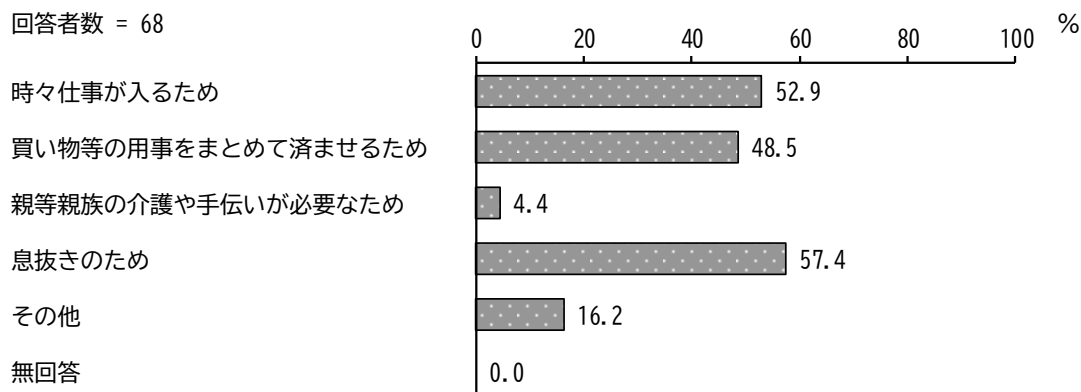
利用希望終了時間

「17時」の割合が26.8%と最も高く、次いで「16時」の割合が23.2%、「14時」の割合が18.3%となっています。



問23-1 問23で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

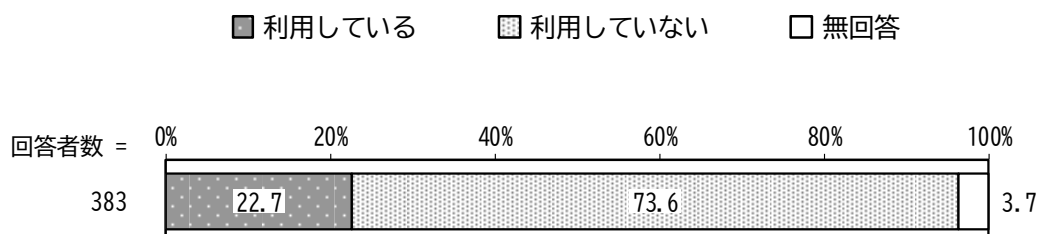
「息抜きのため」の割合が57.4%と最も高く、次いで「時々仕事が入るため」の割合が52.9%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」の割合が48.5%となっています。



（８）地域の子育て支援事業の利用状況について

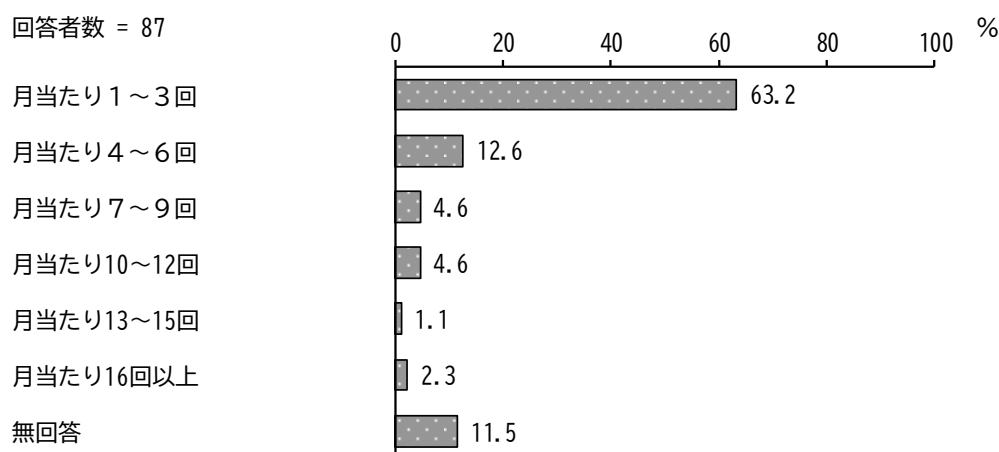
問 24 あて名のお子さんは、現在、子育てサロン（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、中里と栄通りにあります。）を利用していますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

「利用している」の割合が 22.7%、「利用していない」の割合が 73.6%となっています。



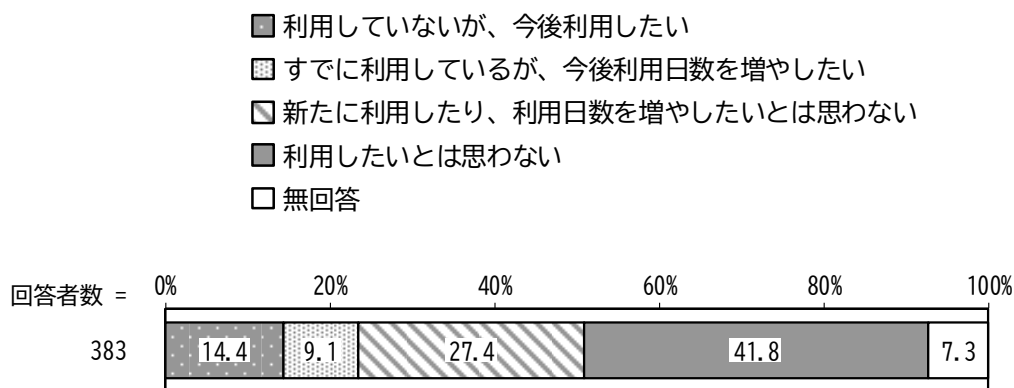
利用回数（頻度）

「月当たり１～３回」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「月当たり４～６回」の割合が 12.6%となっています。



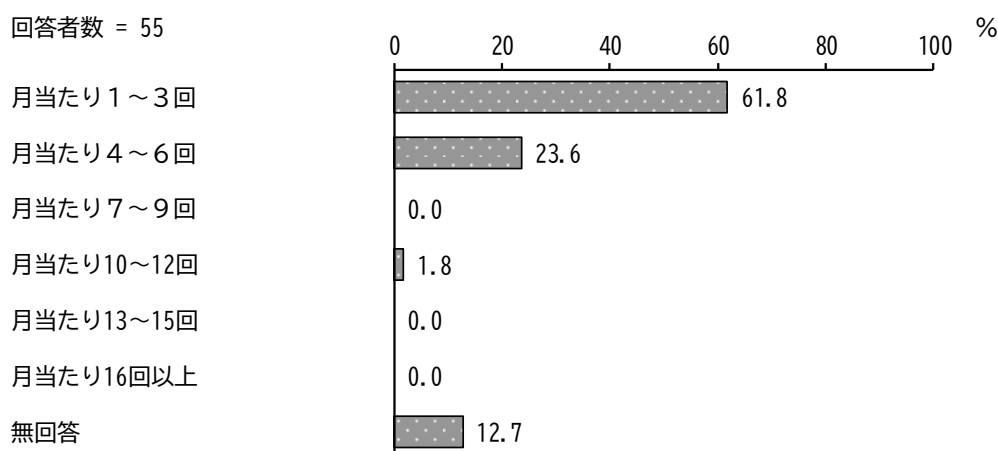
問 25 子育てサロンについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけて、およその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

「利用したいとは思わない」の割合が41.8%と最も高く、次いで「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が27.4%、「利用していないが、今後利用したい」の割合が14.4%となっています。



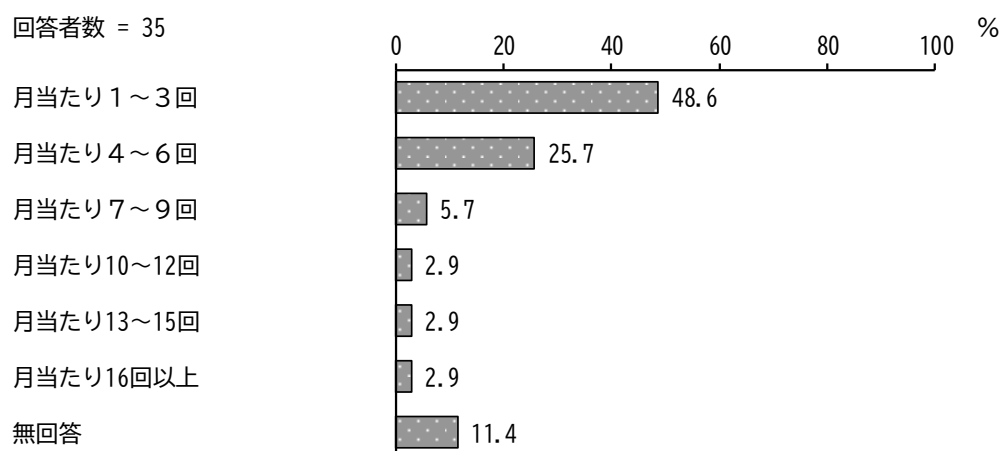
利用していないが、今後利用したい 利用回数（頻度）

「月当たり1～3回」の割合が61.8%と最も高く、次いで「月当たり4～6回」の割合が23.6%となっています。



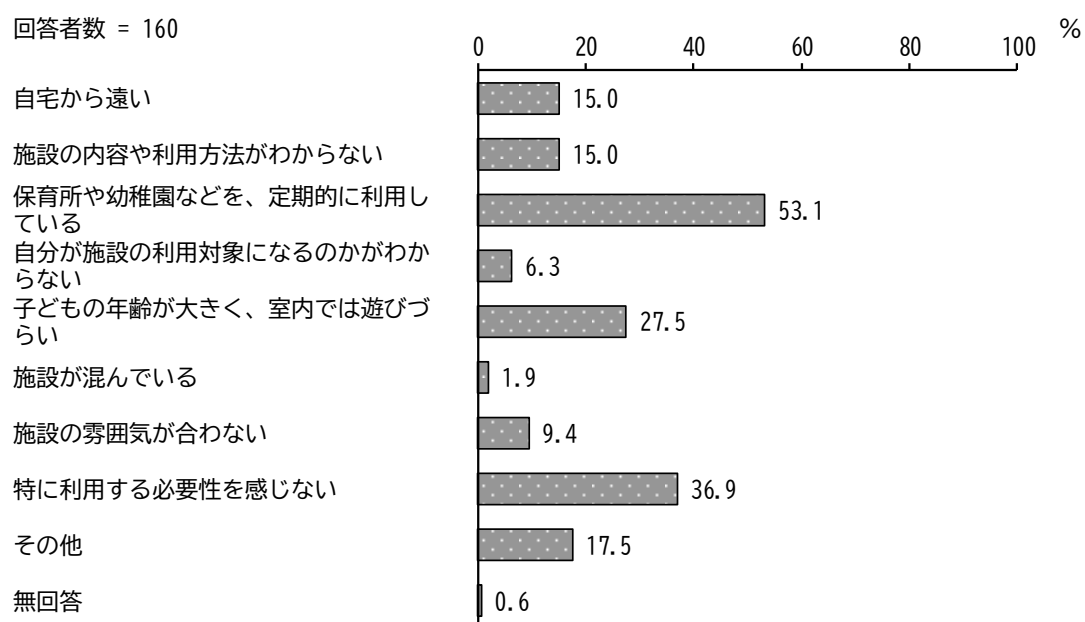
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい 利用回数（頻度）

「月当たり1～3回」の割合が48.6%と最も高く、次いで「月当たり4～6回」の割合が25.7%となっています。



問 25－1 問 25 で「4. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
利用したいと思わない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

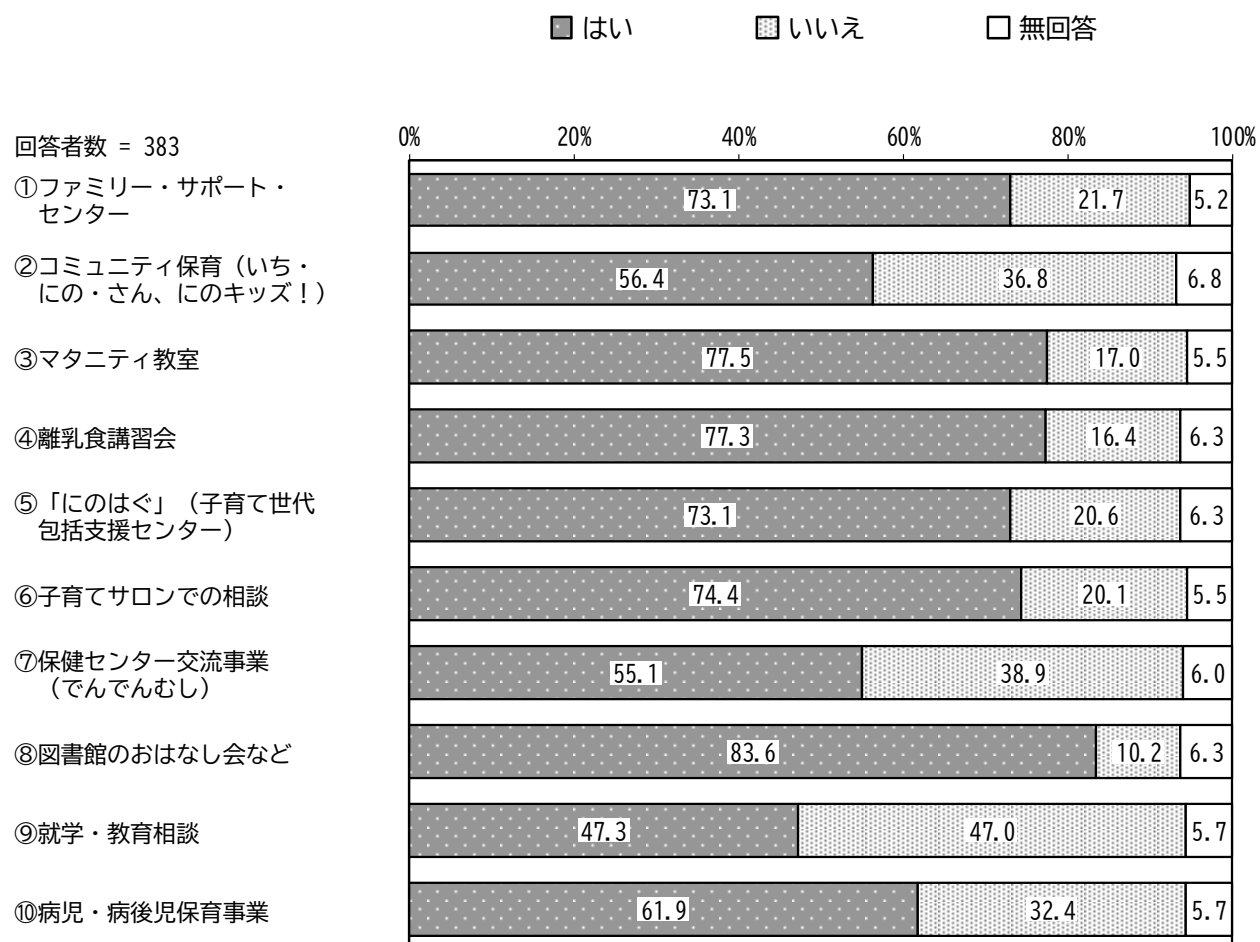
「保育所や幼稚園などを、定期的に利用している」の割合が53.1%と最も高く、次いで「特に利用する必要性を感じない」の割合が36.9%、「子どもの年齢が大きく、室内では遊びづらい」の割合が27.5%となっています。



問 26 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

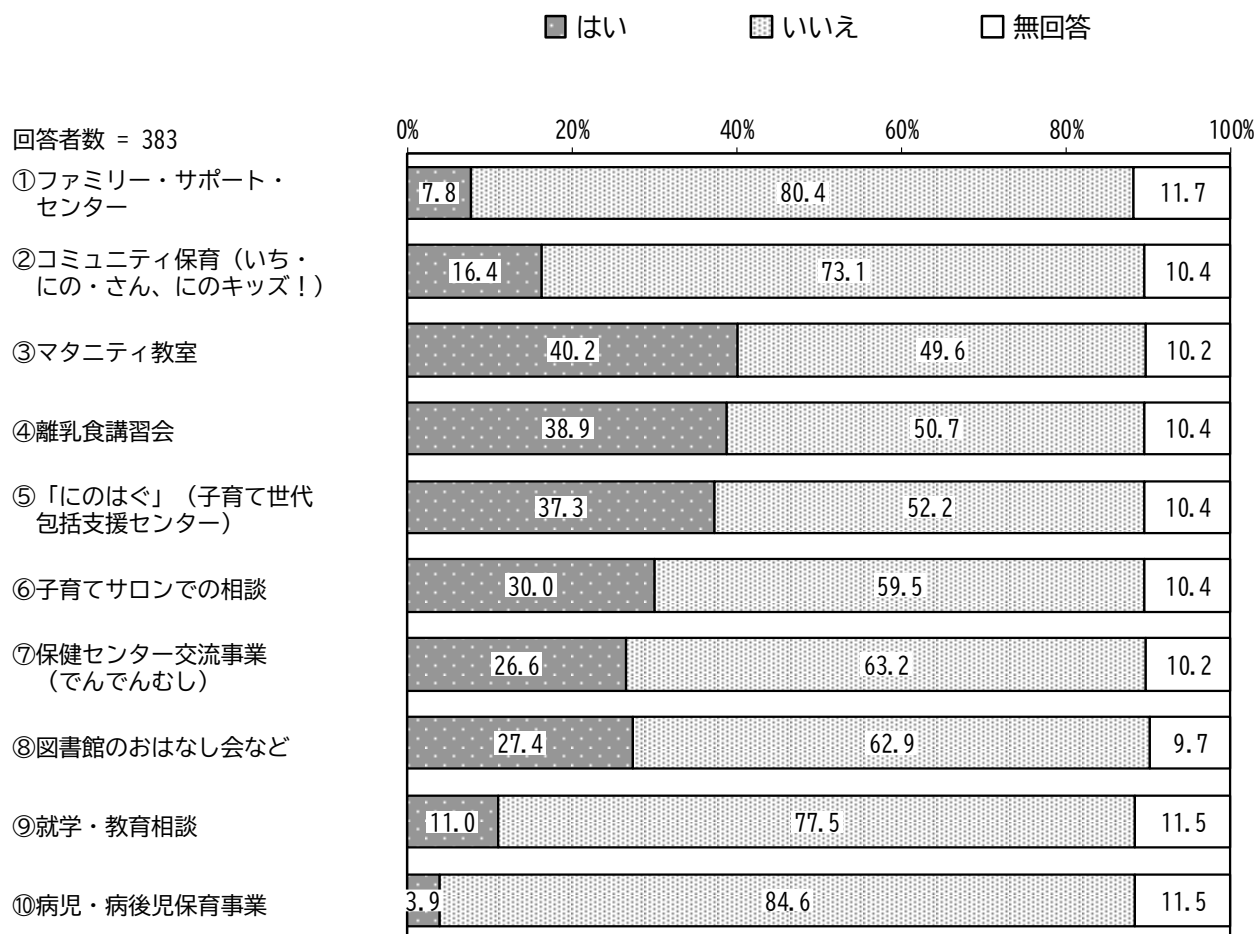
A 知っている

『⑧図書館のおはなし会など』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『⑨就学・教育相談』で「いいえ」の割合が高くなっています。



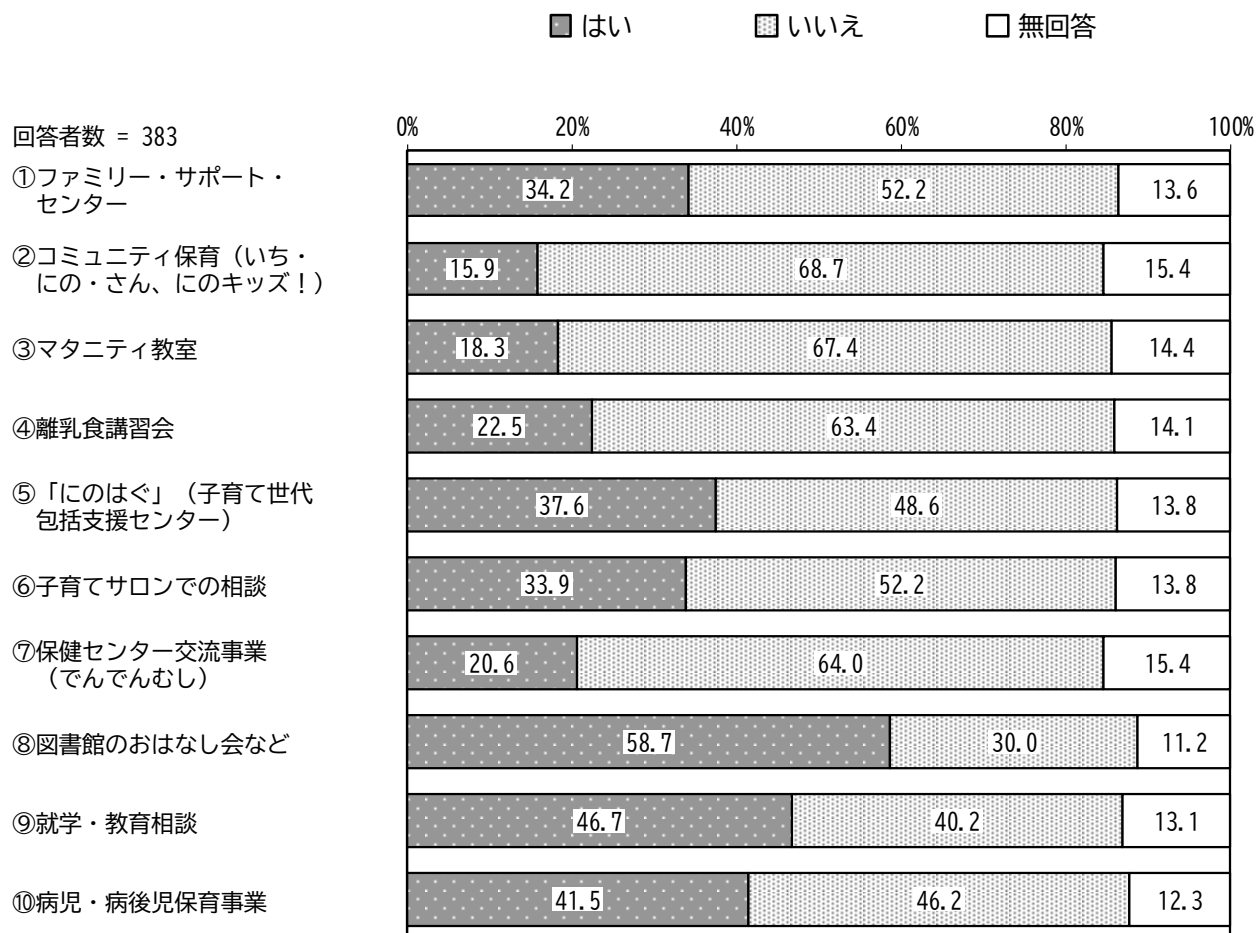
B これまでに利用したことがある

『⑩病児・病後児保育事業』で「はい」の割合が低くなっています。



C 今後利用したい

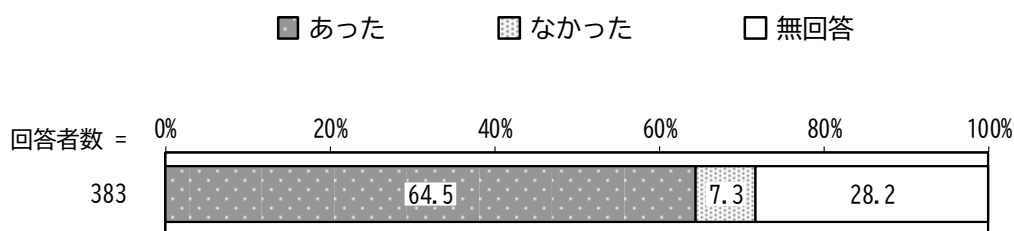
『⑧図書館のおはなし会など』で「はい」の割合が高くなっています。



(9) 病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

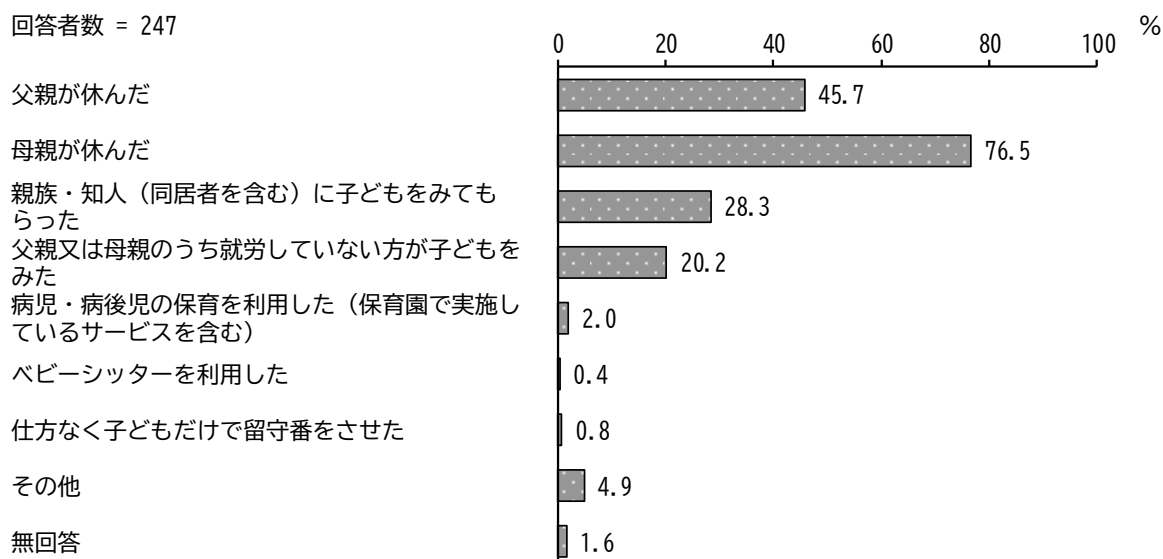
問 27 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 20 で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいます。利用していない方は、問 28 にお進みください。
この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

「あった」の割合が 64.5%、「なかった」の割合が 7.3%となっています。



問 27-1 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数も（ ）内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

「母親が休んだ」の割合が 76.5%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が 45.7%、「親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった」の割合が 28.3%となっています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」で「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	父親が休んだ	母親が休んだ	親族・知人(同居者を含む)に子どもを みてもらった	父親又は母親のう ちが就労していない 方が子どもをみた
全 体	245	45.3	77.1	28.2	20.4
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	91	67.0	95.6	34.1	2.2
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	12	58.3	83.3	33.3	25.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	80	38.8	93.8	32.5	7.5
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	3	33.3	100.0	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	54	14.8	18.5	11.1	70.4
これまで就労したことがない	1	—	—	—	100.0

区分	病児・病後児の保育 を利用した(保育園 で実施しているサ ービスを含む)	ベビーシッターを 利用した	仕方なく子どもだ けで留守番をさせ た	その他	無回 答
全 体	2.0	0.4	0.8	4.9	1.6
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1.1	—	—	5.5	—
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	—	—	—	—	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	5.0	1.3	1.3	5.0	1.3
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	—	—	1.9	5.6	5.6
これまで就労したことがない	—	—	—	—	—

年間日数

『父親が休んだ』で「年1～4日」の割合が高くなっています。また、『母親が休んだ』で「年10～19日」の割合が高くなっています。

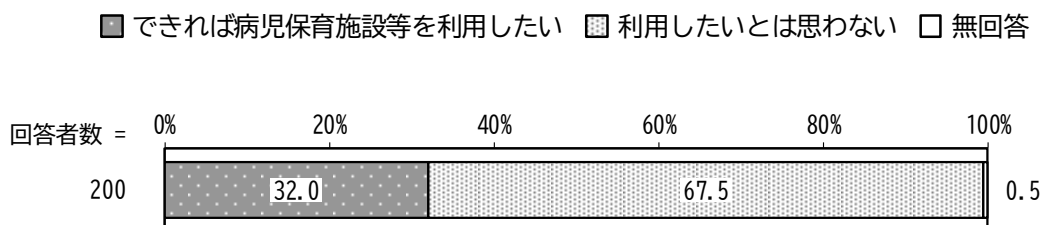
単位：％

区分	回答者数 (件)	年1 ～ 4日	年5 ～ 9日	年10 ～ 19日	年20 ～ 29日	年30 ～ 39日	年40 ～ 49日	年50 日以上	無回答
父親が休んだ	113	49.6	23.9	14.2	3.5	3.5	0.9	0.9	3.5
母親が休んだ	189	20.1	23.8	29.6	11.6	4.2	1.6	2.1	6.9
親族・知人（同居者を含む）に子どもを みてもらった	70	42.9	21.4	18.6	2.9	1.4	0.0	0.0	12.9
父親又は母親のうち就労していない方が 子どもをみた	50	8.0	18.0	16.0	14.0	12.0	4.0	4.0	24.0
病児・病後児の保育を利用した（保育園 で実施しているサービスを含む）	5	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ベビーシッターを利用した	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	12	16.7	25.0	16.7	16.7	8.3	8.3	8.3	0.0

問27-2 問27-1で「ア 父親が休んだ」「イ 母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

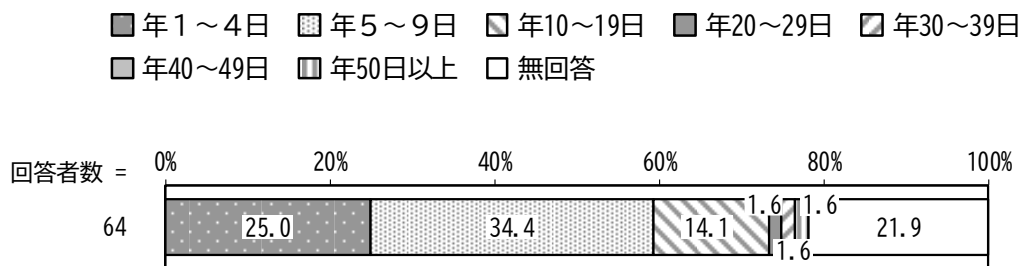
（1）病児について

「できれば病児保育施設等を利用したい」の割合が32.0%、「利用したいとは思わない」の割合が67.5%となっています。



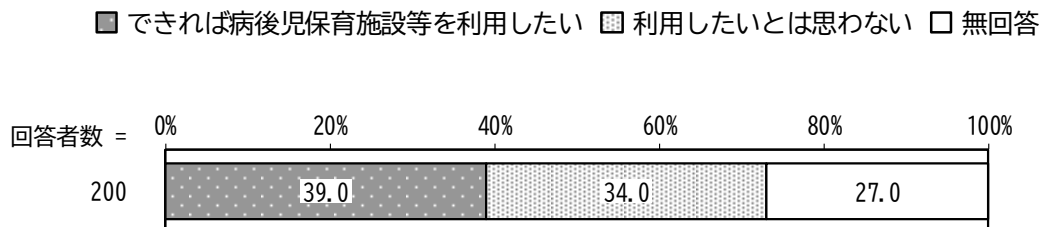
病児保育施設等を利用したい日数

「年5～9日」の割合が34.4%と最も高く、次いで「年1～4日」の割合が25.0%、「年10～19日」の割合が14.1%となっています。



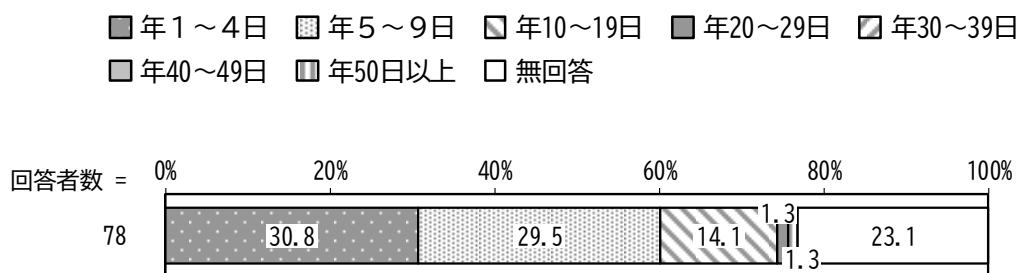
(2) 病後児について

「できれば病後児保育施設等を利用したい」の割合が39.0%、「利用したいとは思わない」の割合が34.0%となっています。



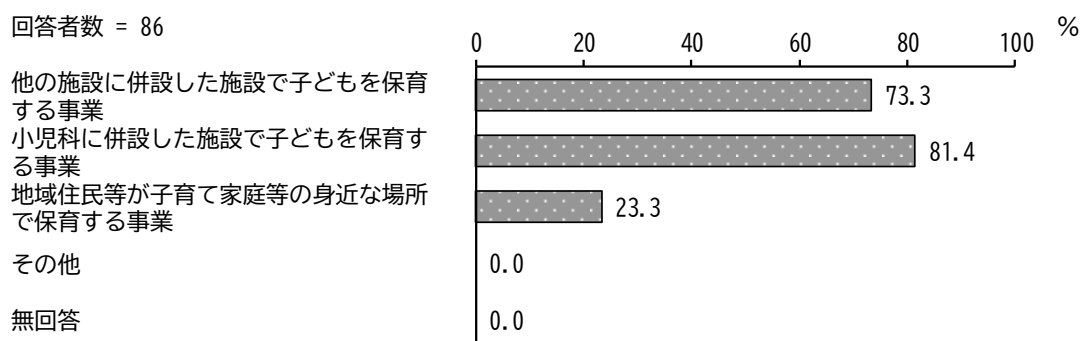
病後児保育施設等を利用したい日数

「年1～4日」の割合が30.8%と最も高く、次いで「年5～9日」の割合が29.5%、「年10～19日」の割合が14.1%となっています。



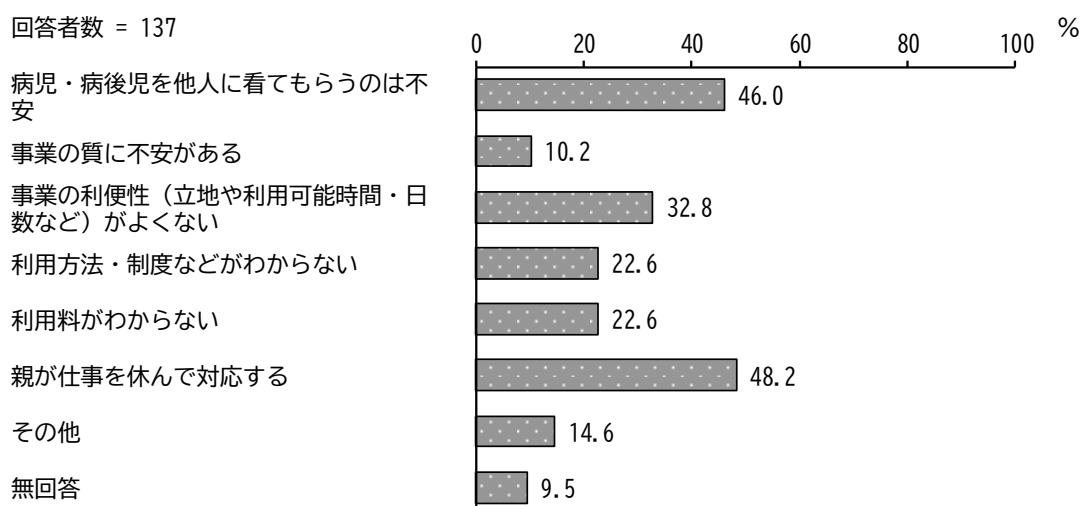
問 27-3 問 27-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が81.4%と最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が73.3%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の割合が23.3%となっています。



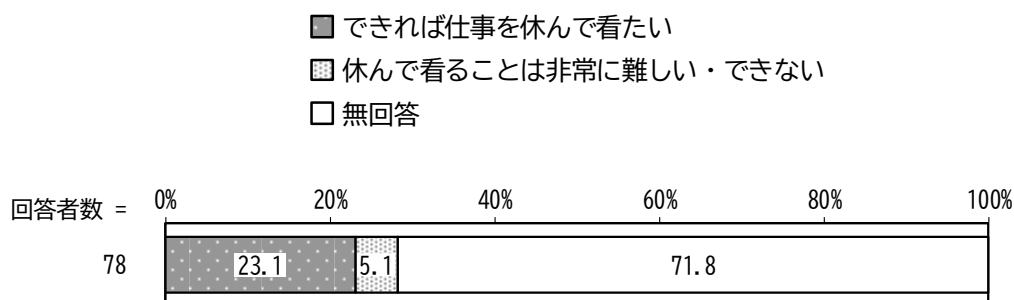
問 27-4 問 27-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「親が仕事を休んで対応する」の割合が48.2%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が46.0%、「事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよい」の割合が32.8%となっています。



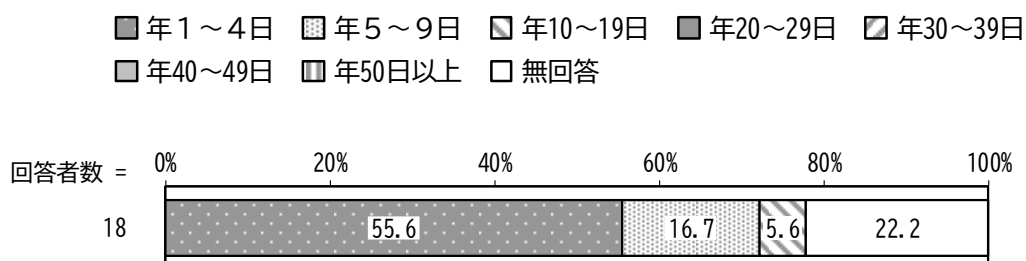
問 27-5 問 27-1 で「ア 父親が休んだ」「イ 母親が休んだ」に○がなく、「ウ 親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった」から「ク その他」のいずれかに回答した方にうかがいます。あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい。」と思われましたか。あてはまる番号 1 つに○をつけ、仕事を休んで看たかった日数についても（ ）内に数字でご記入ください。

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が 23.1%、「休んで看することは非常に難しい・できない」の割合が 5.1%となっています。



できれば仕事を休んで看たかった日数

「年 1～4 日」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「年 5～9 日」の割合が 16.7%となっています。



問 27－6 問 27－5で「2. 休んで看することは非常に難しい・できない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「仕事の都合上、休めない」が2件となっています。「休暇日数が足りないので休めない」が1件となっています。

回答者数 = 4

子どもの看護を理由に休みがとれない

0 20 40 60 80 100 %

0.0

自営業なので休めない

0.0

休暇日数が足りないので休めない

25.0

仕事の都合上、休めない

50.0

その他

0.0

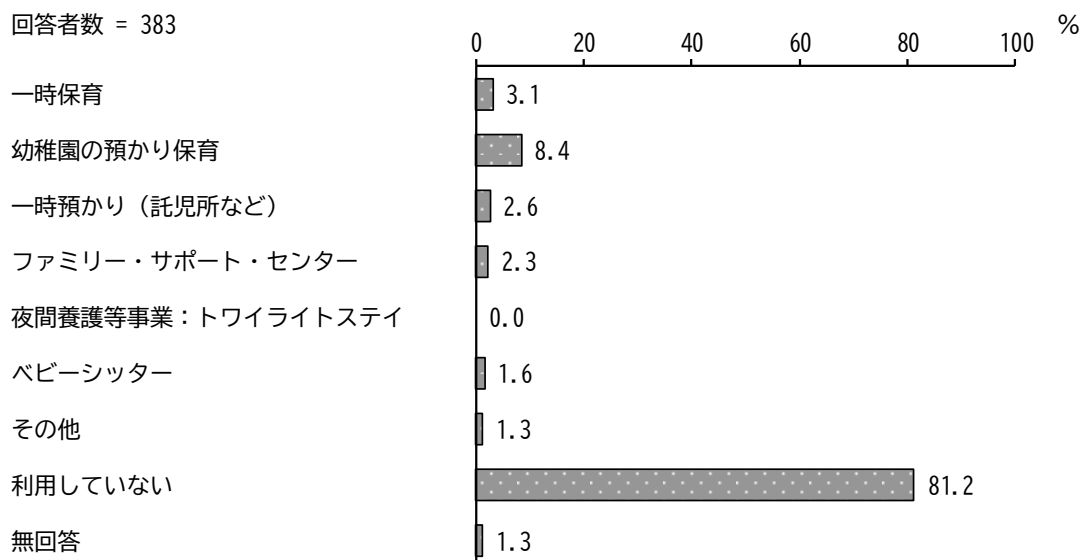
無回答

50.0

(10) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 28 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を（ ）内に数字でご記入ください。

「利用していない」の割合が81.2%と最も高くなっています。



日数（年間）

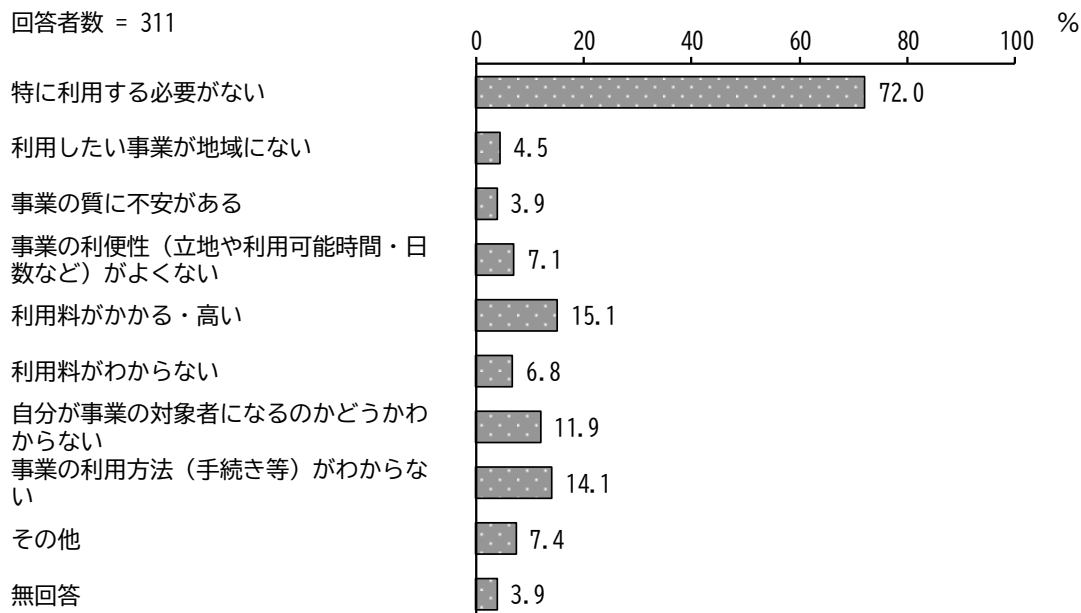
『一時保育』で「年1～4日」の割合が高くなっています。また、『幼稚園の預かり保育』で「年10～19日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	年1～4日	年5～9日	年10～19日	年20～29日	年30～39日	年40～49日	年50日以上	無回答
一時保育	12	41.7	8.3	25.0	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3
幼稚園の預かり保育	32	25.0	25.0	28.1	3.1	9.4	6.3	3.1	0.0
一時預かり（託児所など）	10	40.0	30.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター	9	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
夜間養護等事業：トワイライトステイ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ベビーシッター	6	50.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
その他	5	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0

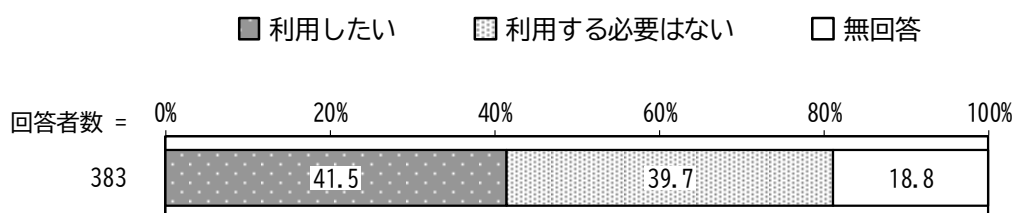
問 28－1 問 28 で「8. 利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」の割合が 72.0%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」の割合が 15.1%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が 14.1%となっています。



問 29 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい問 28 の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。）なお、これらの事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

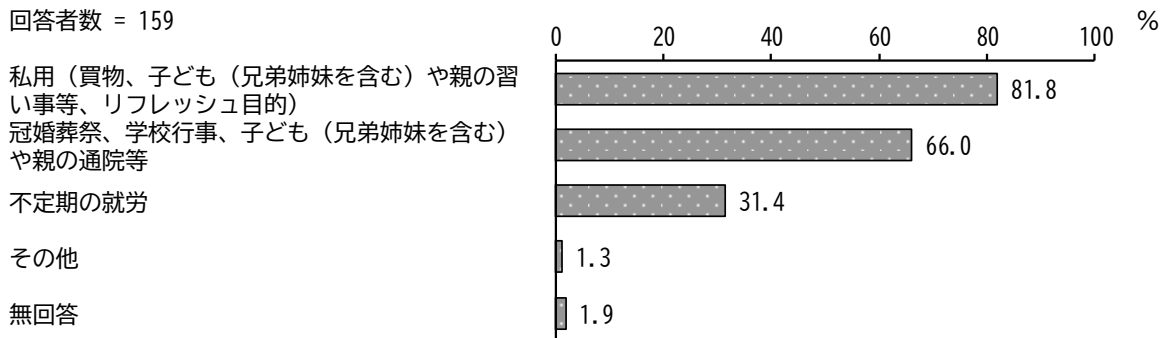
「利用したい」の割合が 41.5%、「利用する必要はない」の割合が 39.7%となっています。



利用目的

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）」の割合が 81.8%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が 66.0%、「不定期の就労」の割合が 31.4%となっています。

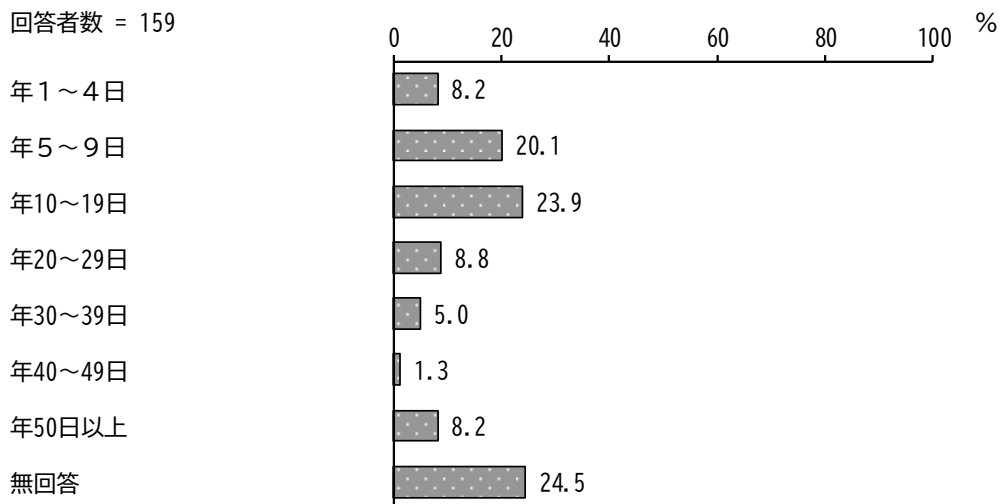
回答者数 = 159



利用したい年間合計日数

「年 10～19 日」の割合が 23.9%と最も高く、次いで「年 5～9 日」の割合が 20.1%となっています。

回答者数 = 159



目的別の利用したい日数

『私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的)』で「年10～19日」の割合が高くなっています。また、『冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等』で「年5～9日」の割合が高くなっています。

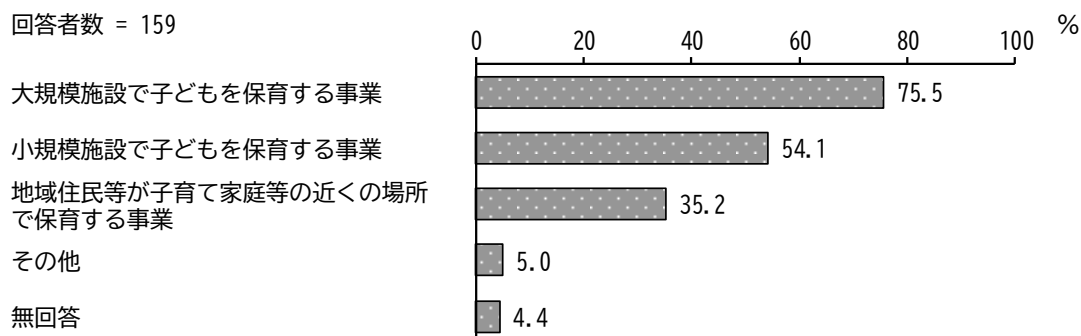
単位：％

区分	回答者数 (件)	年1 ～ 4日	年5 ～ 9日	年10 ～ 19日	年20 ～ 29日	年30 ～ 39日	年40 ～ 49日	年50 日以上	無回答
私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的)	130	24.6	25.4	28.5	6.9	3.1	1.5	1.5	8.5
冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	105	33.3	34.3	23.8	1.9	3.8	1.0	0.0	1.9
不定期の就労	50	30.0	22.0	16.0	6.0	8.0	2.0	14.0	2.0
その他	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0

問29-1 問29で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問29の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

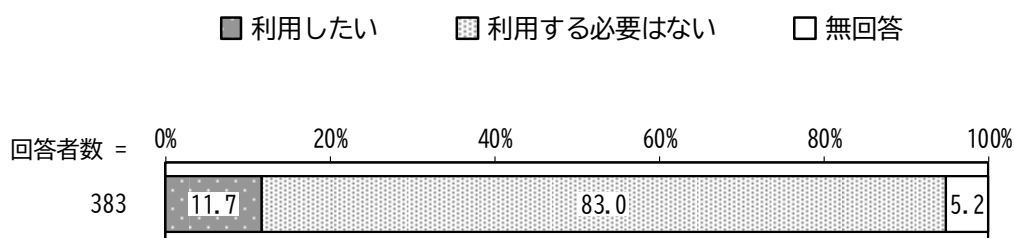
「大規模施設で子どもを保育する事業」の割合が75.5%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」の割合が54.1%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」の割合が35.2%となっています。

回答者数 = 159



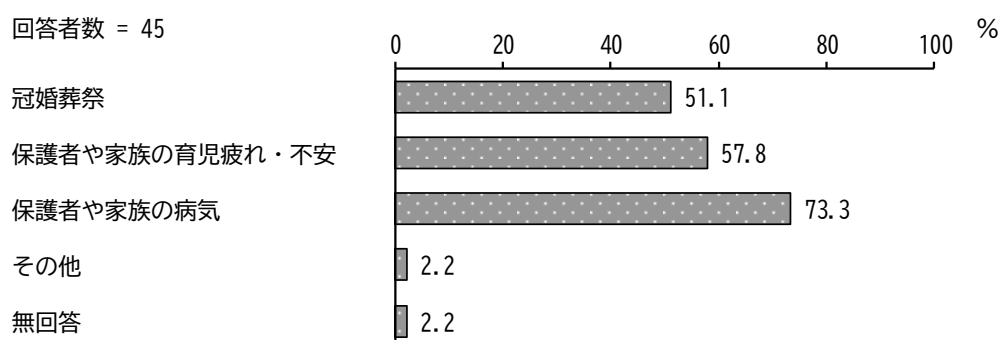
問 30 あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数を（ ）内に数字でご記入ください。（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を数字でご記入ください）。なお事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が 11.7%、「利用する必要はない」の割合が 83.0%となっています。



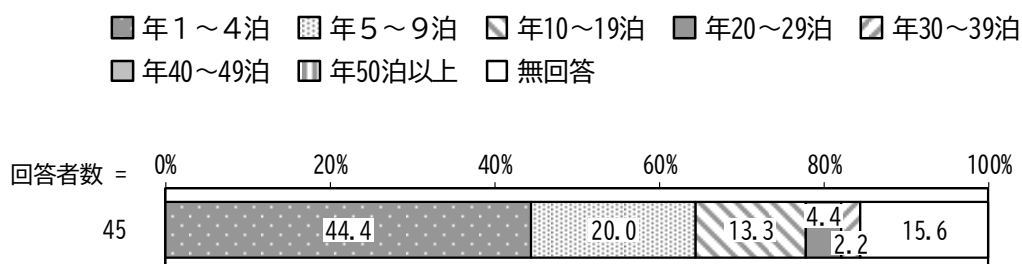
利用目的

「保護者や家族の病気」の割合が 73.3%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が 57.8%、「冠婚葬祭」の割合が 51.1%となっています。



利用したい年間宿泊数

「年 1～4 泊」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「年 5～9 泊」の割合が 20.0%、「年 10～19 泊」の割合が 13.3%となっています。



目的別の利用したい宿泊数

『保護者や家族の育児疲れ・不安』で「年10～19泊」の割合が高くなっています。また、『保護者や家族の病気』で「年5～9泊」の割合が高くなっています。

単位：％

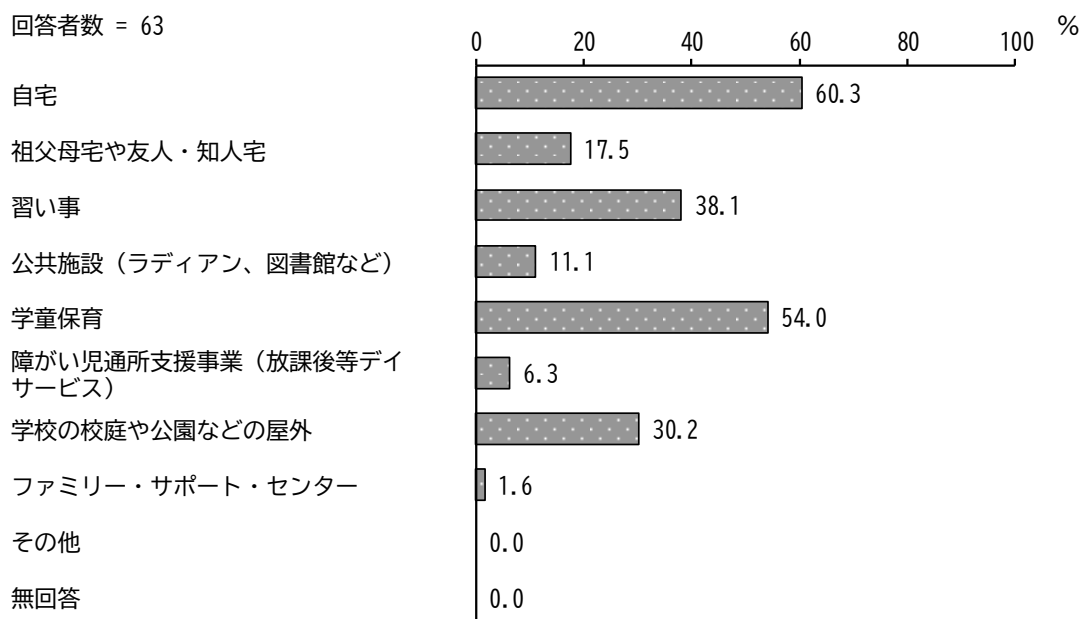
区分	回答者数 (件)	年1 ～ 4泊	年5 ～ 9泊	年10 ～ 19泊	年20 ～ 29泊	年30 ～ 39泊	年40 ～ 49泊	年50 泊以上	無回答
冠婚葬祭	23	65.2	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.4
保護者や家族の育児疲れ・不安	26	69.2	3.8	23.1	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0
保護者や家族の病気	33	69.7	15.2	12.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(11) あて名のお子さんが5歳以上（年長児）である方の、
小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 31 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

「自宅」の割合が60.3%と最も高く、次いで「学童保育」の割合が54.0%、「習い事」の割合が38.1%となっています。

回答者数 = 63



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、「フルタイム就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」で「学童保育」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	公共施設 (ラディアン、 図書館など)	学童保育	障がい児通所支援事業 (放課後等デイサービス)	学校の校庭や公園などの 屋外	ファミリー・サポート・セ ンター	その他	無回答
全 体	63	60.3	17.5	38.1	11.1	54.0	6.3	30.2	1.6	—	—
フルタイムで就労しており、産休・ 育休・介護休業中ではない	19	36.8	10.5	26.3	5.3	84.2	—	10.5	—	—	—
フルタイムで就労しているが、産休・ 育休・介護休業中である	2	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—
パート・アルバイト等で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	20	60.0	25.0	30.0	10.0	60.0	5.0	25.0	5.0	—	—
パート・アルバイト等で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	1	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労 していない	21	85.7	19.0	57.1	19.0	19.0	14.3	57.1	—	—	—
これまで就労したことがない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

週あたりの日数

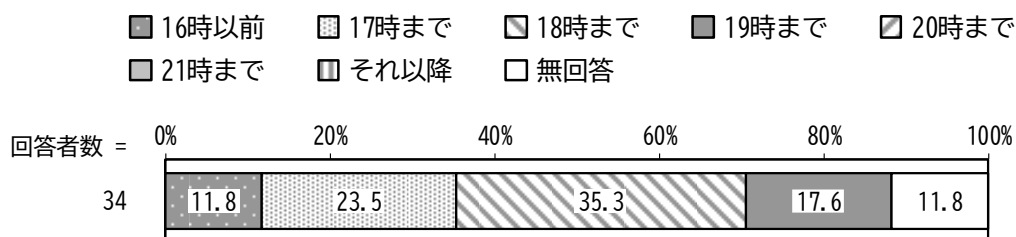
『祖父母宅や友人・知人宅』で「週1日くらい」の割合が高くなっています。また、『学童保育』で「週5日くらい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	週1日 くらい	週2日 くらい	週3日 くらい	週4日 くらい	週5日 くらい	週6日 くらい	週7日 くらい	無回答
自宅	38	21.1	21.1	10.5	10.5	18.4	0.0	2.6	15.8
祖父母宅や友人・知人宅	11	54.5	27.3	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
習い事	24	37.5	33.3	16.7	4.2	0.0	0.0	0.0	8.3
公共施設（ラディアン、図書館など）	7	71.4	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
学童保育	34	2.9	2.9	20.6	14.7	50.0	2.9	0.0	5.9
障がい児通所支援事業（放課後等デイサ ービス）	4	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0
学校の校庭や公園などの屋外	19	31.6	26.3	21.1	0.0	5.3	0.0	0.0	15.8
ファミリー・サポート・センター	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

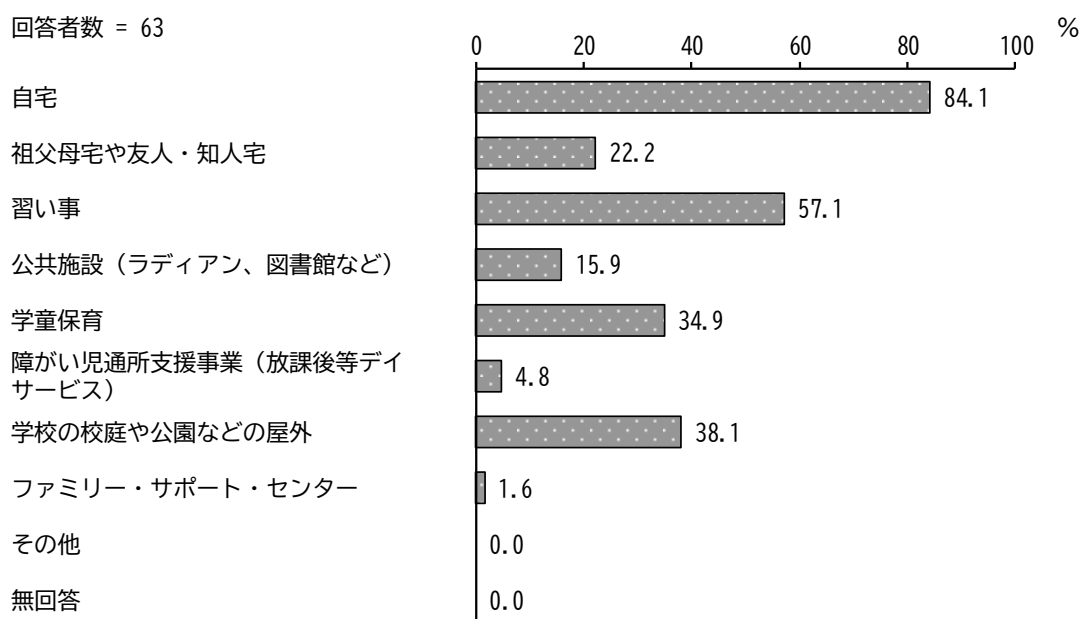
学童保育の利用希望終了時間

「18時まで」の割合が35.3%と最も高く、次いで「17時まで」の割合が23.5%、「19時まで」の割合が17.6%となっています。



問 32 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。
※だいが先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

「自宅」の割合が84.1%と最も高く、次いで「習い事」の割合が57.1%、「学校の校庭や公園などの屋外」の割合が38.1%となっています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」で「学童保育」の割合が、「以前は就労していたが、現在は就労していない」で「学校の校庭や公園などの屋外」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	公共施設 (ラディアン、図書館など)	学童保育	障がい児通所支援事業 (放課後等デイサービス)	学校の校庭や公園などの屋外	ファミリ－・サポート・センター	その他	無回答
全 体	63	84.1	22.2	57.1	15.9	34.9	4.8	38.1	1.6	－	－
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	19	73.7	26.3	52.6	10.5	52.6	－	26.3	－	－	－
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	100.0	－	50.0	－	100.0	－	－	－	－	－
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	20	90.0	25.0	55.0	20.0	35.0	－	30.0	－	－	－
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1	100.0	－	100.0	－	－	－	100.0	－	－	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	21	85.7	19.0	61.9	19.0	14.3	14.3	57.1	4.8	－	－
これまで就労したことがない	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

週あたりの日数

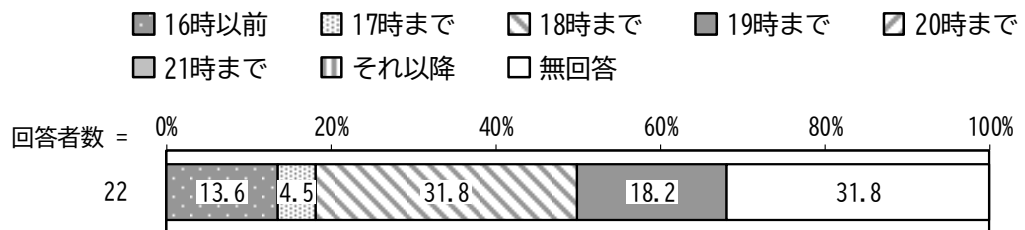
『公共施設（ラディアン、図書館など）』で「週1日くらい」の割合が高くなっています。また、『学童保育』で「週5日くらい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	週1日くらい	週2日くらい	週3日くらい	週4日くらい	週5日くらい	週6日くらい	週7日くらい	無回答
自宅	53	22.6	22.6	5.7	5.7	20.8	0.0	1.9	20.8
祖父母宅や友人・知人宅	14	35.7	21.4	14.3	7.1	7.1	0.0	0.0	14.3
習い事	36	33.3	27.8	22.2	5.6	0.0	0.0	0.0	11.1
公共施設（ラディアン、図書館など）	10	80.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
学童保育	22	13.6	9.1	27.3	13.6	27.3	0.0	0.0	9.1
障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）	3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
学校の校庭や公園などの屋外	24	33.3	20.8	20.8	0.0	4.2	0.0	0.0	20.8
ファミリー・サポート・センター	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

学童保育の利用希望終了時間

「18時まで」の割合が31.8%と最も高く、次いで「19時まで」の割合が18.2%、「16時以前」の割合が13.6%となっています。



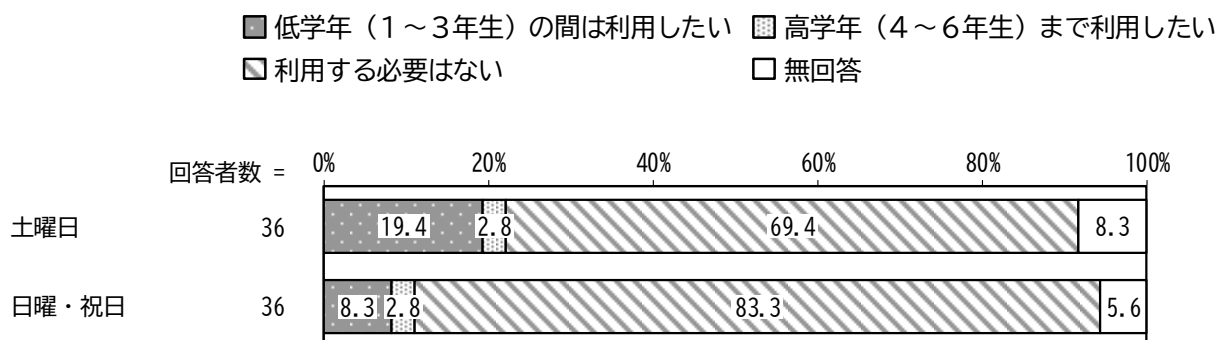
問 33 問 31 または問 32 で「5. 学童保育」に○をつけた方にうかがいます。

あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。次の（１）、（２）のそれぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

土曜日では、「利用する必要はない」の割合が 69.4%と最も高く、次いで「低学年（１～３年生）の間は利用したい」の割合が 19.4%となっています。

日曜・祝日では、「利用する必要はない」の割合が 83.3%と最も高くなっています。

比較すると、「土曜日」で「低学年（１～３年生）の間は利用したい」の割合が高くなっています。一方、「日曜・祝日」で「利用する必要はない」の割合が高くなっています。

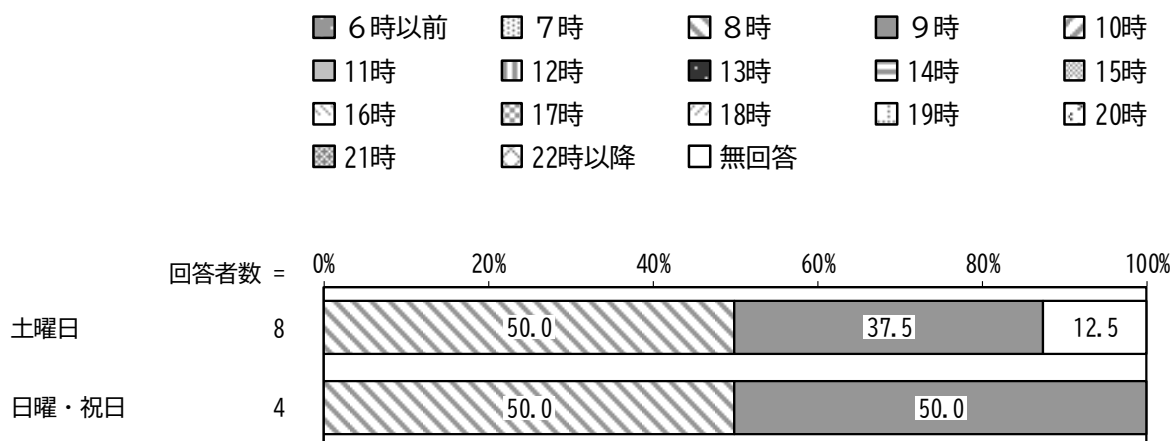


利用希望開始時間

土曜日では、「８時」が４件となっています。「９時」が３件となっています。

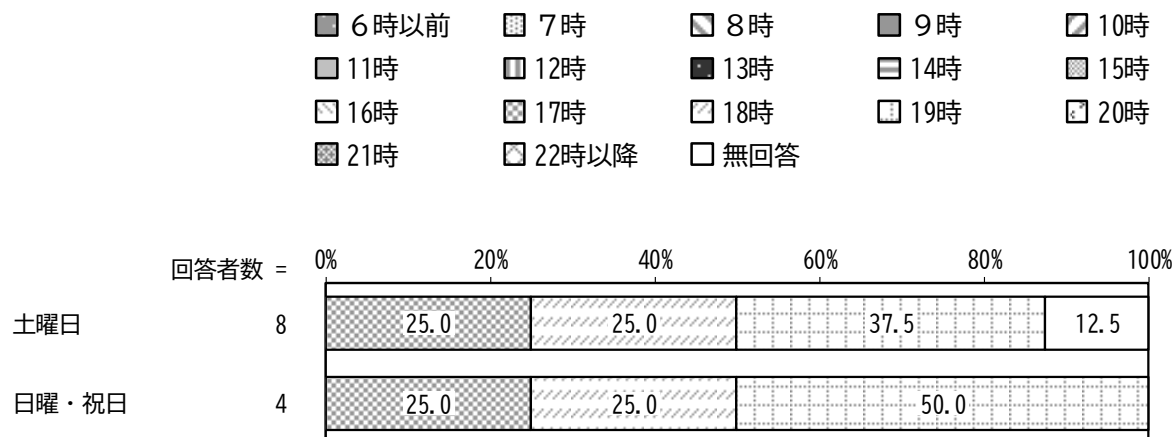
日曜・祝日では、「８時」、「９時」が２件となっています。

有効回答者数が少ないため比較できません。



利用希望終了時間

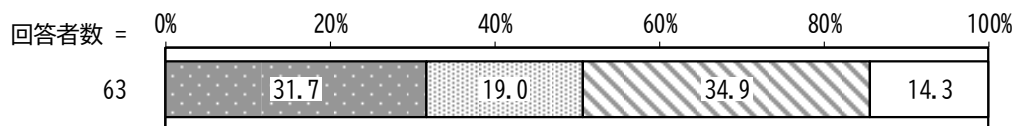
土曜日では、「19 時」が3 件となっています。「17 時」、「18 時」が2 件となっています。
日曜・祝日では、「19 時」が2 件となっています。「17 時」、「18 時」が1 件となっています。
有効回答者数が少ないため比較できません。



問 34 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、() 内に(例) 9 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

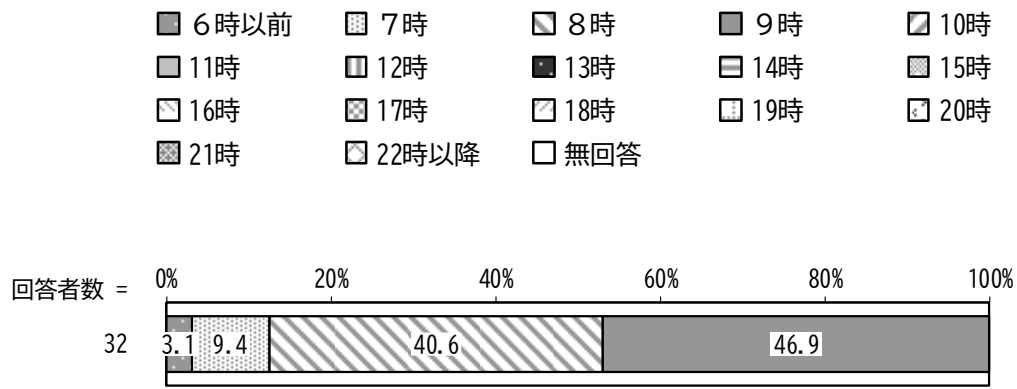
「利用する必要はない」の割合が 34.9%と最も高く、次いで「低学年（1～3 年生）の間は利用したい」の割合が 31.7%、「高学年（4～6 年生）になっても利用したい」の割合が 19.0%となっています。

■ 低学年（1～3 年生）の間は利用したい ■ 高学年（4～6 年生）まで利用したい
■ 利用する必要はない □ 無回答



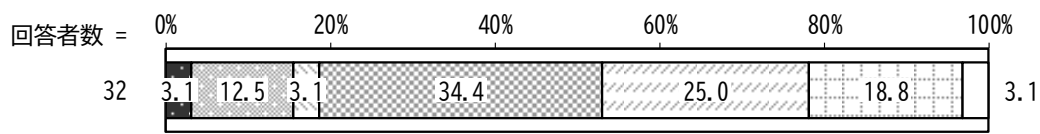
利用希望開始時間

「9時」の割合が46.9%と最も高く、次いで「8時」の割合が40.6%となっています。



利用希望終了時間

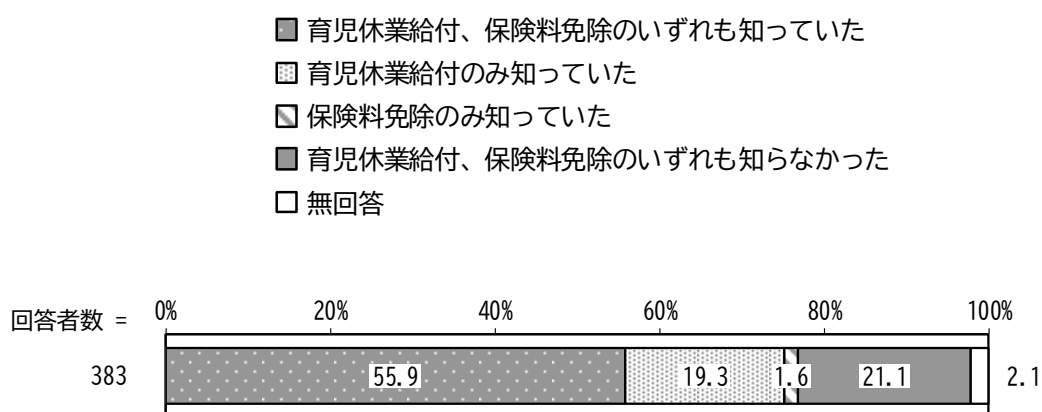
「17時」の割合が34.4%と最も高く、次いで「18時」の割合が25.0%、「19時」の割合が18.8%となっています。



(12) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

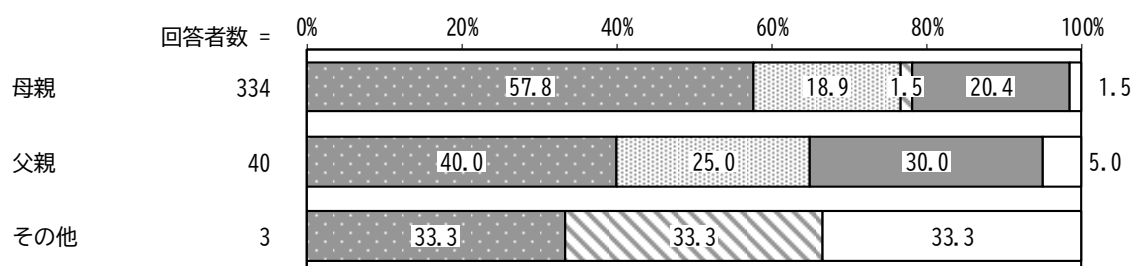
問 35 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満2歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）の期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が55.9%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が21.1%、「育児休業給付のみ知っていた」の割合が19.3%、「保険料免除のみ知っていた」の割合が1.6%、「無回答」の割合が2.1%となっています。



【父母別】

父母別にみると、「父親」で「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が高くなっています。

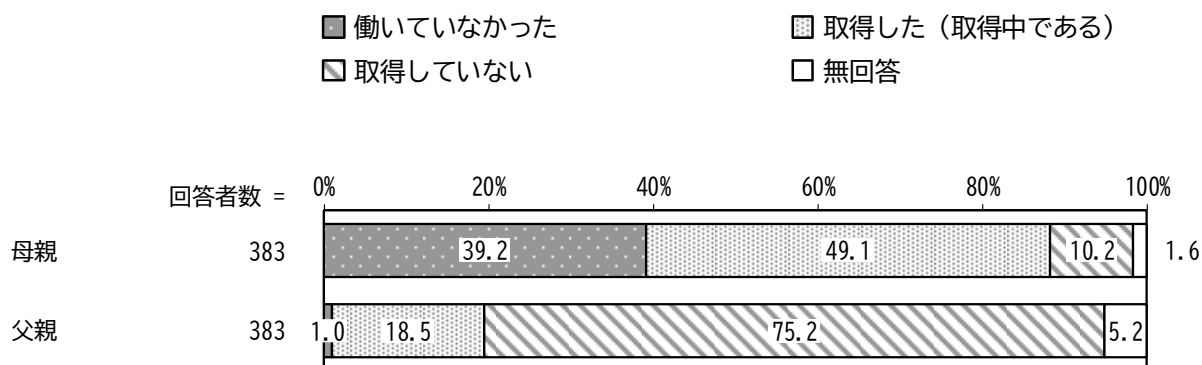


問 36 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけ、該当する（ ）内には数字でご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親では、「取得した（取得中である）」の割合が 49.1%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が 39.2%、「取得していない」の割合が 10.2%となっています。

父親では、「取得していない」の割合が 75.2%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」の割合が 18.5%となっています。

比較すると、「母親」で「働いていなかった」、「取得した（取得中である）」の割合が高くなっています。一方、「父親」で「取得していない」の割合が高くなっています。

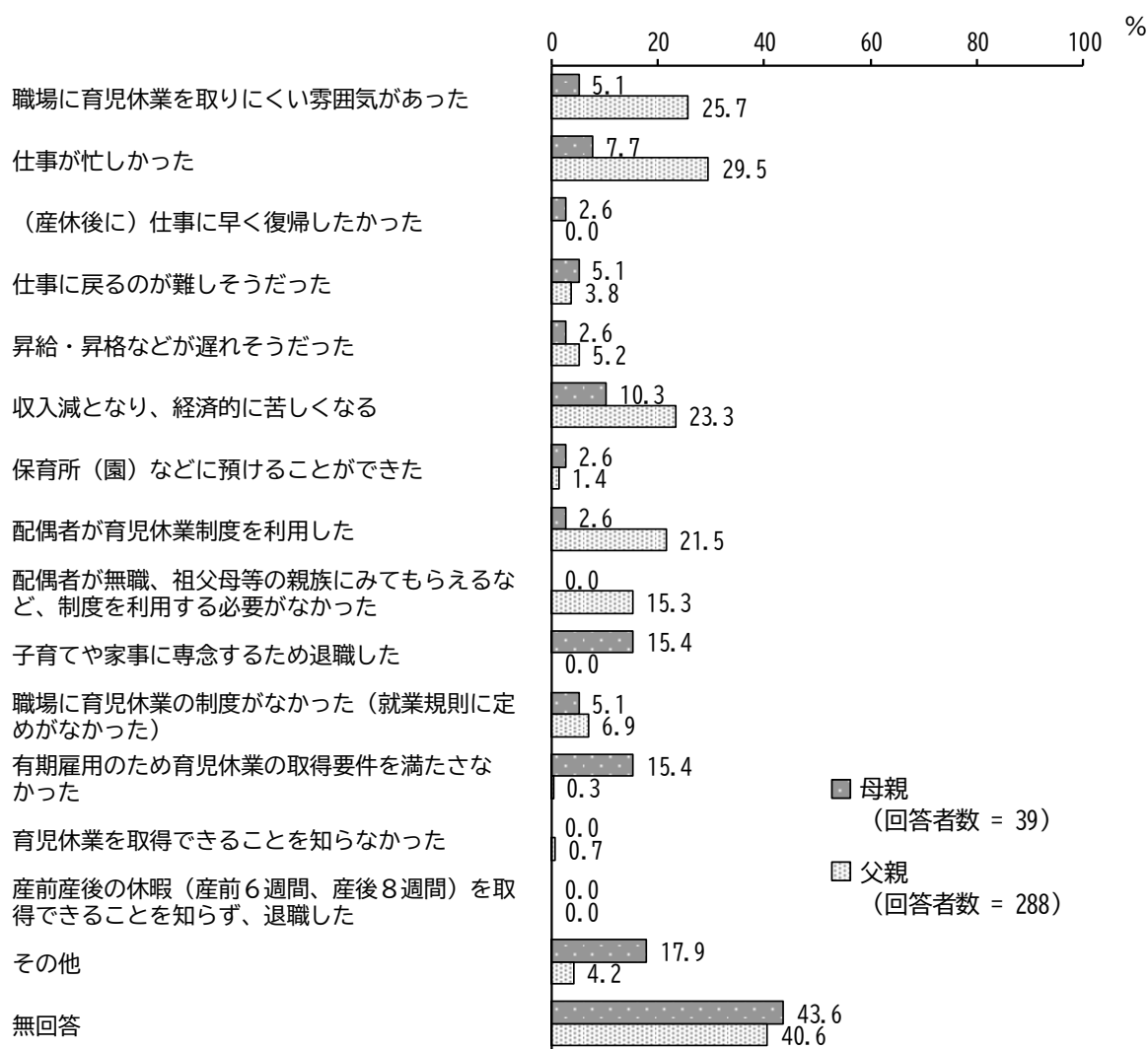


取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

母親では、「子育てや家事に専念するため退職した」、「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」の割合が15.4%と最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が10.3%となっています。

父親では、「仕事が忙しかった」の割合が29.5%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が25.7%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が23.3%となっています。

比較すると、「母親」で「子育てや家事に専念するため退職した」、「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」の割合が高くなっています。一方、「父親」で「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」、「仕事が忙しかった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が高くなっています。

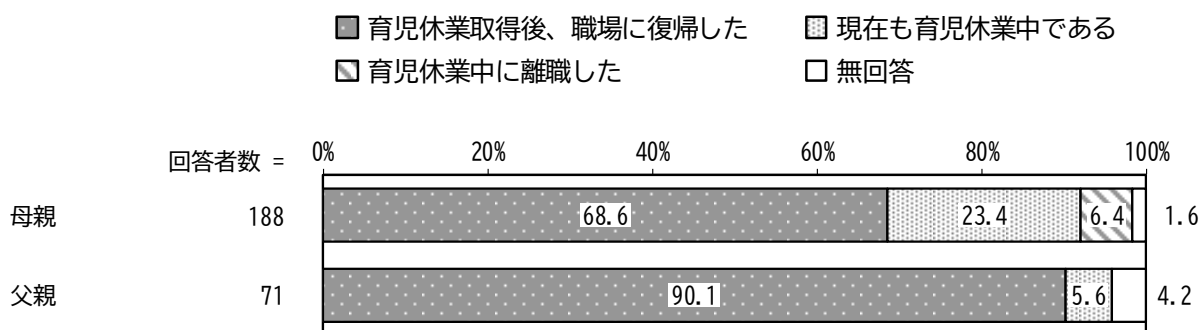


問 36－1 問 36 で母親・父親が「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

母親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 68.6%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が 23.4%となっています。

父親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 90.1%と最も高くなっています。

比較すると、「母親」で「現在も育児休業中である」の割合が高くなっています。一方、「父親」で「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が高くなっています。



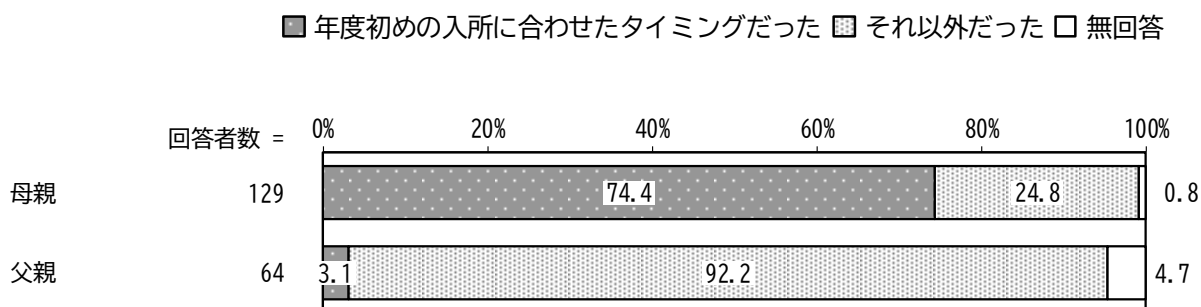
問 36－2 問 36－1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1 月～2 月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。

母親では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が 74.4%、「それ以外だった」の割合が 24.8%となっています。

父親では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が 3.1%、「それ以外だった」の割合が 92.2%となっています。

比較すると、「母親」で「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が高くなっています。



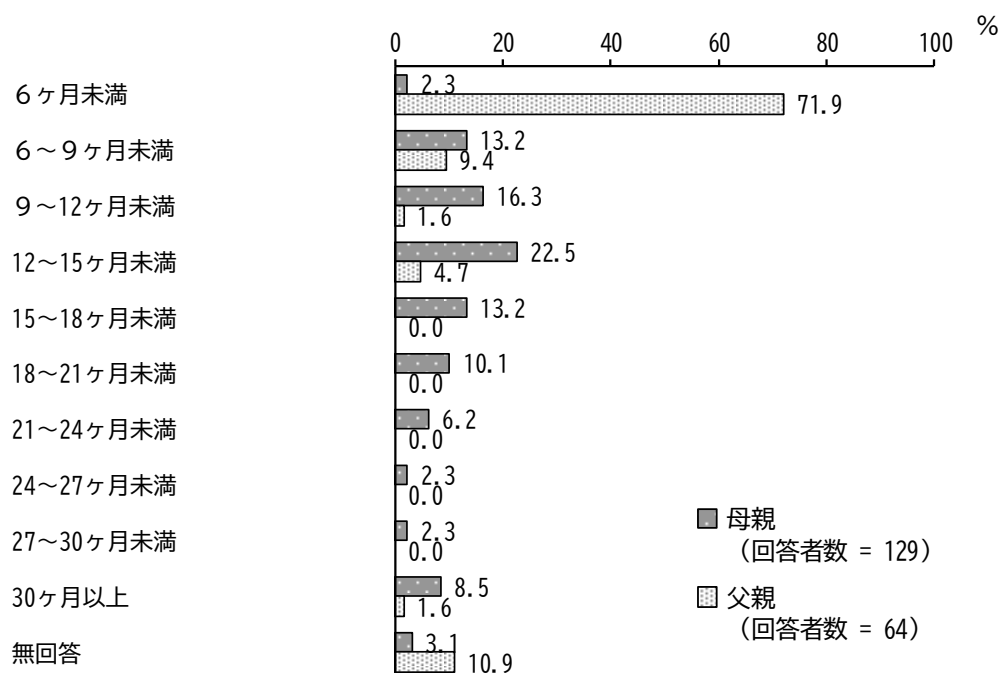
問 36－3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。() 内に数字でご記入ください。

実際の取得期間

母親では、「12～15 ヶ月未満」の割合が 22.5%と最も高く、次いで「9～12 ヶ月未満」の割合が 16.3%、「6～9 ヶ月未満」、「15～18 ヶ月未満」の割合が 13.2%となっています。

父親では、「6 ヶ月未満」の割合が 71.9%と最も高くなっています。

比較すると、「母親」で「9～12 ヶ月未満」、「12～15 ヶ月未満」、「15～18 ヶ月未満」の割合が高くなっています。一方、「父親」で「6 ヶ月未満」の割合が高くなっています。

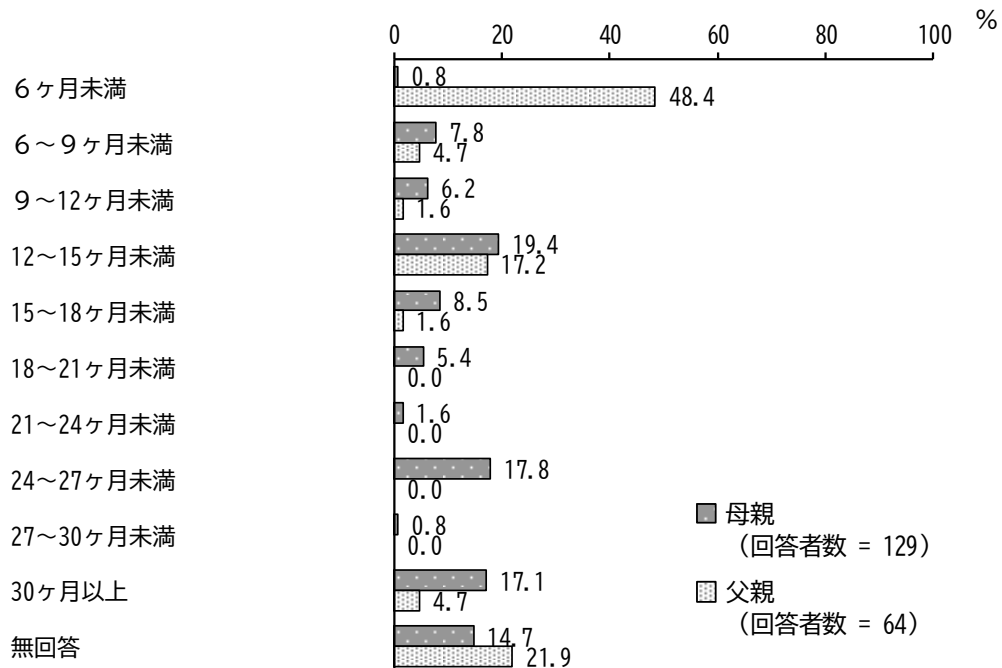


希望の取得期間

母親では、「12～15 ヶ月未満」の割合が 19.4%と最も高く、次いで「24～27 ヶ月未満」の割合が 17.8%、「30 ヶ月以上」の割合が 17.1%となっています。

父親では、「6 ヶ月未満」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「12～15 ヶ月未満」の割合が 17.2%となっています。

比較すると、「母親」で「15～18 ヶ月未満」、「18～21 ヶ月未満」、「24～27 ヶ月未満」の割合が高くなっています。一方、「父親」では「6 ヶ月未満」の割合が高くなっています。



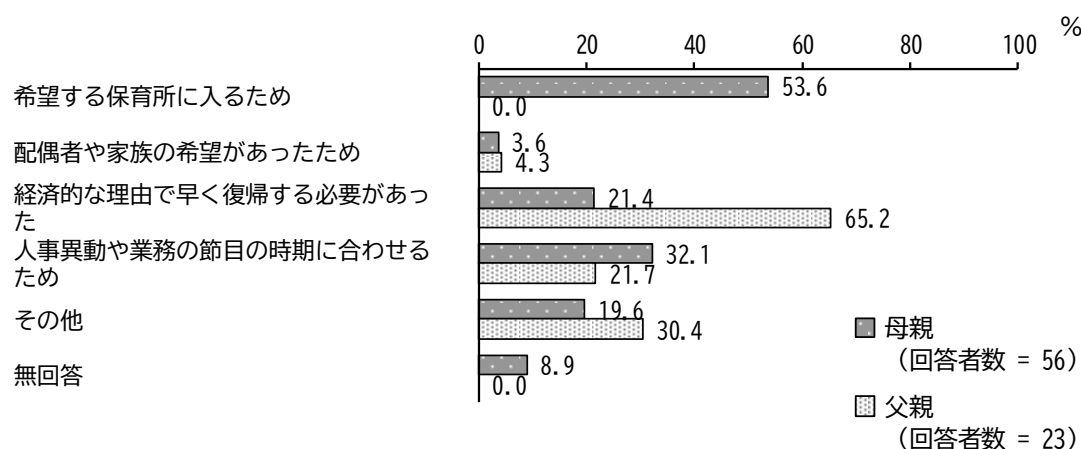
問 36－3－1 問 36－3 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※あてはまる番号すべてに○をつけてください。

母親では、「希望する保育所に入るため」の割合が 53.6%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 32.1%、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 21.4%となっています。

父親では、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 65.2%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 21.7%となっています。

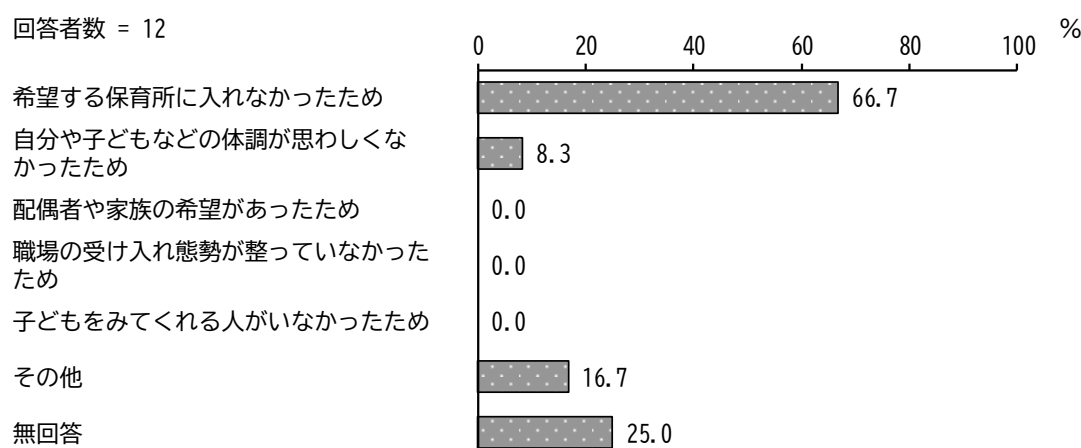
比較すると、「母親」で、「希望する保育所に入るため」、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が高くなっています。一方、「父親」で「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が高くなっています。



(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※あてはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

「希望する保育所に入れなかったため」の割合が 66.7%と最も高くなっています。



②父親

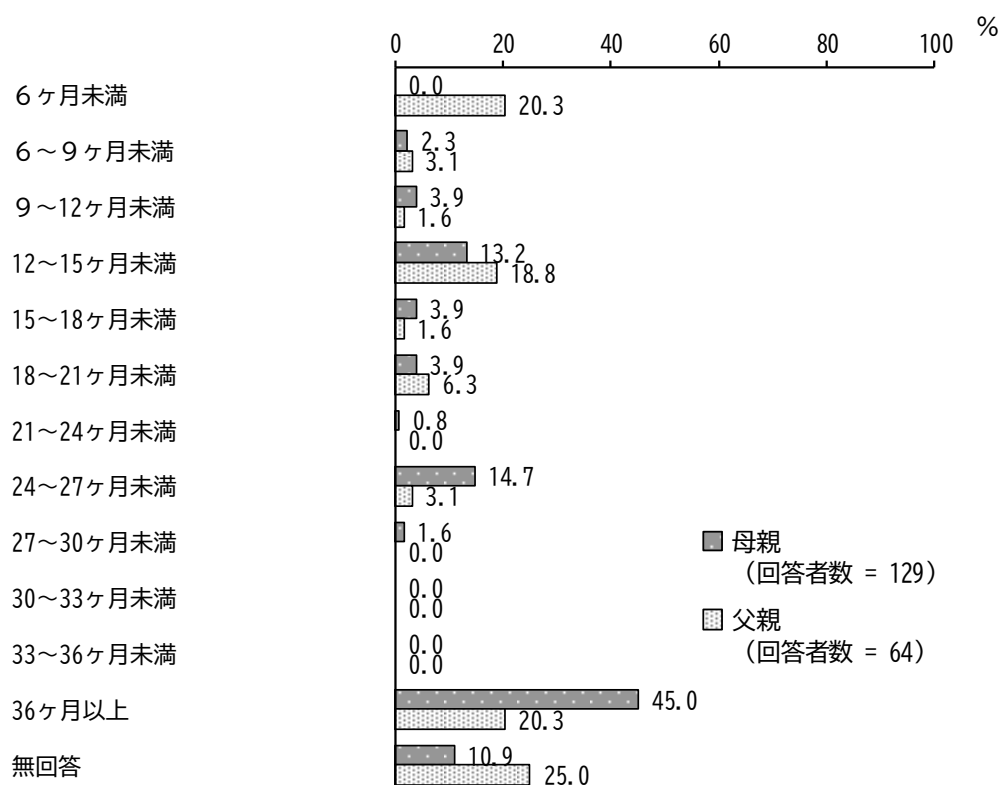
有効回答がありませんでした。

問 36－4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。() 内に数字でご記入ください。

母親では、「36 ヶ月以上」の割合が 45.0%と最も高く、次いで「24～27 ヶ月未満」の割合が 14.7%、「12～15 ヶ月未満」の割合が 13.2%となっています。

父親では、「6 ヶ月未満」、「36 ヶ月以上」の割合が 20.3%と最も高く、次いで「12～15 ヶ月未満」の割合が 18.8%となっています。

比較すると、「母親」で「24～27 ヶ月未満」、「36 ヶ月以上」の割合が高くなっています。一方、「父親」で「6 ヶ月未満」、「12～15 ヶ月未満」の割合が高くなっています。



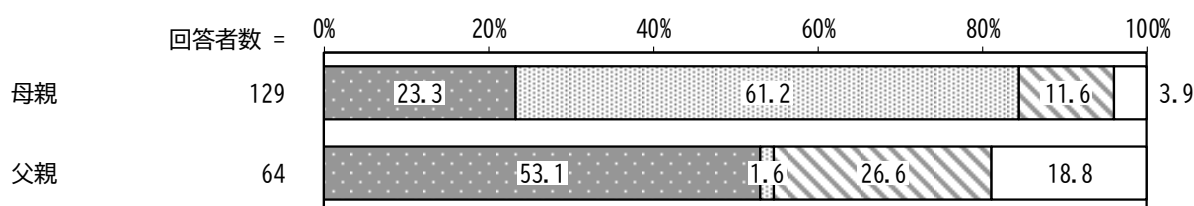
問 36－5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

母親では、「利用した」の割合が 61.2%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が 23.3%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が 11.6%となっています。

父親では、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が 53.1%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が 26.6%となっています。

比較すると、「母親」で、「利用した」の割合が高くなっています。一方、「父親」で「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が高くなっています。

- 利用する必要がなかった
(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
- ▨ 利用した
- ▩ 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）
- 無回答

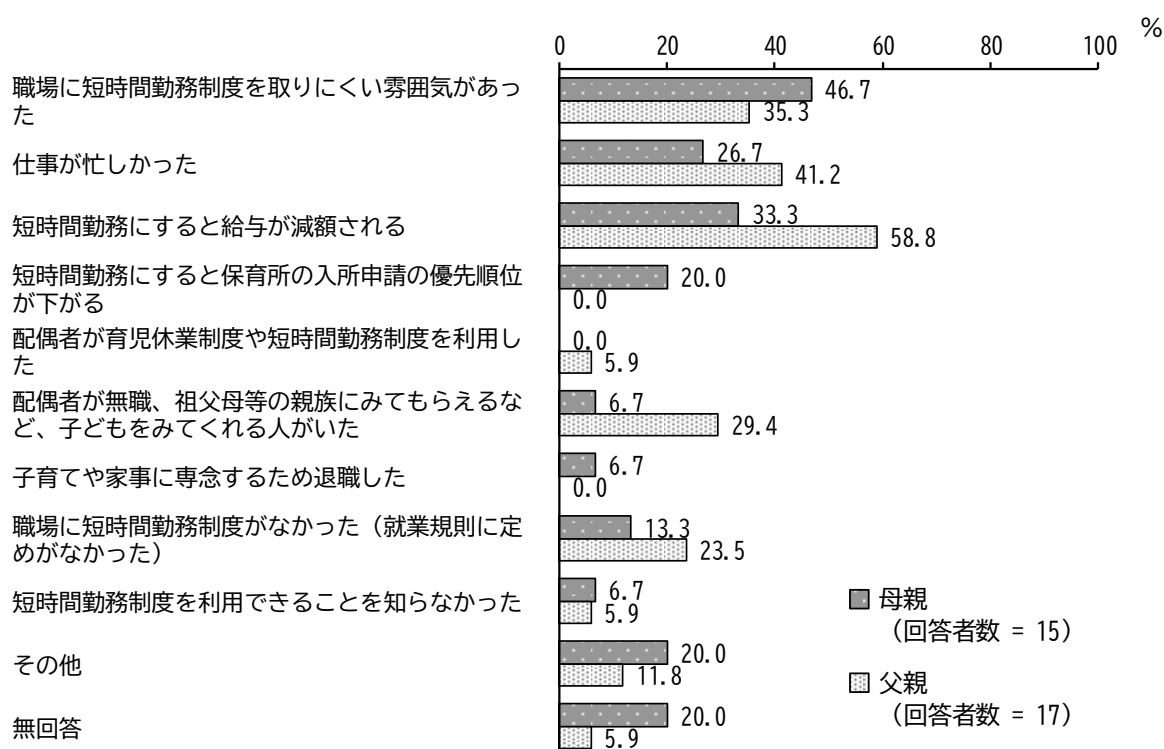


問 36－6 問 36－5で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

母親では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 33.3%、「仕事が忙しかった」の割合が 26.7%となっています。

父親では、「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 58.8%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が 41.2%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 35.3%となっています。

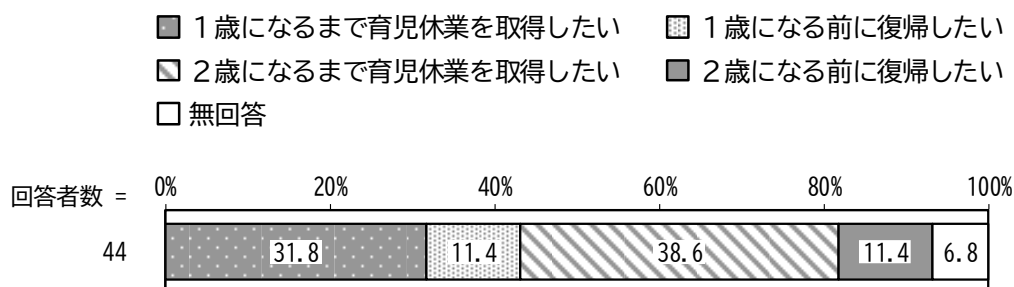
比較すると、「母親」で「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」、「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」の割合が高くなっています。一方、「父親」で「仕事が忙しかった」、「短時間勤務にすると給与が減額される」、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた」の割合が高くなっています。



問 36-7 問 36-1で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。
 あて名のお子さんが1歳もしくは2歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳もしくは2歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳もしくは2歳になる前に復帰しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

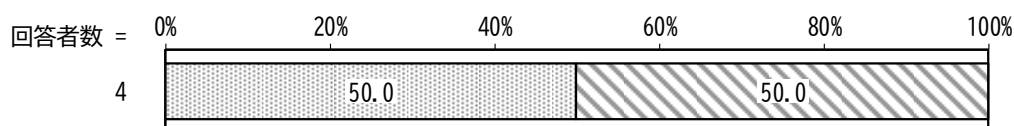
(1) 母親

「2歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が38.6%と最も高く、次いで「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が31.8%、「1歳になる前に復帰したい」、「2歳になる前に復帰したい」の割合が11.4%となっています。



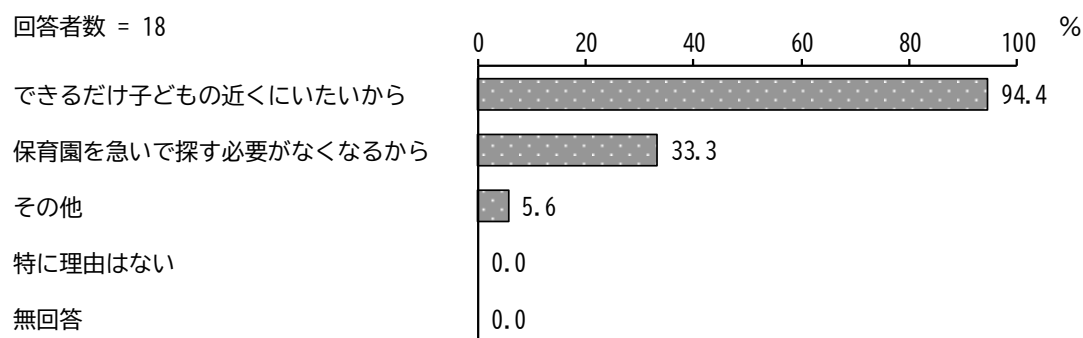
(2) 父親

「1歳になる前に復帰したい」、「2歳になるまで育児休業を取得したい」が2件となっています。



問 36-8 問 36-7で「3. 2歳になるまで育児休業を取得したい」と回答した方にうかがいます。あなたが育児休業を2歳になるまで取得したいと考える理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

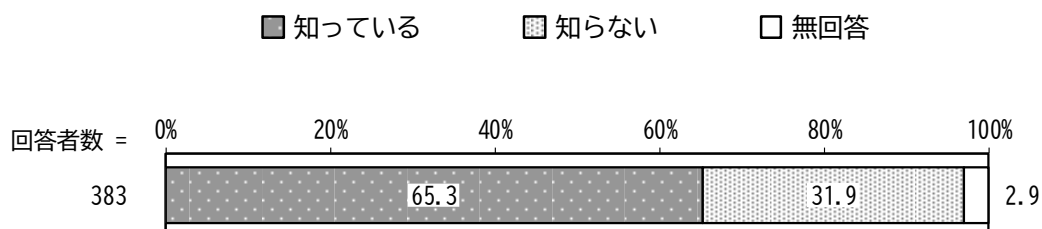
「できるだけ子どもの近くにいたいから」の割合が94.4%と最も高く、次いで「保育園を急いで探す必要がなくなるから」の割合が33.3%となっています。



(13) 子どもの権利について

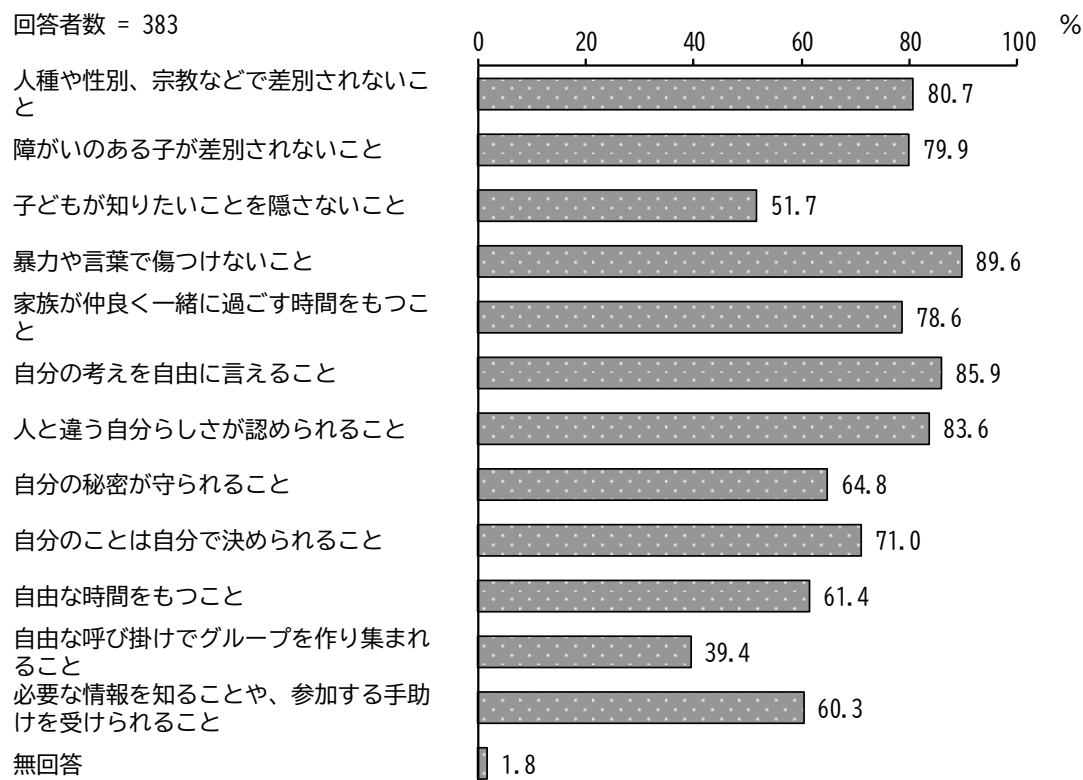
問 37 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「知っている」の割合が 65.3%、「知らない」の割合が 31.9%となっています。



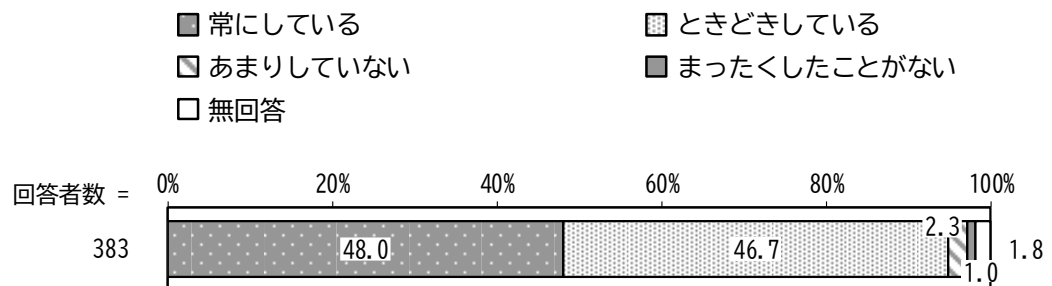
問 38 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が 89.6%と最も高く、次いで「自分の考えを自由に言えること」の割合が 85.9%、「人と違う自分らしさが認められること」の割合が 83.6%となっています。



問 39 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

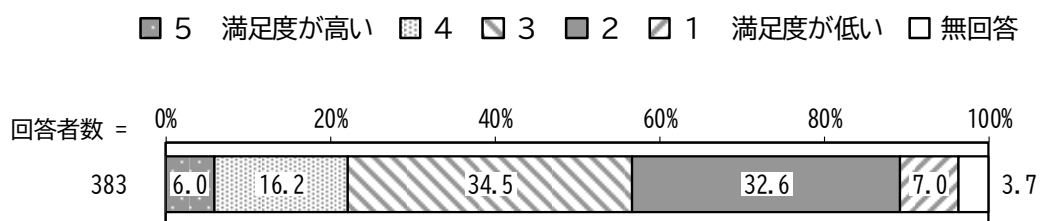
「常にしている」の割合が48.0%と最も高く、次いで「ときどきしている」の割合が46.7%となっています。



(14) 子育て全般について

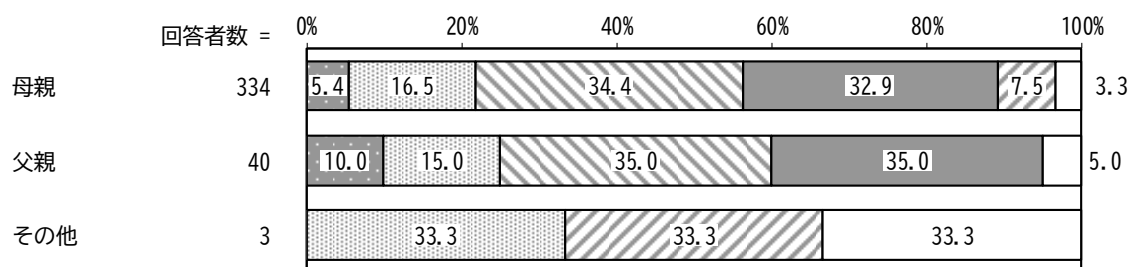
問 40 本町における子育ての環境や支援への満足度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

「3」の割合が34.5%と最も高く、次いで「2」の割合が32.6%、「4」の割合が16.2%となっています。



【父母別】

父母別にみると、大きな差はみられません。

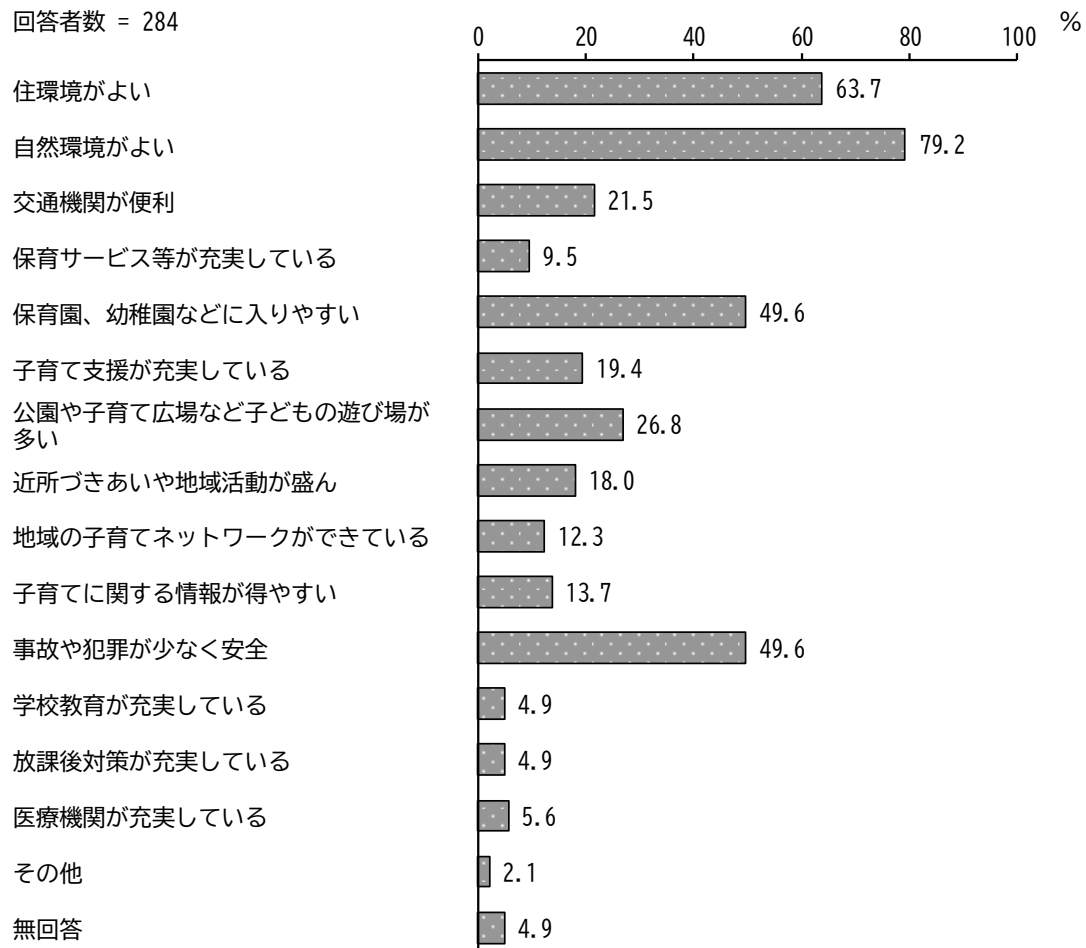


問 40－1 問 40 の回答「満足な理由」「不満足な理由」をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください

【問 40 で満足な理由】

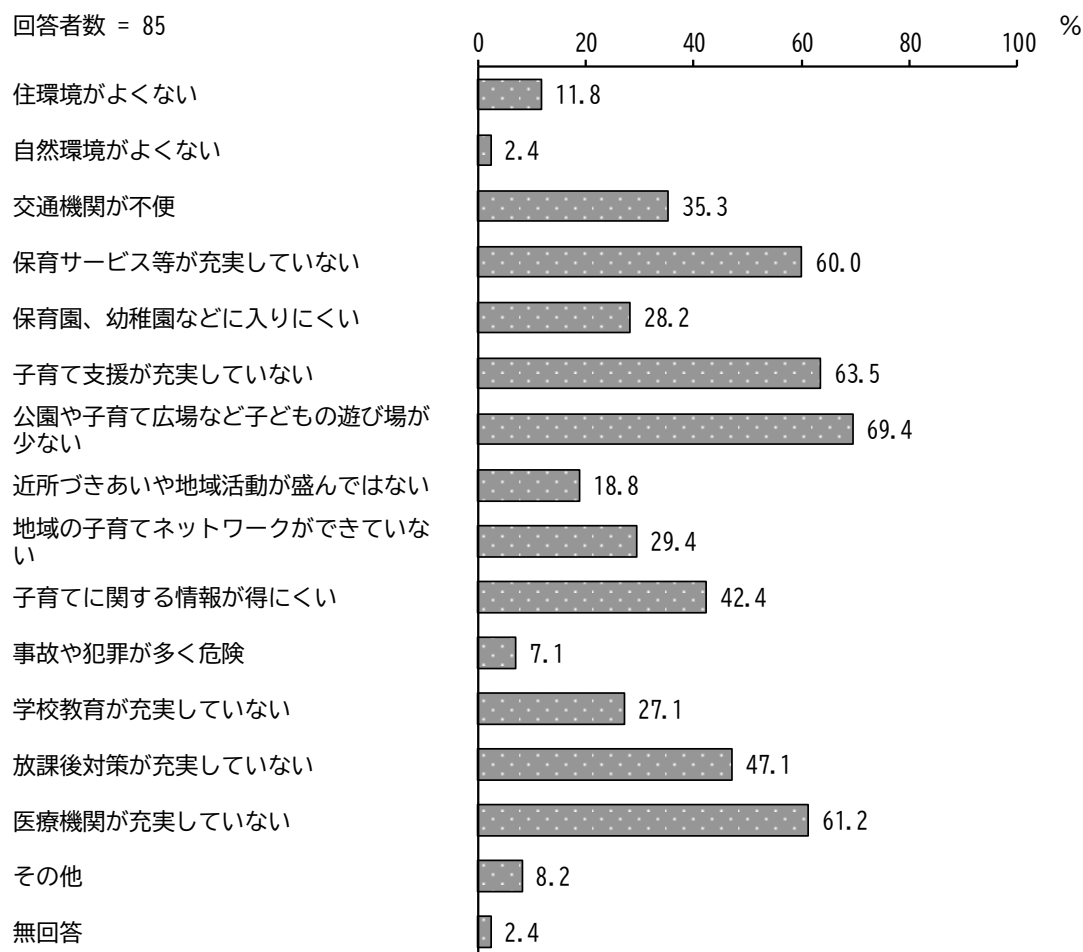
「自然環境がよい」の割合が 79.2%と最も高く、次いで「住環境がよい」の割合が 63.7%、「保育園、幼稚園などに入りやすい」、「事故や犯罪が少なく安全」の割合が 49.6%となっています。

回答者数 = 284



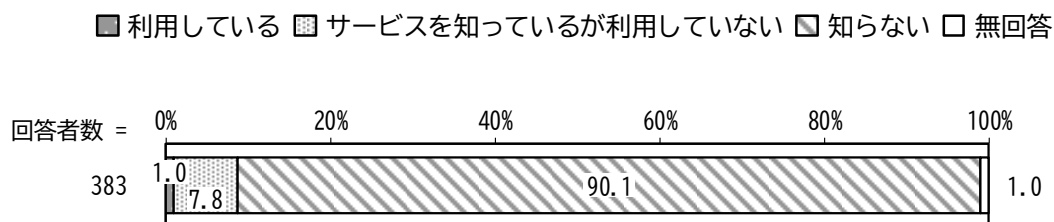
【問 40 で不満足な理由】

「公園や子育て広場など子どもの遊び場が少ない」の割合が 69.4%と最も高く、次いで「子育て支援が充実していない」の割合が 63.5%、「医療機関が充実していない」の割合が 61.2%となっています。



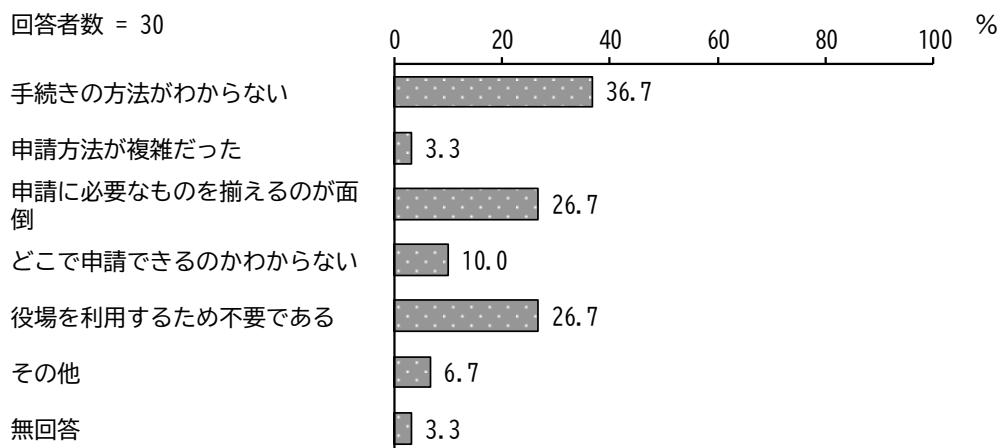
問 41 子育てワンストップサービスについてうかがいます。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

「知らない」の割合が 90.1%と最も高くなっています。



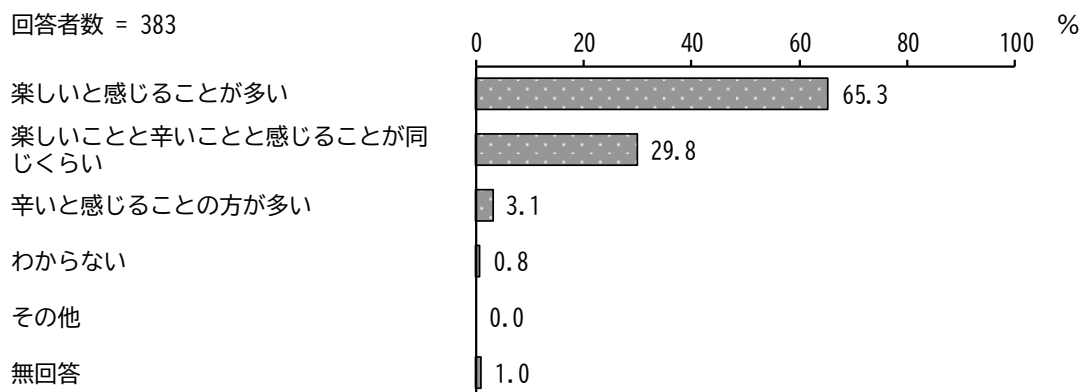
問 41－1 問 41 で「2. サービスを知っているが利用していない」に○をつけた方にかがいます。サービスを知っていて利用しない理由はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「手続きの方法がわからない」の割合が 36.7%と最も高く、次いで「申請に必要なものを揃えるのが面倒」、「役場を利用するため不要である」の割合が 26.7%となっています。



問 42 子育てを楽しんでいると感じることは多いですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

「楽しいと感じることが多い」の割合が 65.3%と最も高く、次いで「楽しいことと辛いことと感じることが同じくらい」の割合が 29.8%となっています。



【父母別】

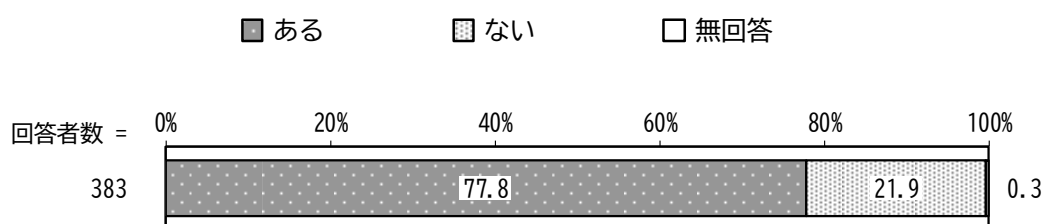
父母別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	楽しいと感じるこ とが多い	楽しいことと辛い ことと感 じることが 同じくらい	辛いと感じること の方が多い	わからない	その他	無回答
全 体	383	65.3	29.8	3.1	0.8	—	1.0
母親	334	64.4	30.8	3.0	0.9	—	0.9
父親	40	67.5	25.0	5.0	—	—	2.5
その他	3	66.7	33.3	—	—	—	—

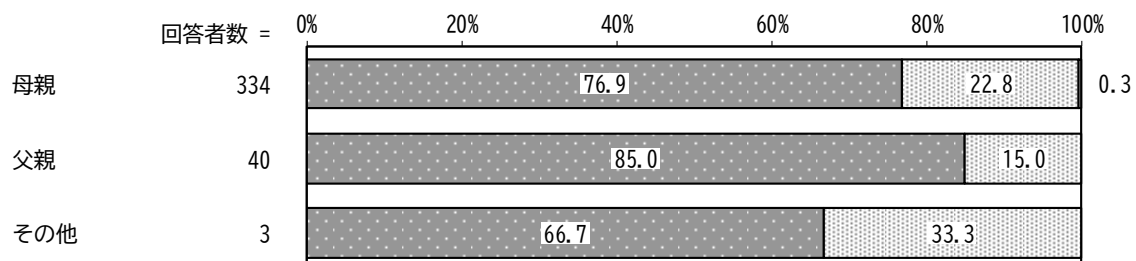
問 43 あなたは、子育てをしていて、不安や悩みなどがありますか。

「ある」の割合が 77.8%、「ない」の割合が 21.9%となっています。



【父母別】

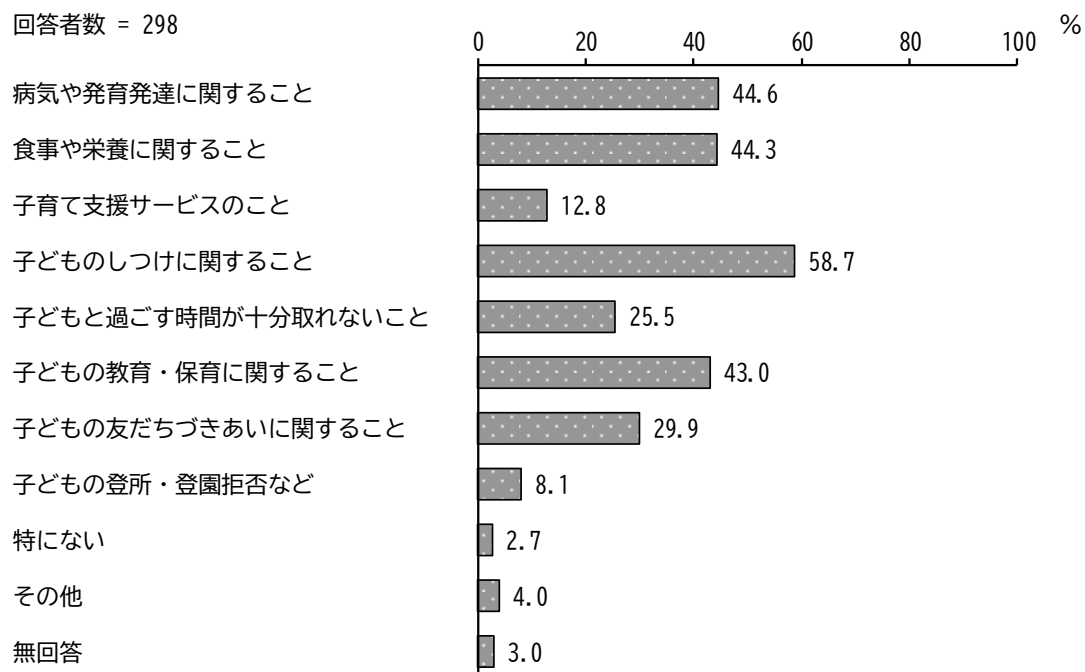
父母別にみると、父親で「ある」の割合が高くなっています。



問 44 問 43 で「1. ある」に○をつけた方にうかがいます。子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 子どもに関すること

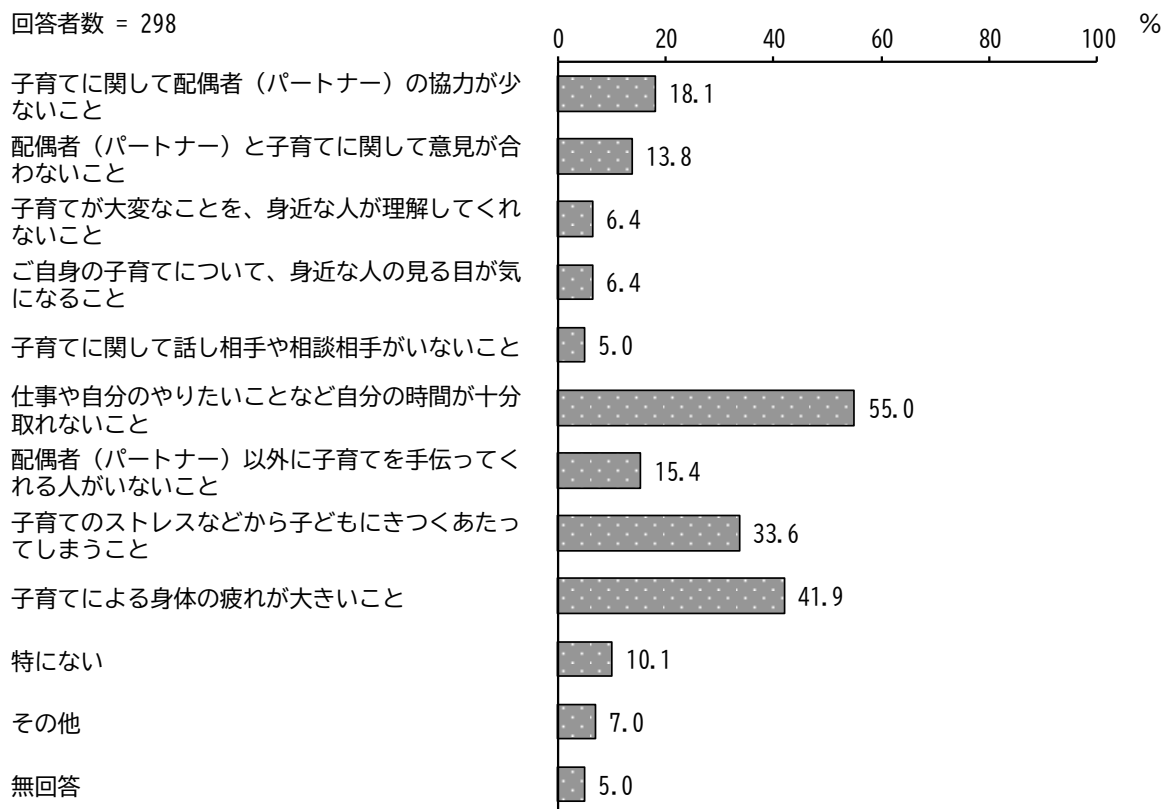
「子どものしつけに関すること」の割合が 58.7%と最も高く、次いで「病気や発育発達に関すること」の割合が 44.6%、「食事や栄養に関すること」の割合が 44.3%となっています。



(2) ご自身に関すること

「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が 55.0%と最も高く、次いで「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が 41.9%、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」の割合が 33.6%となっています。

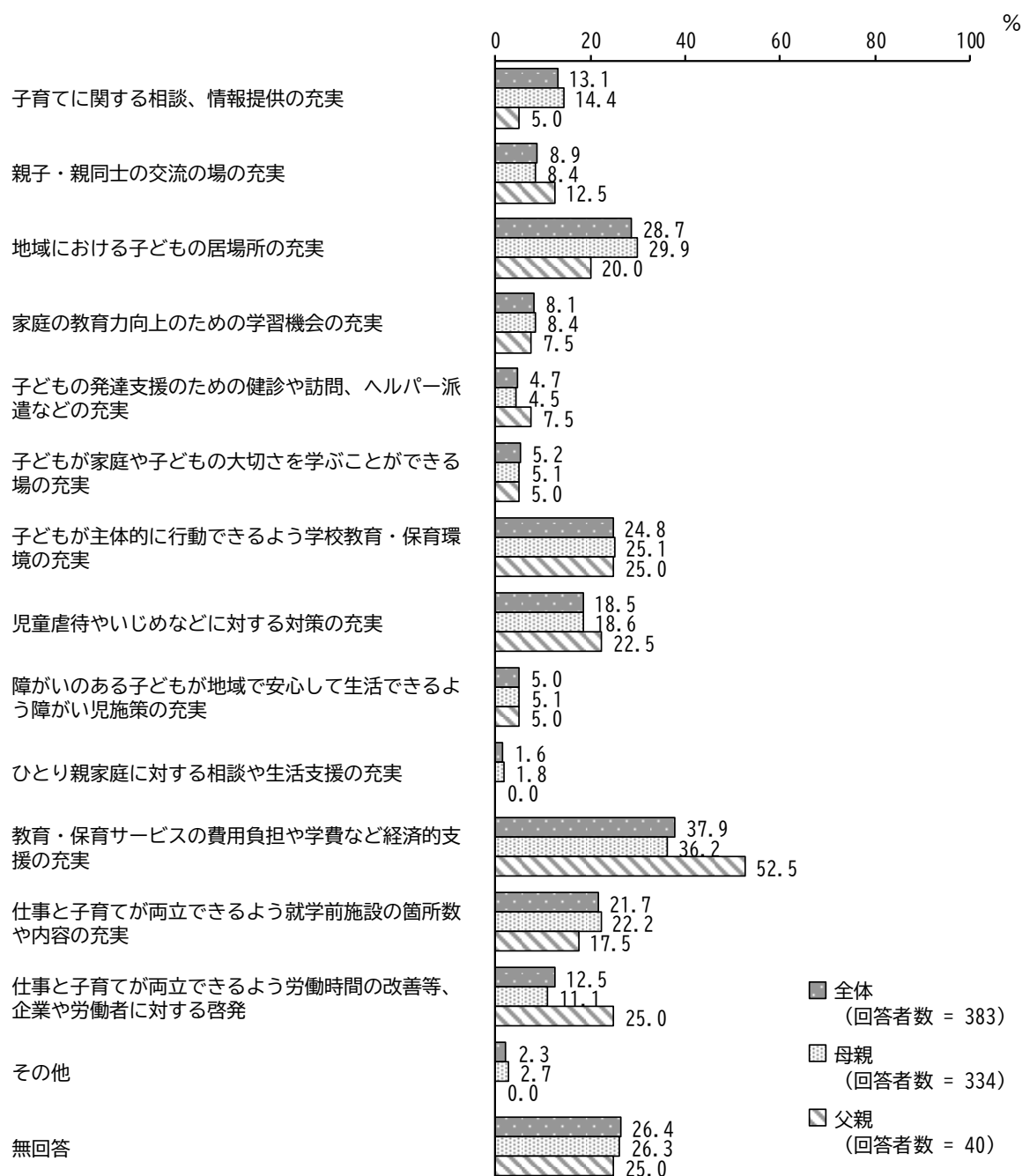
回答者数 = 298



問 45 二宮町の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。あてはまる番号3つまで○をつけてください。

「教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「地域における子どもの居場所の充実」の割合が 28.7%、「子どもが主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実」の割合が 24.8%となっています。

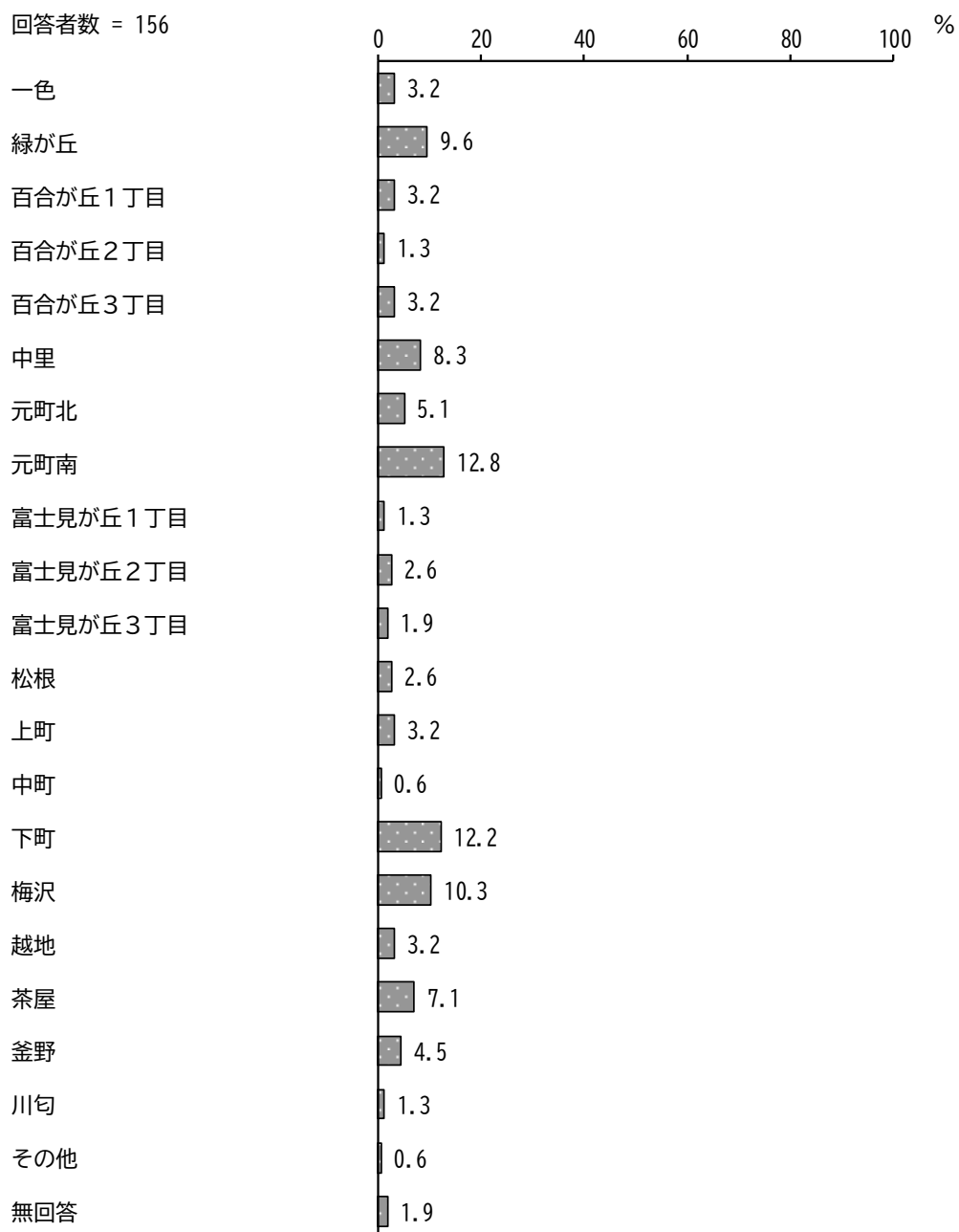
比較すると、「父親」で「教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実」の割合が高くなっています。



2 小学生

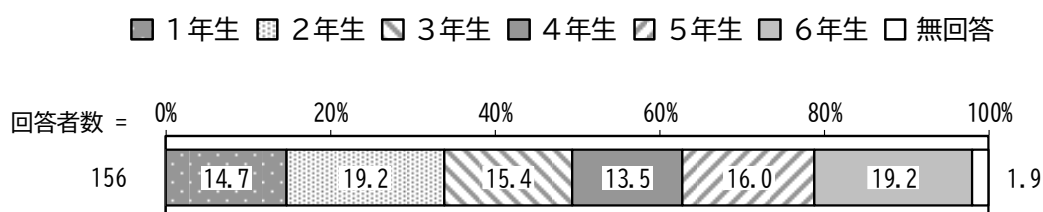
(1) お住まいの地域について

問1 お住まいの地区としてあてはまる番号1つに○をつけてください。



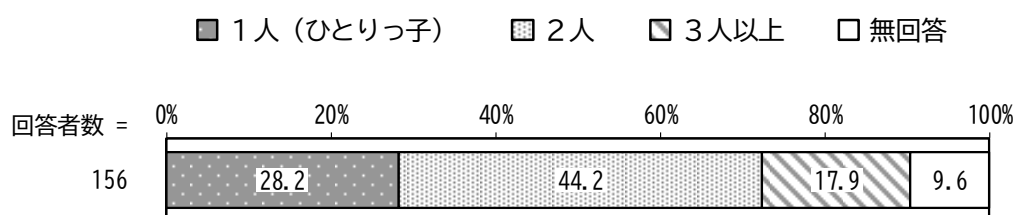
(2) お子さんご家族の状況について

問2 あて名のお子さんの学年にあてはまる番号1つに○をつけてください。

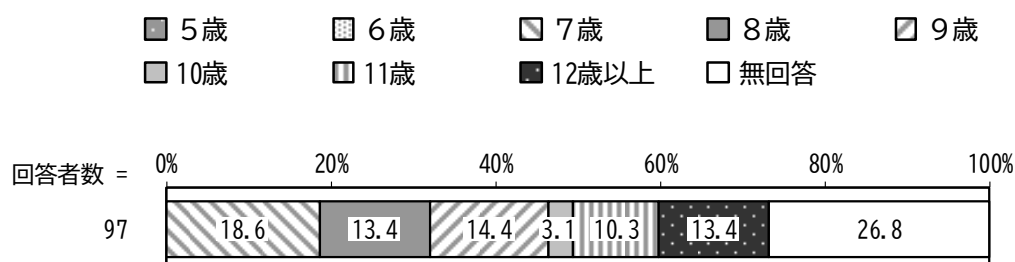


問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を()内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月を、和暦を選んだ後、数字でご記入ください。

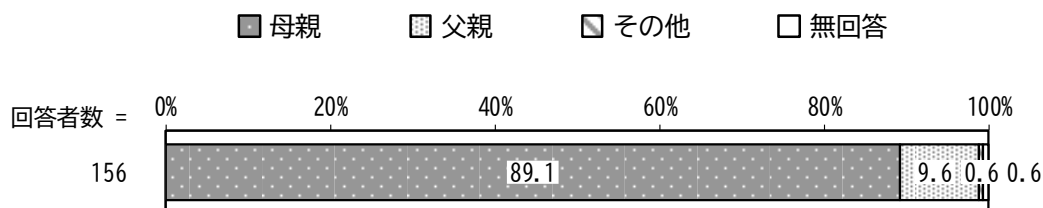
きょうだい数



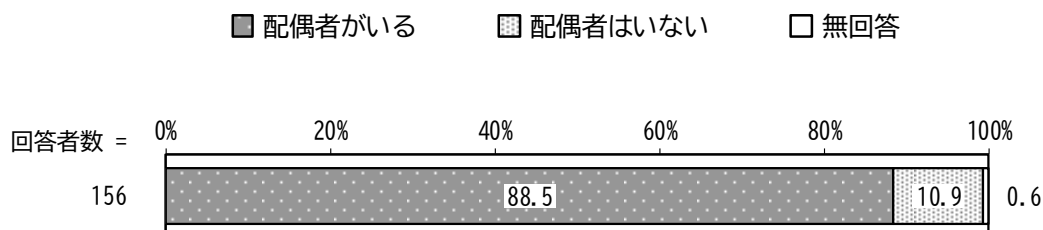
末子の年齢 (ひとりっ子を除く)



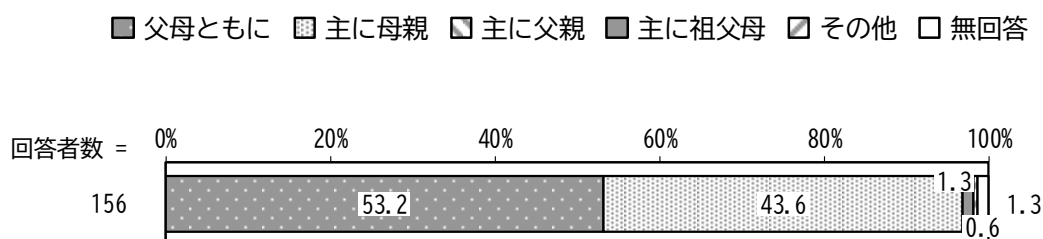
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。



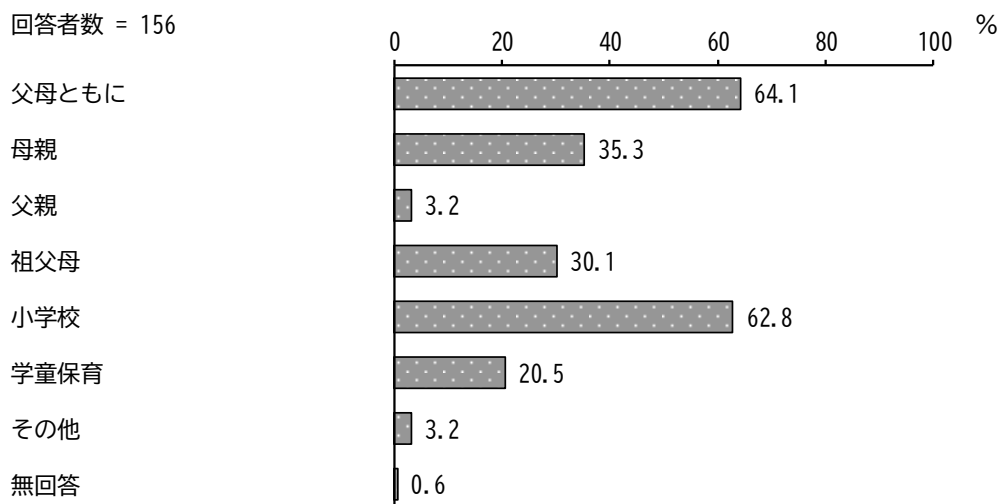
問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係であてはまる番号1つに○をつけてください。



(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

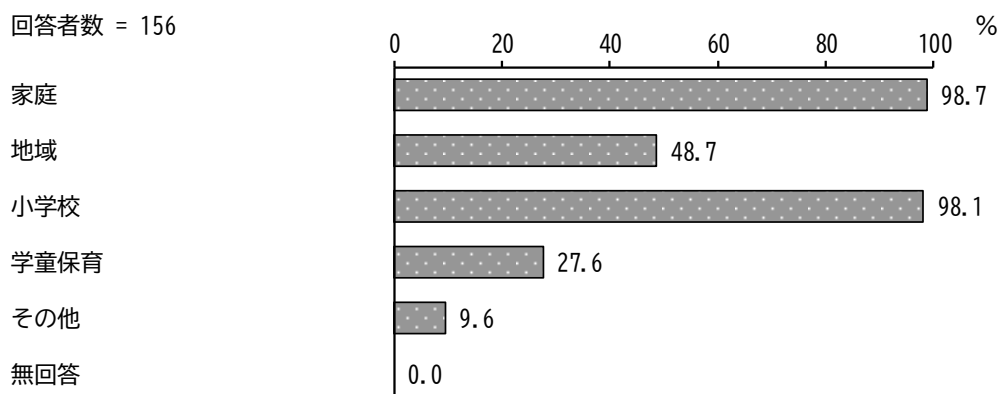
問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係であてはまる番号すべてに○をつけてください。

「父母ともに」の割合が 64.1%と最も高く、次いで「小学校」の割合が 62.8%、「母親」の割合が 35.3%となっています。



問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

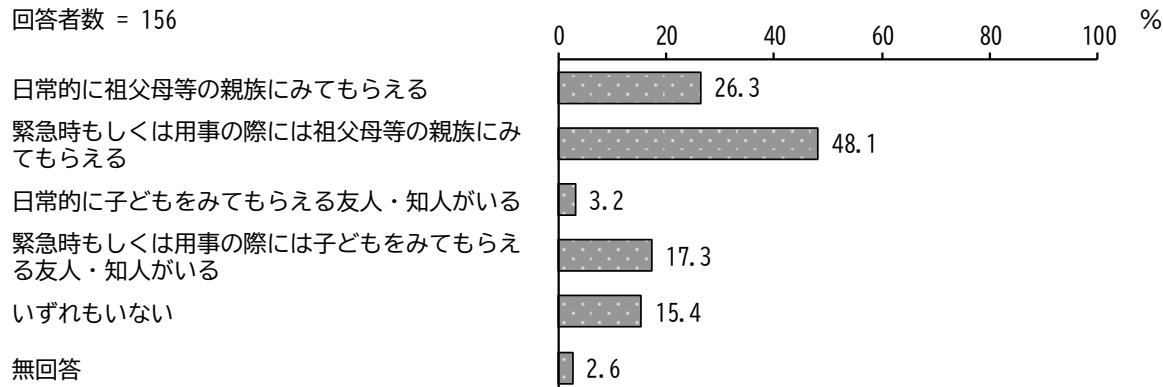
「家庭」の割合が 98.7%と最も高く、次いで「小学校」の割合が 98.1%、「地域」の割合が 48.7%となっています。



問9 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 26.3%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が 17.3%となっています。

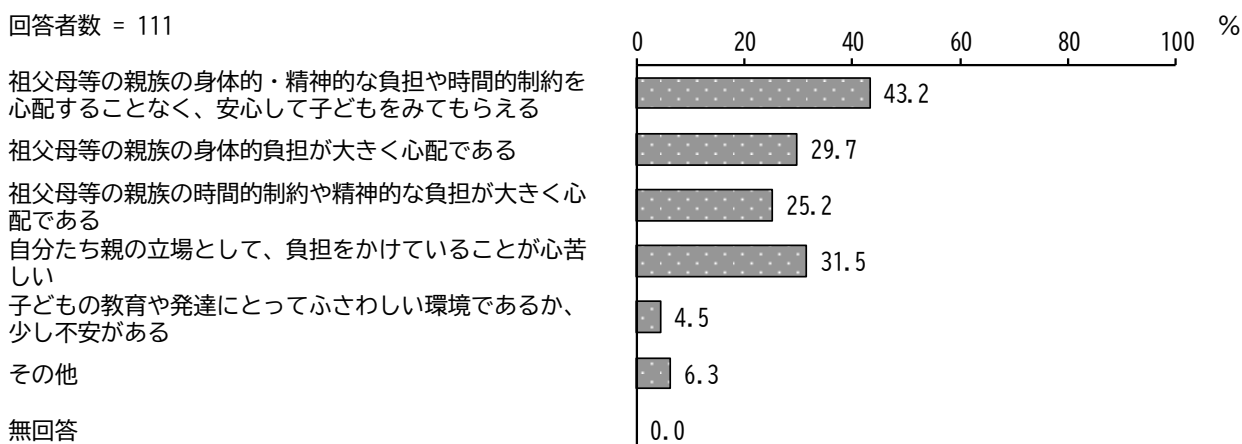
回答者数 = 156



問9-1 問9で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 43.2%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 31.5%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が 29.7%となっています。

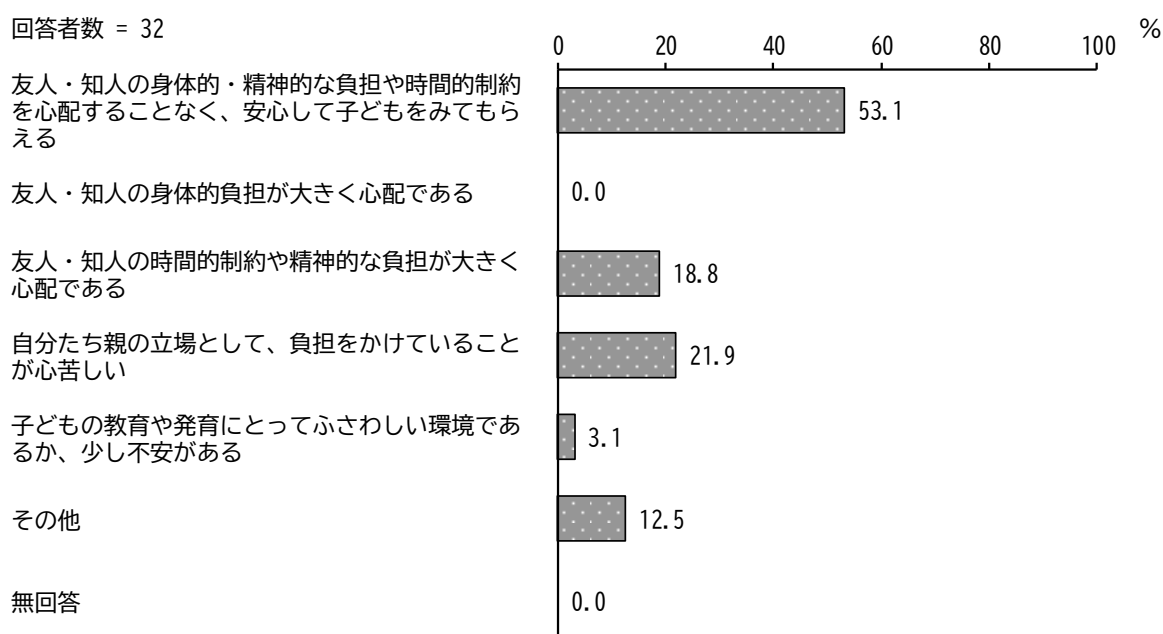
回答者数 = 111



問9-2 問9で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

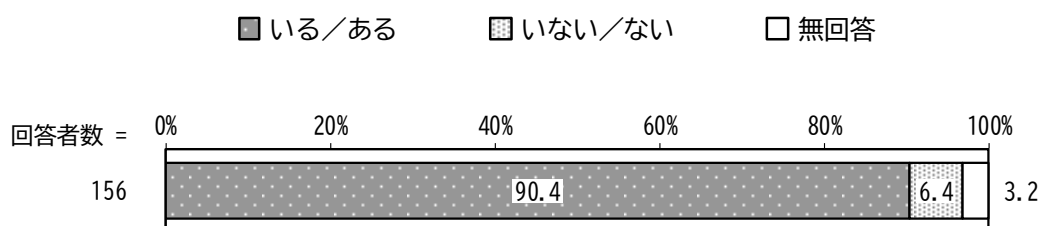
「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が53.1%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が21.9%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が18.8%となっています。

回答者数 = 32



問10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

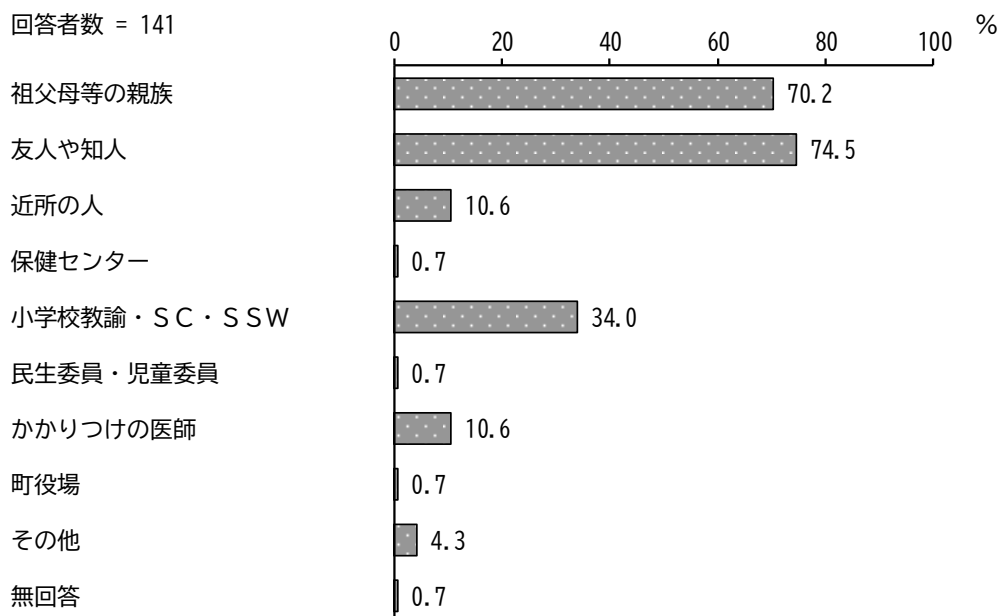
「いる／ある」の割合が90.4%、「いない／ない」の割合が6.4%となっています。



問 10－1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人や知人」の割合が 74.5%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が 70.2%、「小学校教諭・SC・SSW」の割合が 34.0%となっています。



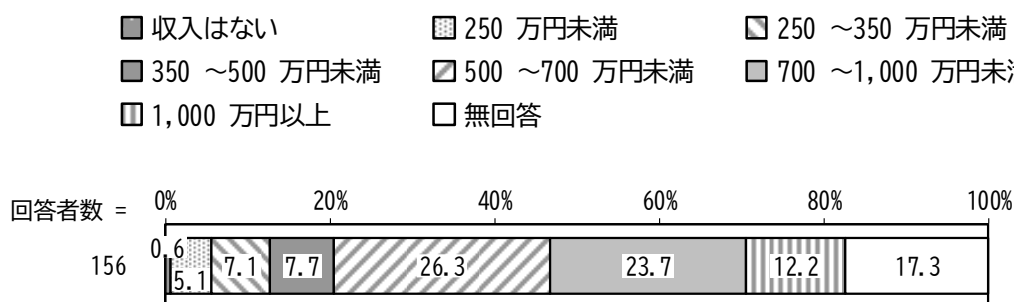
問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

日常的なサポート	13
相談	11
一時預かり	10
広報・情報提供	5
金銭的サポート	4
放課後の居場所や遊びの場	4
見守り	2
交流の場	1
学びの充実	1
その他	4
なし	108
合計	163

(4) ご家族の経済状況について

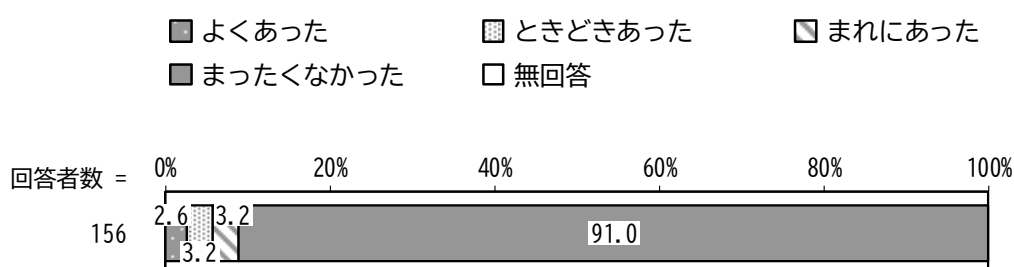
問12 昨年1年間（令和4年1月～令和4年12月）の、家族全員の収入（所得税・住民税などの税金や健康保険料・介護保険料などを支払った後の手取り額）の合計額は、およそいくらでしたか。年間の世帯収入額をご記入ください。

「500 ～700 万円未満」の割合が26.3%と最も高く、次いで「700 ～1,000 万円未満」の割合が23.7%、「1,000 万円以上」の割合が12.2%となっています。



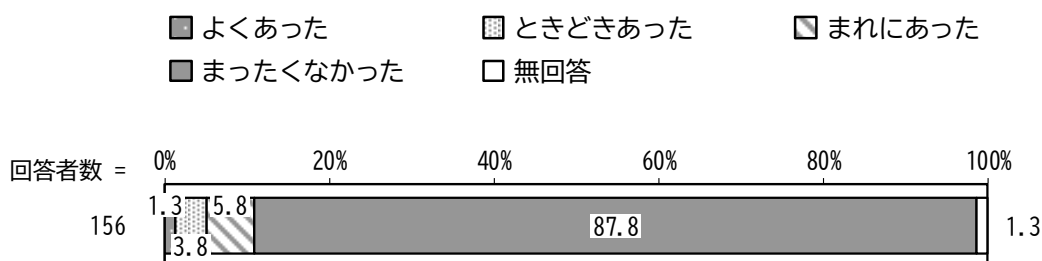
問13 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が91.0%と最も高くなっています。



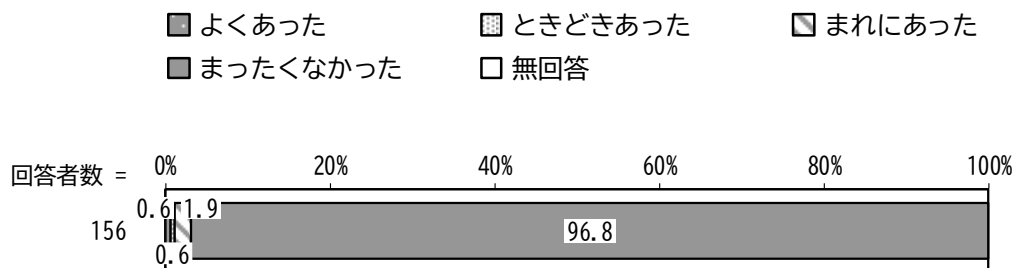
問14 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が87.8%と最も高くなっています。



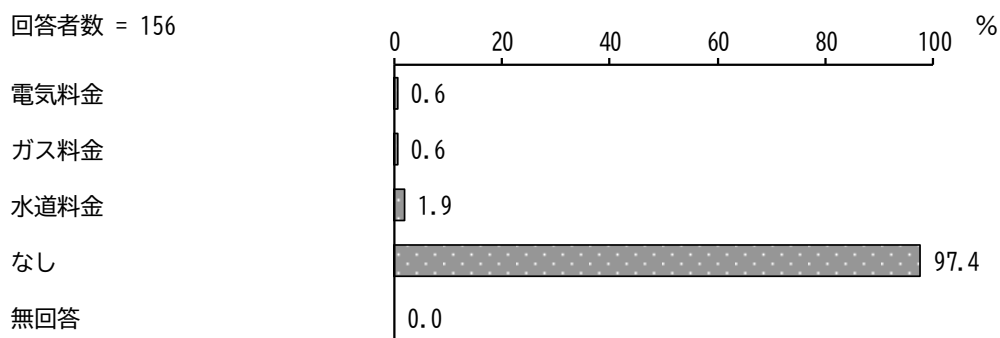
問 15 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、教育に関わるお金（学用品費・給食費・修学旅行等の積立費等）を支払うことができなかったことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が96.8%と最も高くなっています。



問 16 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で支払いが滞ったことがありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「なし」の割合が97.4%と最も高くなっています。



(5) 保護者の就労状況について

問 17 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）をうかがいます。

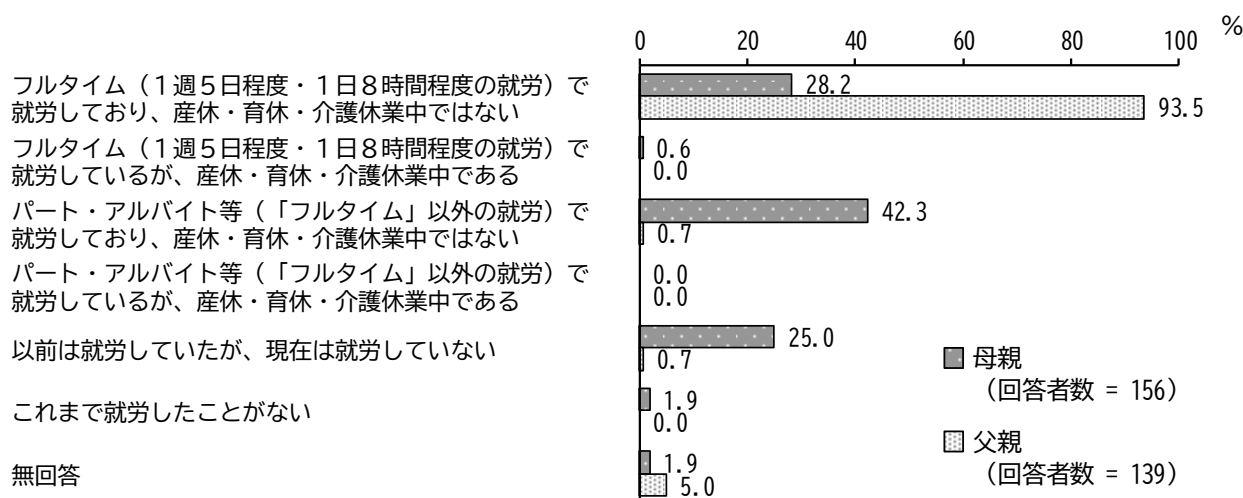
(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

母親では、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 42.3%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 28.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 25.0%となっています。

父親では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 93.5%と最も高くなっています。

比較すると、「母親」で「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が高くなっています。一方、「父親」で「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が高くなっています。



【母親 1週当たりの就労日数別】

1週当たりの就労日数別にみると、「週3日」、「週4日」で「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全 体	111	39.6	0.9	59.5	—	—	—	—
週1日	—	—	—	—	—	—	—	—
週2日	3	—	—	100.0	—	—	—	—
週3日	27	—	—	100.0	—	—	—	—
週4日	19	—	—	100.0	—	—	—	—
週5日	52	75.0	1.9	23.1	—	—	—	—
週6日	4	75.0	—	25.0	—	—	—	—
週7日	1	100.0	—	—	—	—	—	—

【父親 1週当たりの就労日数別】

1週当たりの就労日数別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数（件）	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全 体	131	99.2	—	0.8	—	—	—	—
週1日	—	—	—	—	—	—	—	—
週2日	—	—	—	—	—	—	—	—
週3日	2	100.0	—	—	—	—	—	—
週4日	2	50.0	—	50.0	—	—	—	—
週5日	97	100.0	—	—	—	—	—	—
週6日	26	100.0	—	—	—	—	—	—
週7日	1	100.0	—	—	—	—	—	—

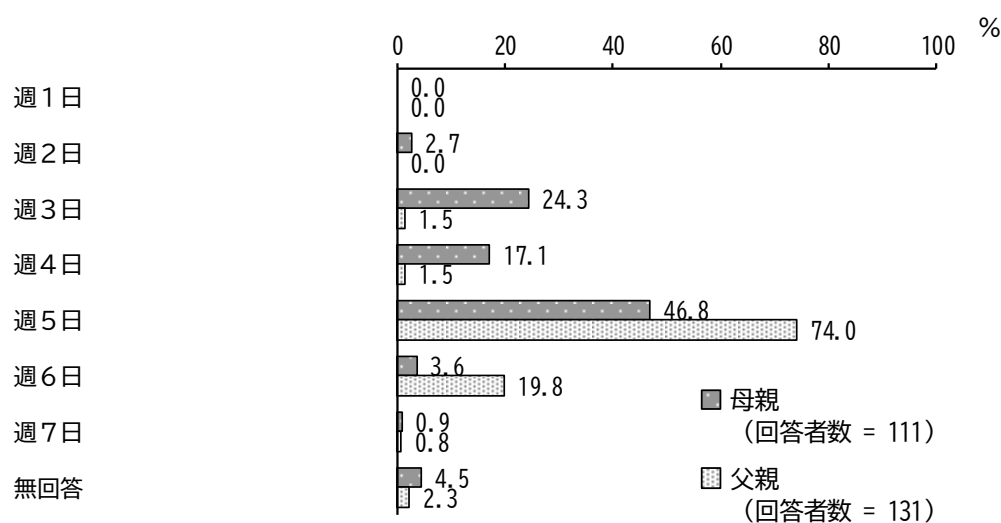
- (1) - 1 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。()内に数字でご記入ください。
- (2) - 1 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。()内に数字でご記入ください。

1週当たりの就労日数

母親では、「週5日」の割合が46.8%と最も高く、次いで「週3日」の割合が24.3%、「週4日」の割合が17.1%となっています。

父親では、「週5日」の割合が74.0%と最も高く、次いで「週6日」の割合が19.8%となっています。

比較すると、「母親」で「週3日」、「週4日」の割合が高くなっています。一方、「父親」で「週5日」「週6日」の割合が高くなっています。

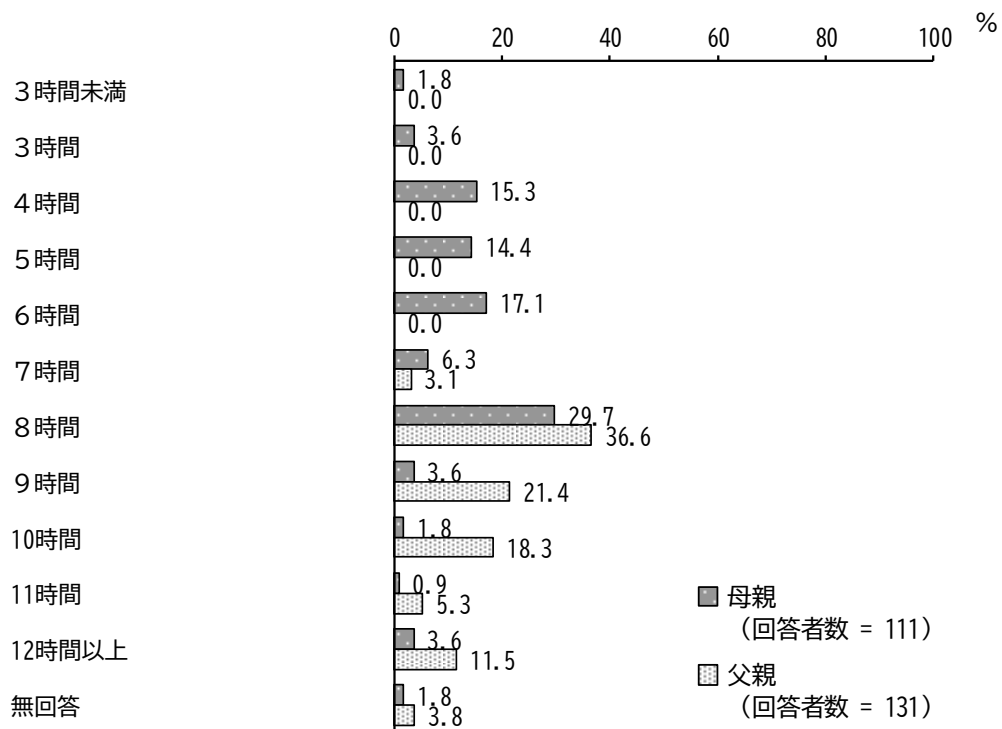


1 日当たりの就労時間

母親では、「8時間」の割合が 29.7%と最も高く、次いで「6時間」の割合が 17.1%、「4時間」の割合が 15.3%となっています。

父親では、「8時間」の割合が 36.6%と最も高く、次いで「9時間」の割合が 21.4%、「10時間」の割合が 18.3%となっています。

比較すると、「母親」で「4時間」、「5時間」、「6時間」の割合が高くなっています。一方、「父親」で「8時間」、「9時間」、「10時間」、「12時間以上」の割合が高くなっています。



(1) - 2 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時~18時のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。

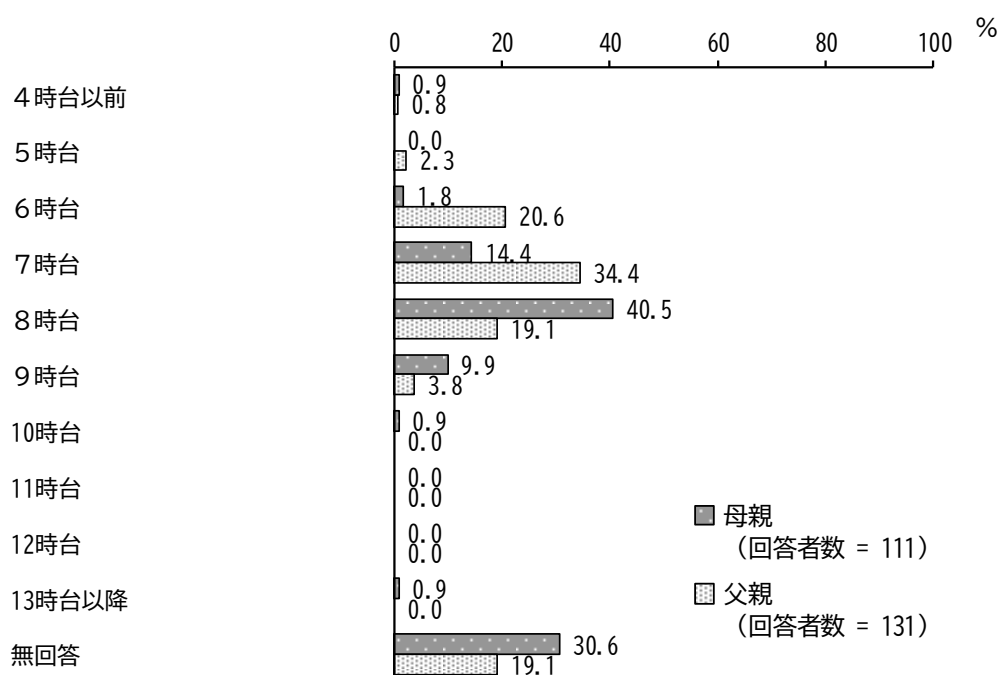
(2) - 2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時~18時のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。

家を出る時刻

母親では、「8時台」の割合が40.5%と最も高く、次いで「7時台」の割合が14.4%となっています。

父親では、「7時台」の割合が34.4%と最も高く、次いで「6時台」の割合が20.6%、「8時台」の割合が19.1%となっています。

比較すると、「母親」で「8時台」、「9時台」の割合が高くなっています。一方、「父親」で「6時台」、「7時台」の割合が高くなっています。

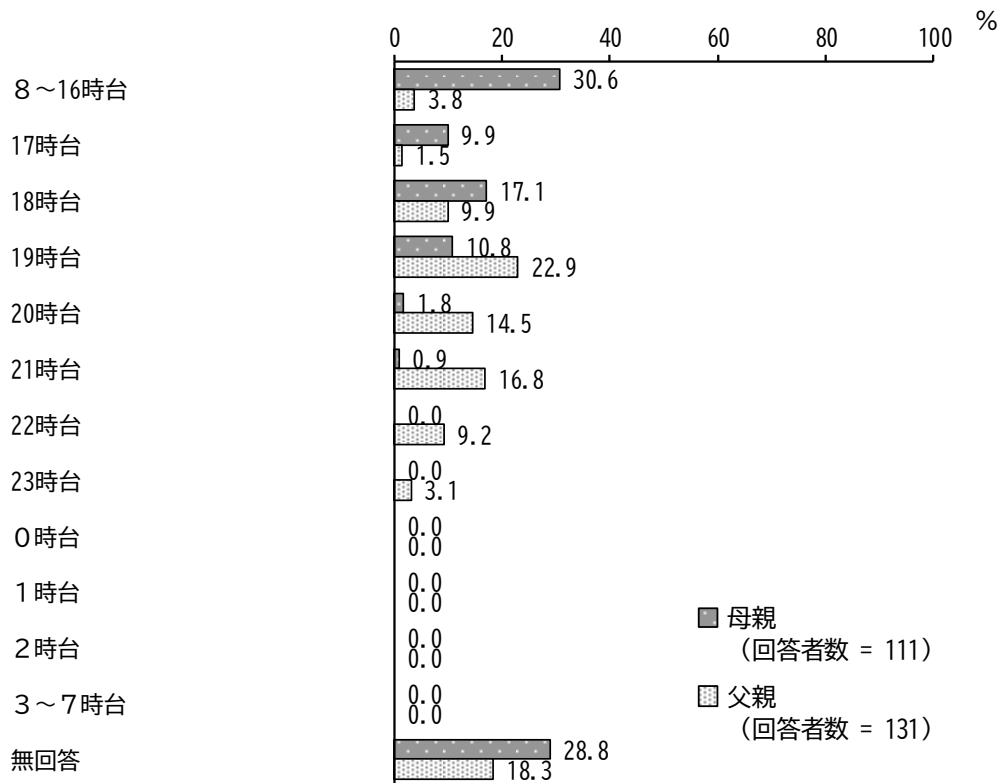


帰宅時刻

母親では、「8～16 時台」の割合が 30.6%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 17.1%、「19 時台」の割合が 10.8%となっています。

父親では、「19 時台」の割合が 22.9%と最も高く、次いで「21 時台」の割合が 16.8%、「20 時台」の割合が 14.5%となっています。

比較すると、「母親」で「8～16 時台」、「17 時台」、「18 時台」の割合が高くなっています。一方、「父親」で「19 時台」、「20 時台」、「21 時台」、「22 時台」の割合が高くなっています。

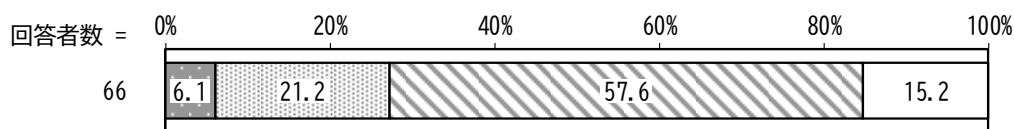


問 18 問 17 の（１）または（２）で「３.」、「４.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 21 へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

（１）母親

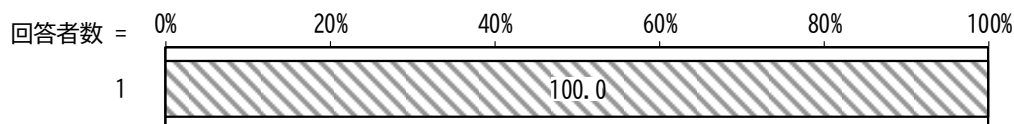
「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が 57.6% と最も高く、次いで「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 21.2% となっています。

- ☒ フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- ☒ フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- ☒ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
- ☐ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい
- ☐ 無回答



（２）父親

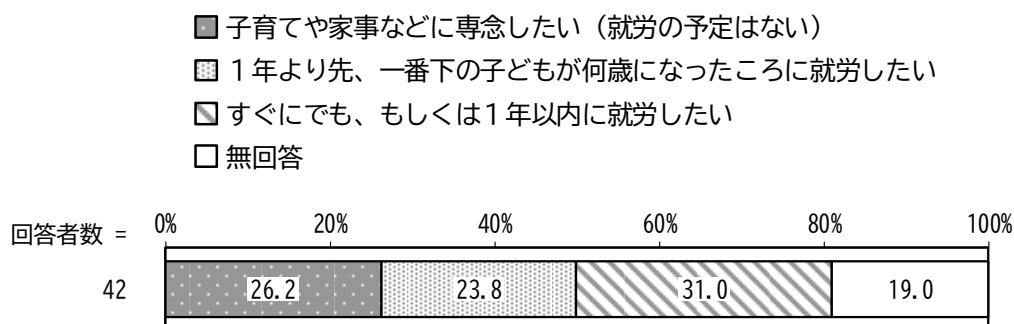
「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が 1 件となっています。



問19 問17の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問21へお進みください。
就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。

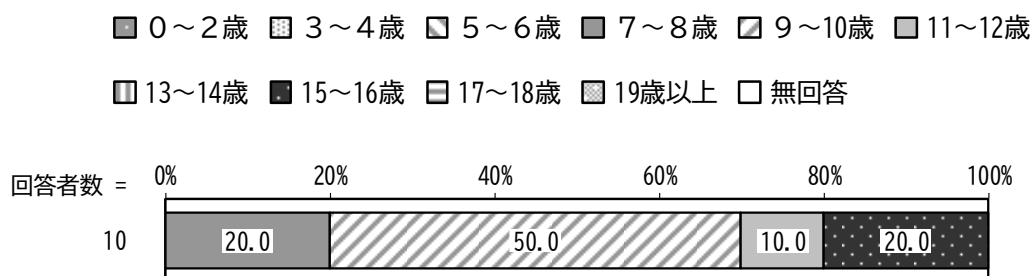
(1) 母親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が31.0%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が26.2%、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の割合が23.8%となっています。



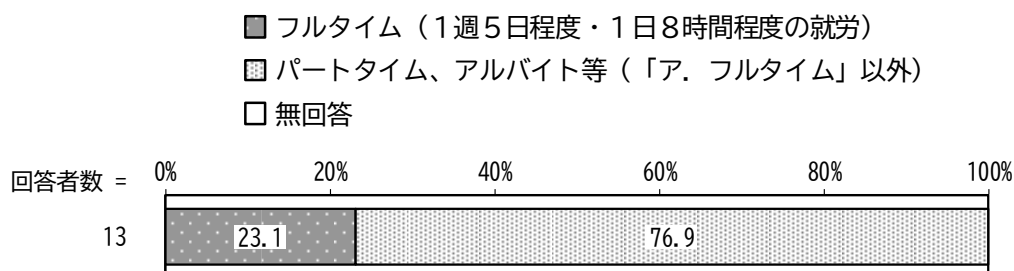
末子の年齢による就労意向

「9～10歳」の割合が50.0%と最も高く、次いで「7～8歳」、「15～16歳」の割合が20.0%となっています。



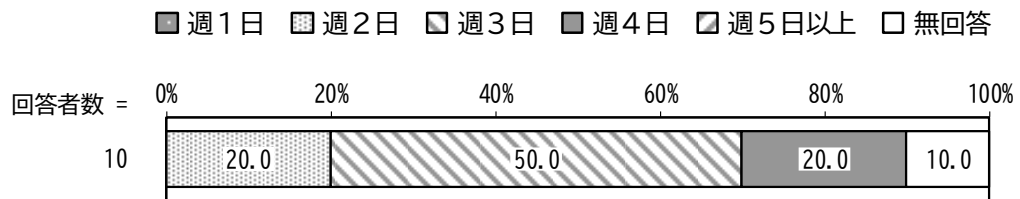
希望する就労形態

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」の割合が23.1%、「パートタイム、アルバイト等(「ア. フルタイム」以外)」の割合が76.9%となっています。



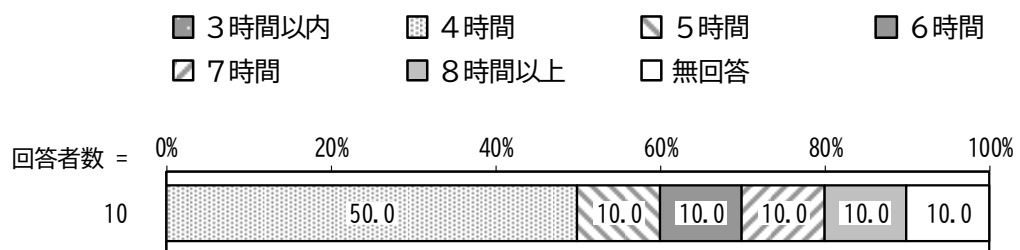
希望する就労日数（1週当たり）

「週3日」の割合が50.0%と最も高く、次いで「週2日」、「週4日」の割合が20.0%となっています。



希望する就労時間（1日当たり）

「4時間」の割合が50.0%と最も高く、次いで「5時間」、「6時間」、「7時間」の割合が10.0%となっています。

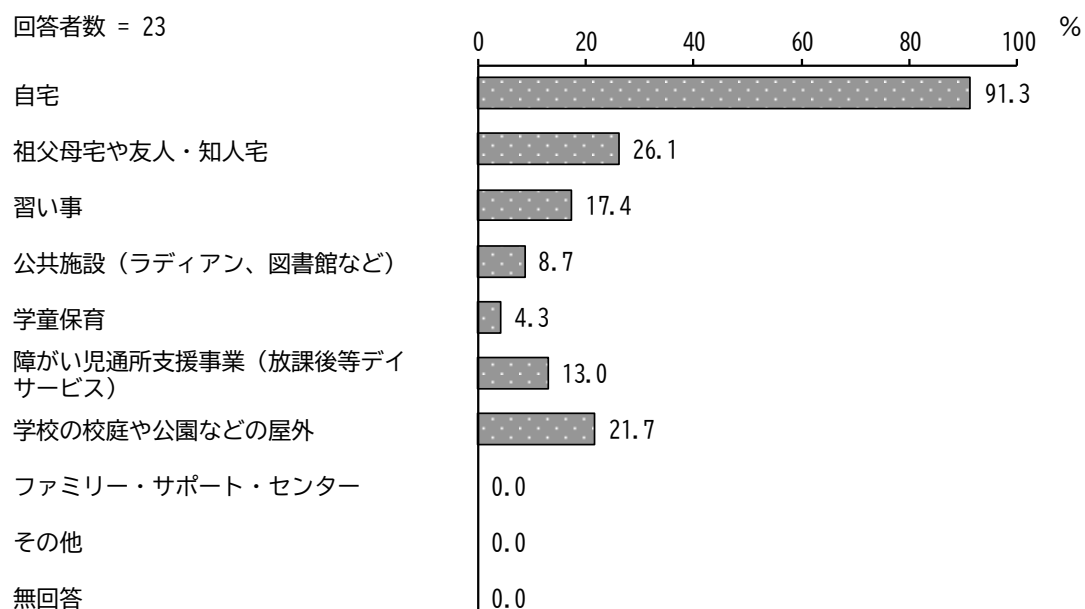


（2）父親

有効回答がありませんでした。

問 20 問 19 の（1）（2）で「2.」または「3.」（就労したい）に○をつけた方にうかがいます。仕事を始めた後、対象のお子さんは放課後の時間をどのような場所で過ごしますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

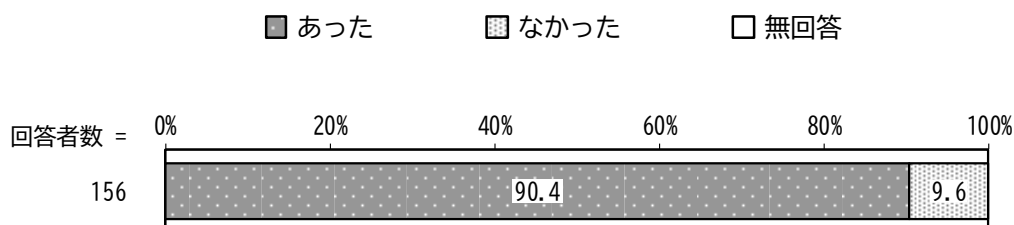
「自宅」の割合が91.3%と最も高く、次いで「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が26.1%、「学校の校庭や公園などの屋外」の割合が21.7%となっています。



（６）病気の際の対応について

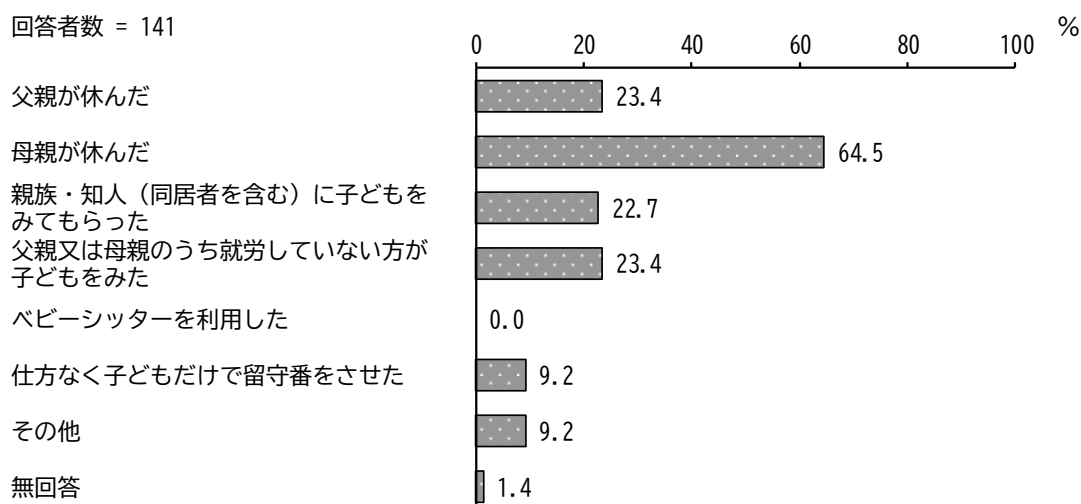
問 21 この１年間に、あて名のお子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかったことはありますか。

「あった」の割合が 90.4%、「なかった」の割合が 9.6%となっています。



問 21－１ あて名のお子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかった場合に、この１年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数も（ ）内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。）

「母親が休んだ」の割合が 64.5%と最も高く、次いで「父親が休んだ」、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が 23.4%となっています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」で「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	ベビーシッターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全 体	141	23.4	64.5	22.7	23.4	—	9.2	9.2	1.4
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	39	48.7	82.1	41.0	5.1	—	7.7	10.3	—
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	62	11.3	79.0	19.4	9.7	—	16.1	8.1	1.6
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	—	—	—	—	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	34	17.6	26.5	8.8	64.7	—	—	8.8	—
これまで就労したことがない	3	—	—	—	66.7	—	—	33.3	—

年間日数

『仕方なく子どもだけで留守番をさせた』で「年1～4日」の割合が高くなっています。また、『父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた』で「年5～9日」の割合が高くなっています。

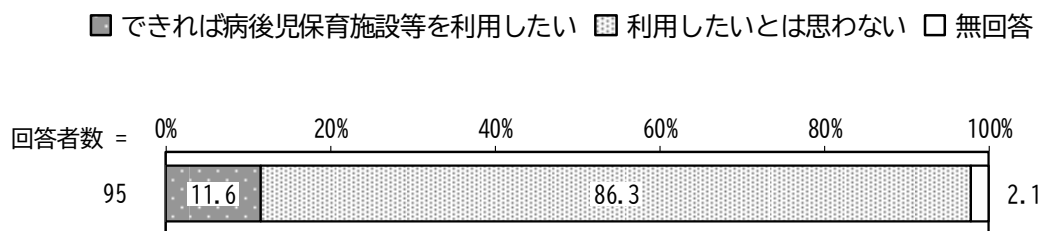
単位：％

区分	回答者数(件)	年1～4日	年5～9日	年10～19日	年20～29日	年30～39日	年40～49日	年50日以上	無回答
父親が休んだ	33	69.7	24.2	—	—	—	—	—	6.1
母親が休んだ	91	47.3	23.1	16.5	3.3	1.1	—	1.1	7.7
親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	32	68.8	15.6	—	—	—	—	—	15.6
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	33	27.3	30.3	18.2	6.1	—	—	—	18.2
ベビーシッターを利用した	—	—	—	—	—	—	—	—	—
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	13	76.9	7.7	7.7	—	—	—	—	7.7
その他	13	46.2	23.1	7.7	—	—	—	—	23.1

問 21-2 問 21-1 で「ア 父親が休んだ」「イ 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。その際、小学生が利用できる病児・病後児のための保育施設等があれば利用したいと思われましたか。あてはまる番号 1 つに○をつけ、() 内に利用日数をご記入ください。

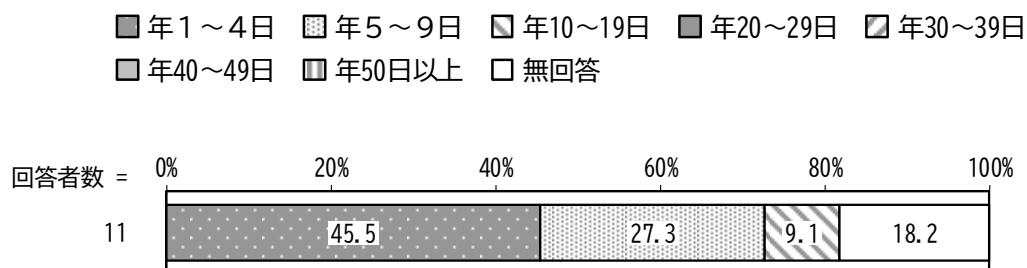
(1) 病児について

「できれば病児保育施設等を利用したい」の割合が 11.6%、「利用したいとは思わない」の割合が 86.3%となっています。



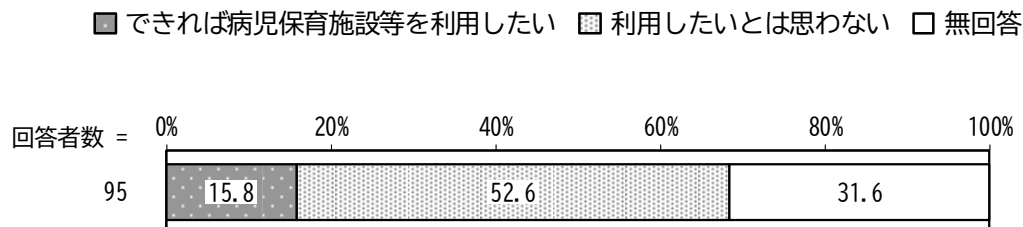
病児保育施設等を利用したい日数

「年 1 ～ 4 日」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「年 5 ～ 9 日」の割合が 27.3%となっています。



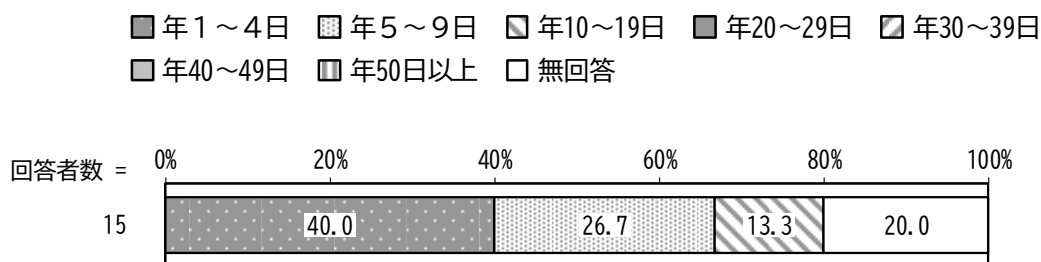
(2) 病後児について

「できれば病後児保育施設等を利用したい」の割合が 15.8%、「利用したいとは思わない」の割合が 52.6%となっています。



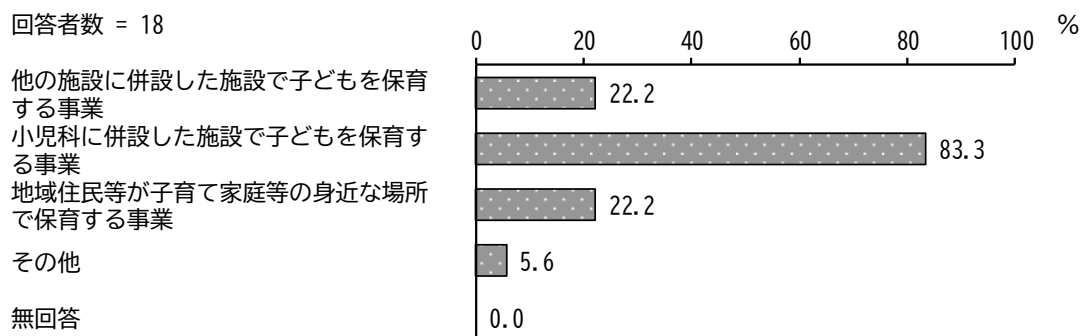
病後児保育施設等を利用したい日数

「年1～4日」の割合が40.0%と最も高く、次いで「年5～9日」の割合が26.7%、「年10～19日」の割合が13.3%となっています。



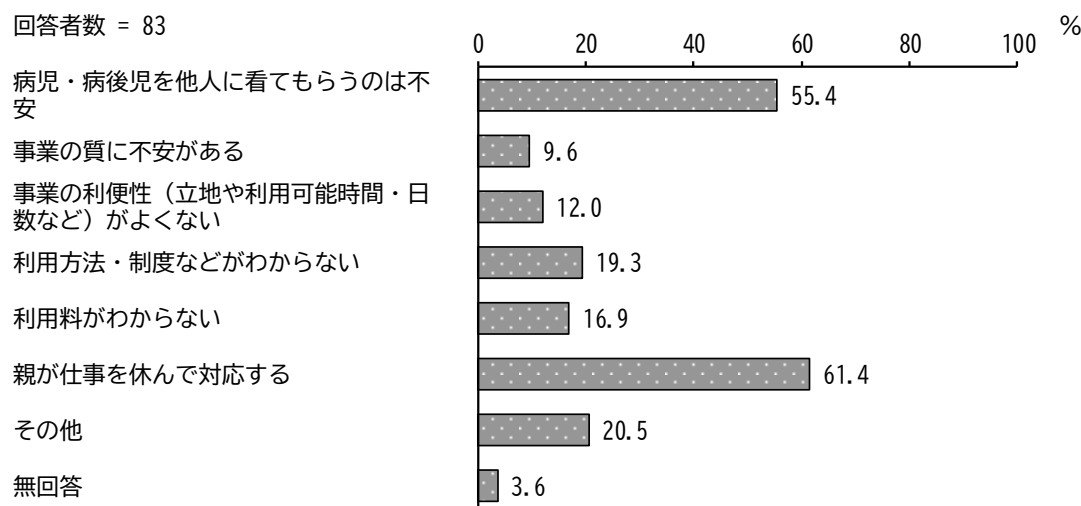
問21-3 問21-2で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が83.3%と最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の割合が22.2%となっています。



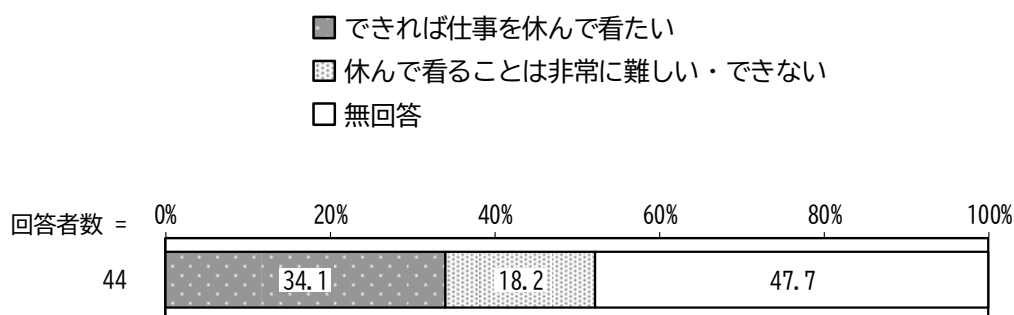
問 21－4 問 21－2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「親が仕事を休んで対応する」の割合が 61.4%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が 55.4%、「利用方法・制度などがわからない」の割合が 19.3%となっています。



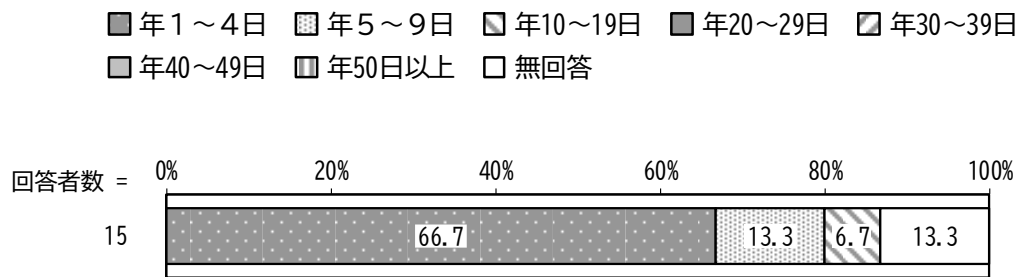
問 21－5 問 21－1で「ア 父親が休んだ」「イ 母親が休んだ」に○がなく、「ウ 親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった」から「キ その他」のいずれかに回答した方にうかがいます。あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい。」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、仕事を休んで看たかった日数についても（ ）内に数字でご記入ください。

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が 34.1%、「休んで看ることは非常に難しい・できない」の割合が 18.2%となっています。



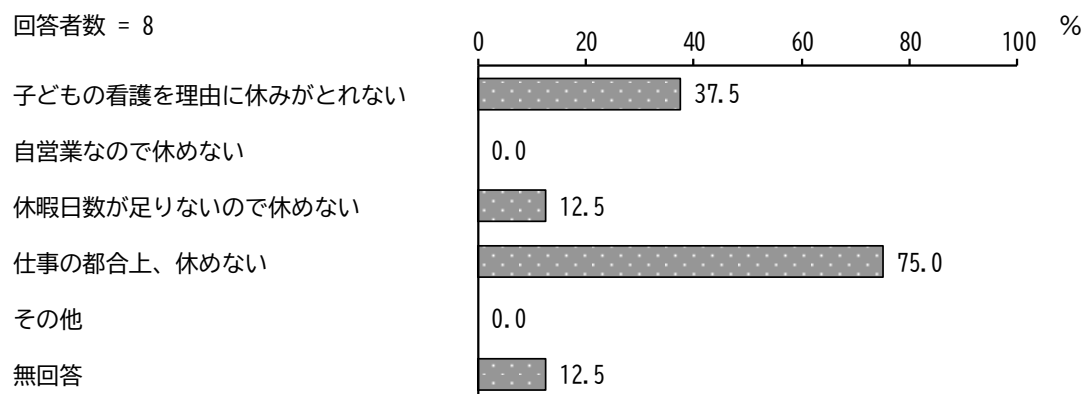
できれば仕事を休んで見たかった日数

「年1～4日」の割合が66.7%と最も高く、次いで「年5～9日」の割合が13.3%となっています。



問21-6 問21-5で「2. 休んで看することは非常に難しい・できない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

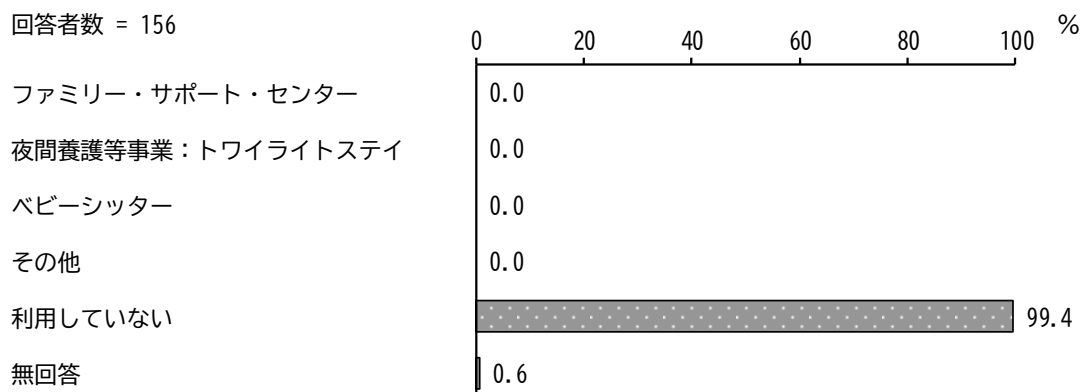
「仕事の都合上、休めない」が6件となっています。「子どもの看護を理由に休みがとれない」が3件、「休暇日数が足りないので休めない」が1件となっています。



(7) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

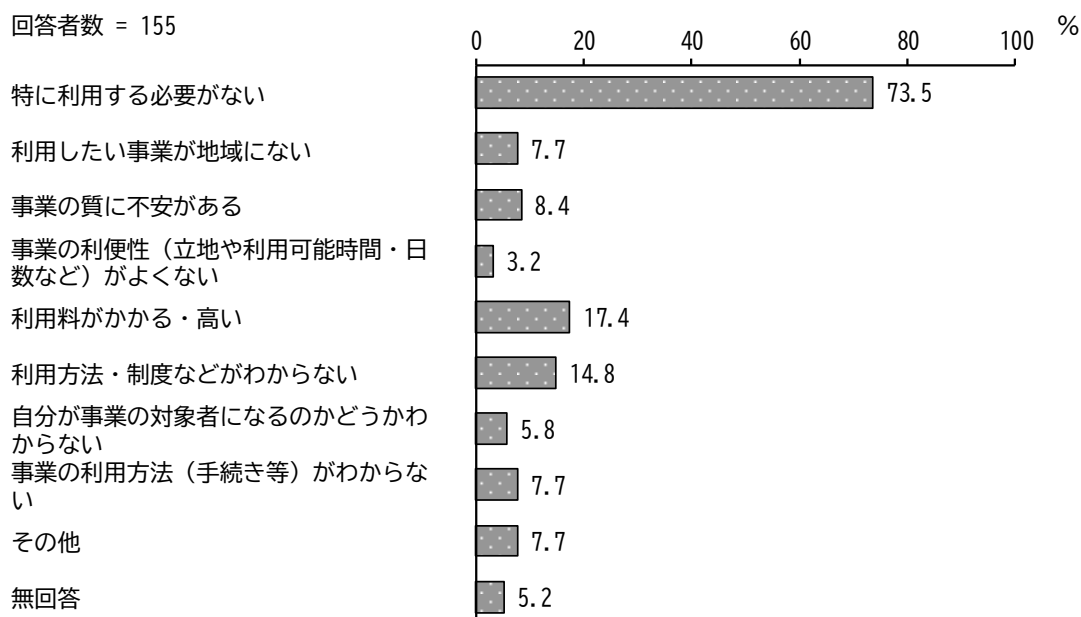
問 22 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を（ ）内に数字でご記入ください。

「利用していない」の割合が 99.4%と最も高くなっています。



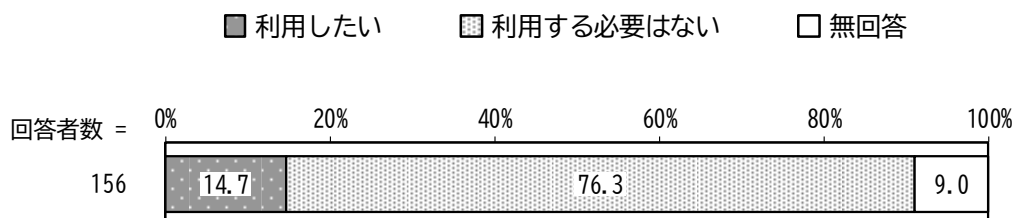
問 22-1 問 22 で「利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」の割合が 73.5%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」の割合が 17.4%、「利用方法・制度などがわからない」の割合が 14.8%となっています。



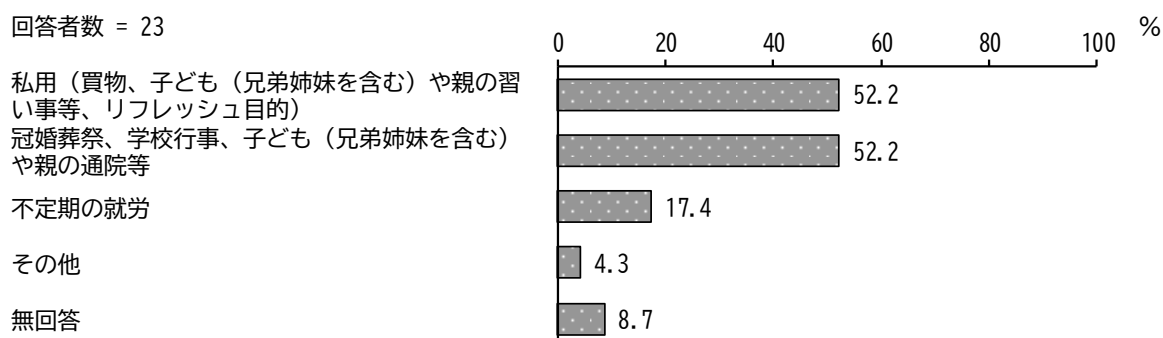
問 23 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい問 22 の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。）なお、これらの事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が 14.7%、「利用する必要はない」の割合が 76.3%となっています。



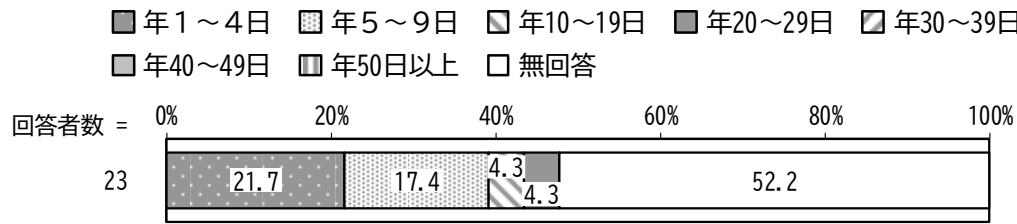
利用目的

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）」、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が 52.2%と最も高く、次いで「不特定の就労」の割合が 17.4%となっています。



利用したい年間合計日数

「年1～4日」の割合が21.7%と最も高く、次いで「年5～9日」の割合が17.4%となっています。



目的別の利用したい日数

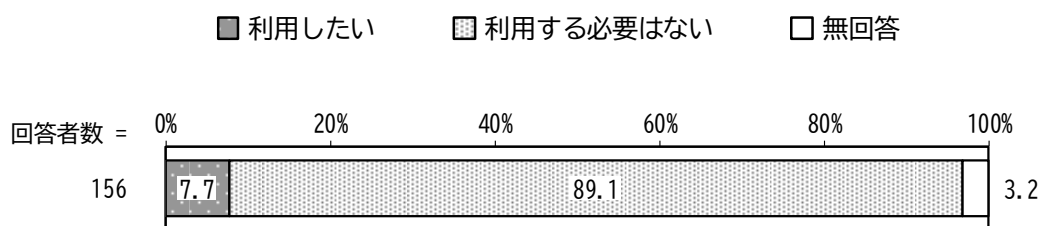
『私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的)』で「年10～19日」の割合が高くなっています。また、『冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等』で「年1～4日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	年1 ～ 4日	年5 ～ 9日	年10 ～ 19日	年20 ～ 29日	年30 ～ 39日	年40 ～ 49日	年50 以上	無 回 答
私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的)	12	16.7	8.3	41.7	8.3	—	—	—	25.0
冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	12	58.3	16.7	16.7	8.3	—	—	—	—
不定期の就労	4	25.0	50.0	—	—	—	—	25.0	—
その他	1	—	—	100.0	—	—	—	—	—

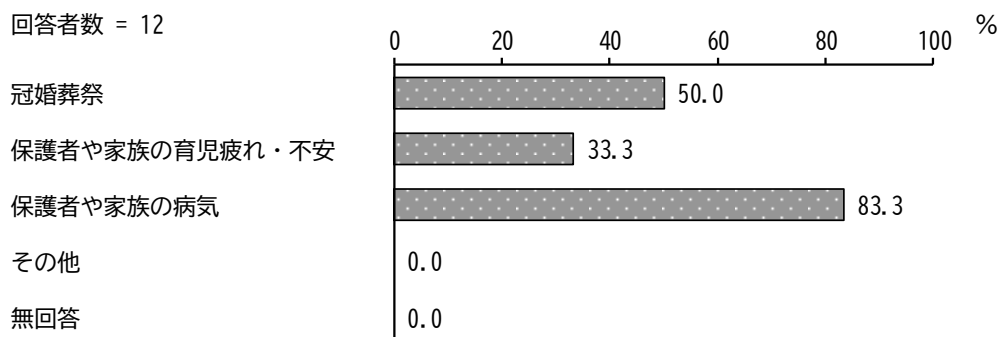
問 24 あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹を含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数を（ ）内に数字でご記入ください。（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を数字でご記入ください）。なお事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が 7.7%、「利用する必要はない」の割合が 89.1%となっています。



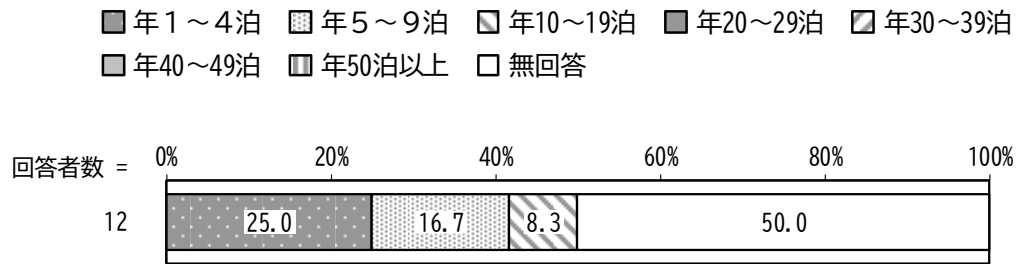
利用目的

「保護者や家族の病気」の割合が 83.3%と最も高く、次いで「冠婚葬祭」の割合が 50.0%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が 33.3%となっています。



利用したい年間宿泊数

「年1～4泊」の割合が25.0%と最も高く、次いで「年5～9泊」の割合が16.7%となっています。



目的別の利用したい宿泊数

『冠婚葬祭』『保護者や家族の病気』で「年1～4泊」が5件となっています。

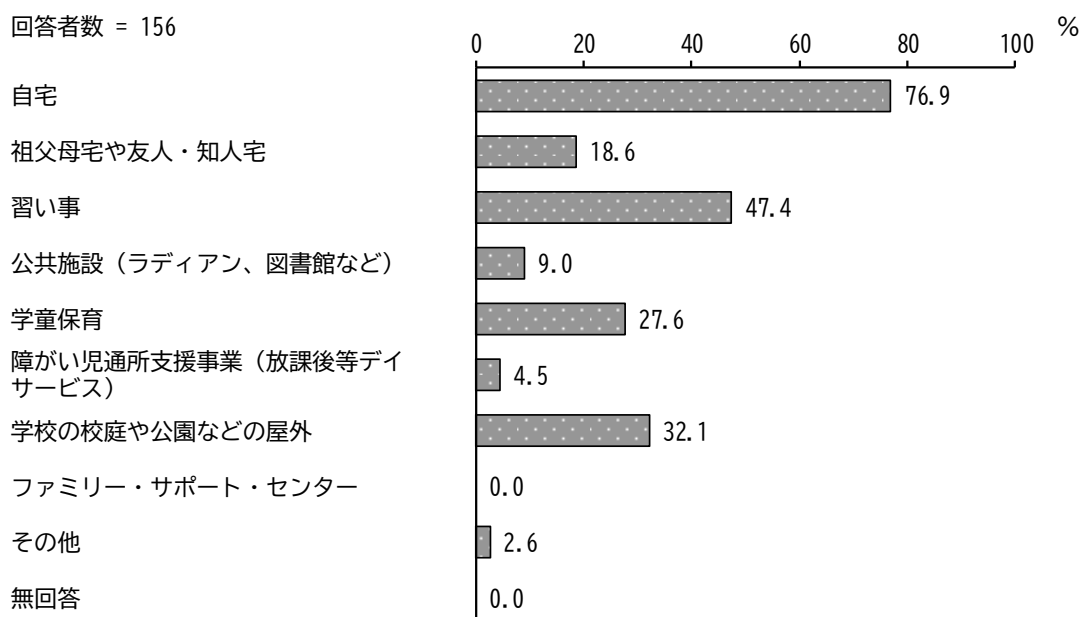
単位：%

区分	回答者数 (件)	年1 ～ 4泊	年5 ～ 9泊	年10 ～ 19泊	年20 ～ 29泊	年30 ～ 39泊	年40 ～ 49泊	年50 泊以上	無回答
冠婚葬祭	6	83.3	—	—	—	—	—	—	16.7
保護者や家族の育児疲れ・不安	4	75.0	25.0	—	—	—	—	—	—
保護者や家族の病気	10	50.0	30.0	10.0	—	—	—	—	10.0
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(8) 放課後の過ごし方や学校生活について

問 25 あて名のお子さんは放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「5. 学童保育」の場合には、利用する時刻も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

「自宅」の割合が76.9%と最も高く、次いで「習い事」の割合が47.4%、「学校の校庭や公園などの屋外」の割合が32.1%となっています。



【子どもの学年別】

子どもの学年別にみると、「3年生」で「学校の校庭や公園などの屋外」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	公共施設（ラディアン、図書館など）	学童保育	障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）	学校の校庭や公園などの屋外	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全 体	156	76.9	18.6	47.4	9.0	27.6	4.5	32.1	—	2.6	—
1 年生	23	69.6	30.4	43.5	4.3	39.1	8.7	26.1	—	—	—
2 年生	30	66.7	13.3	36.7	10.0	43.3	—	20.0	—	3.3	—
3 年生	24	79.2	33.3	62.5	25.0	41.7	—	50.0	—	4.2	—
4 年生	21	66.7	14.3	23.8	4.8	33.3	9.5	33.3	—	4.8	—
5 年生	25	84.0	16.0	64.0	4.0	12.0	—	40.0	—	—	—
6 年生	30	90.0	6.7	50.0	6.7	3.3	10.0	26.7	—	—	—

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」で「学童保育」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	公共施設（ラディアン、図書館など）	学童保育	障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）	学校の校庭や公園などの屋外	ファミリ－・サポート・センター	その他	無回答
全 体	156	76.9	18.6	47.4	9.0	27.6	4.5	32.1	－	2.6	－
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	44	56.8	11.4	34.1	6.8	61.4	2.3	13.6	－	－	－
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1	100.0	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	66	80.3	24.2	56.1	12.1	19.7	3.0	40.9	－	3.0	－
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	39	94.9	20.5	48.7	7.7	5.1	10.3	38.5	－	5.1	－
これまで就労したことがない	3	66.7	－	－	－	－	－	66.7	－	－	－

週あたりの日数

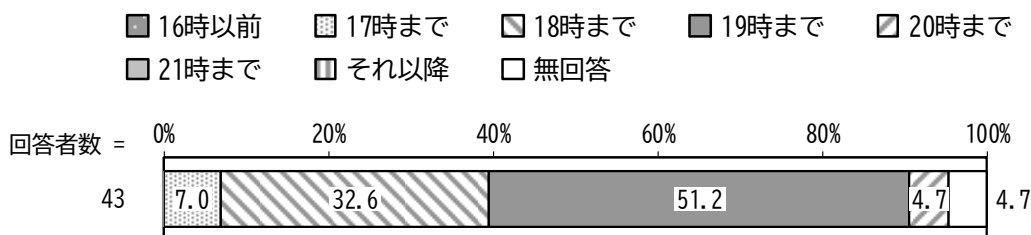
『祖父母宅や友人・知人宅』で「週1日くらい」の割合が高くなっています。また、『学童保育』で「週5日くらい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	週1日くらい	週2日くらい	週3日くらい	週4日くらい	週5日くらい	週6日くらい	週7日くらい	無回答
自宅	120	15.0	18.3	15.8	10.8	25.0	－	5.8	9.2
祖父母宅や友人・知人宅	29	69.0	6.9	10.3	－	3.4	－	－	10.3
習い事	74	25.7	32.4	28.4	9.5	1.4	1.4	－	1.4
公共施設（ラディアン、図書館など）	14	64.3	7.1	－	7.1	－	－	－	21.4
学童保育	43	7.0	7.0	9.3	27.9	48.8	－	－	－
障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）	7	14.3	28.6	42.9	14.3	－	－	－	－
学校の校庭や公園などの屋外	50	40.0	14.0	18.0	10.0	8.0	－	－	10.0

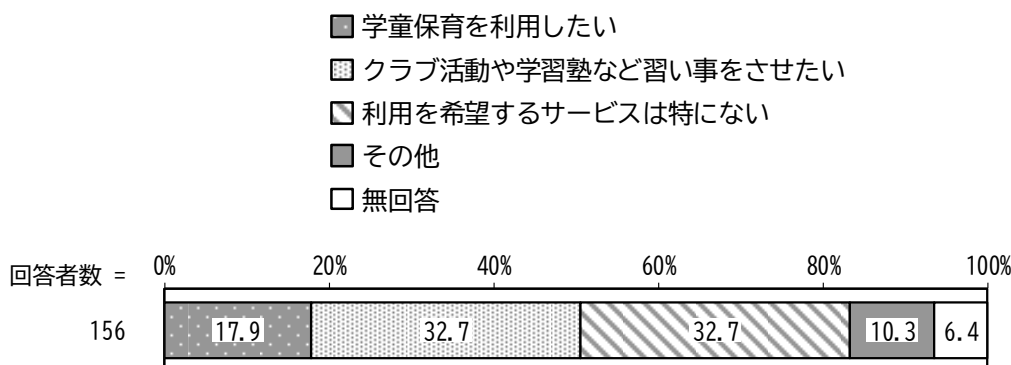
学童保育の利用希望終了時間

「19時まで」の割合が51.2%と最も高く、次いで「18時まで」の割合が32.6%となっています。



問 26 あて名のお子さんの、放課後の過ごし方について、今後どのようなことを望みますか。もっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

「クラブ活動や学習塾など習い事をさせたい」、「利用を希望するサービスは特にない」の割合が32.7%と最も高く、次いで「学童保育を利用したい」の割合が17.9%となっています。



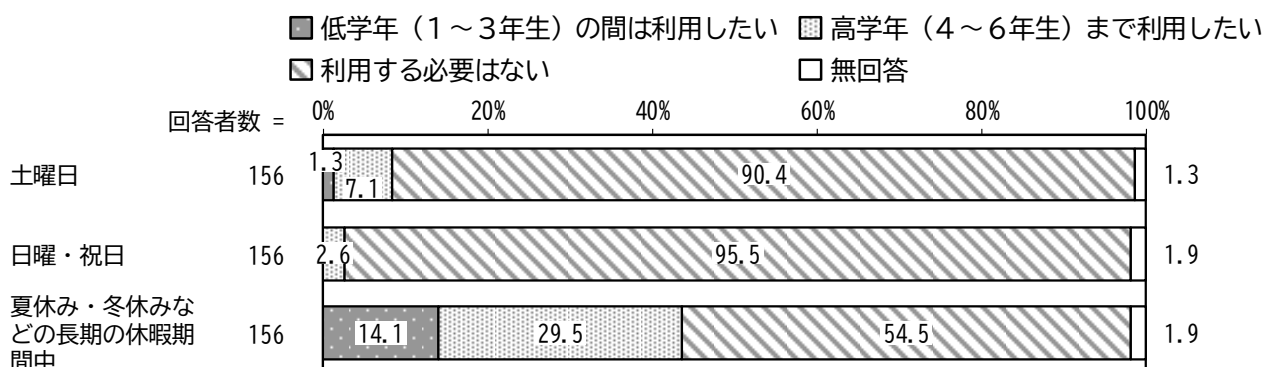
問 27 土曜日・日曜日・祝日・夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、学童保育の利用希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけ、また利用したい時間帯を、() 内に(例) 9時～18時のように24時間制でご記入ください。

土曜日では、「利用する必要はない」の割合が90.4%と最も高くなっています。

日曜・祝日では、「利用する必要はない」の割合が95.5%と最も高くなっています。

夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中では、「利用する必要はない」の割合が54.5%と最も高く、次いで「高学年(4～6年生)まで利用したい」の割合が29.5%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が14.1%となっています。

比較すると、「日曜・祝日」で「利用する必要はない」の割合が高くなっています。また、「夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中」で「低学年(1～3年生)の間は利用したい」、「高学年(4～6年生)まで利用したい」の割合が高くなっています。



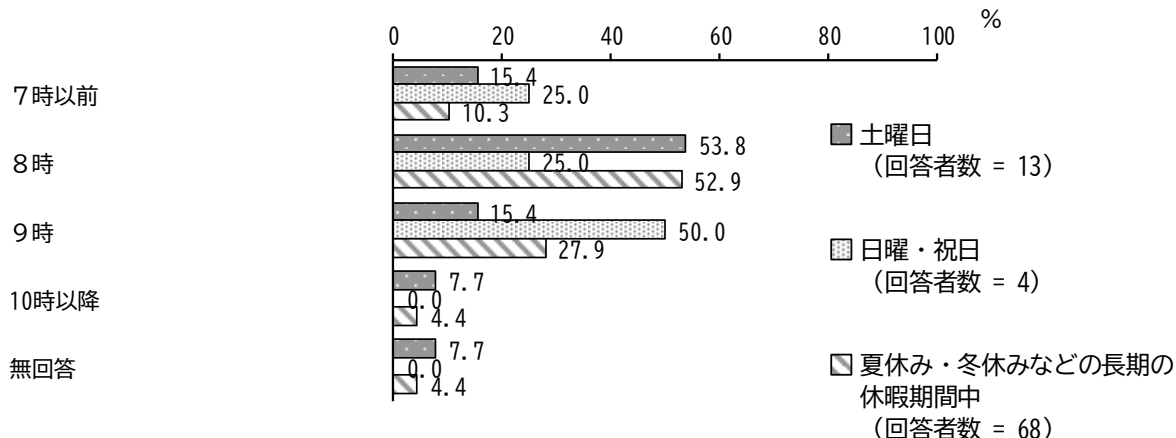
利用希望開始時間

土曜日では、「8時」の割合が53.8%と最も高く、次いで「7時以前」、「9時」の割合が15.4%となっています。

日曜・祝日では、「9時」が2件となっています。「7時」、「8時」が1件となっています。

夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中では、「8時」の割合が52.9%と最も高く、次いで「9時」の割合が27.9%、「7時」の割合が10.3%となっています。

比較すると、「夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中」で「9時」の割合が高くなっています。



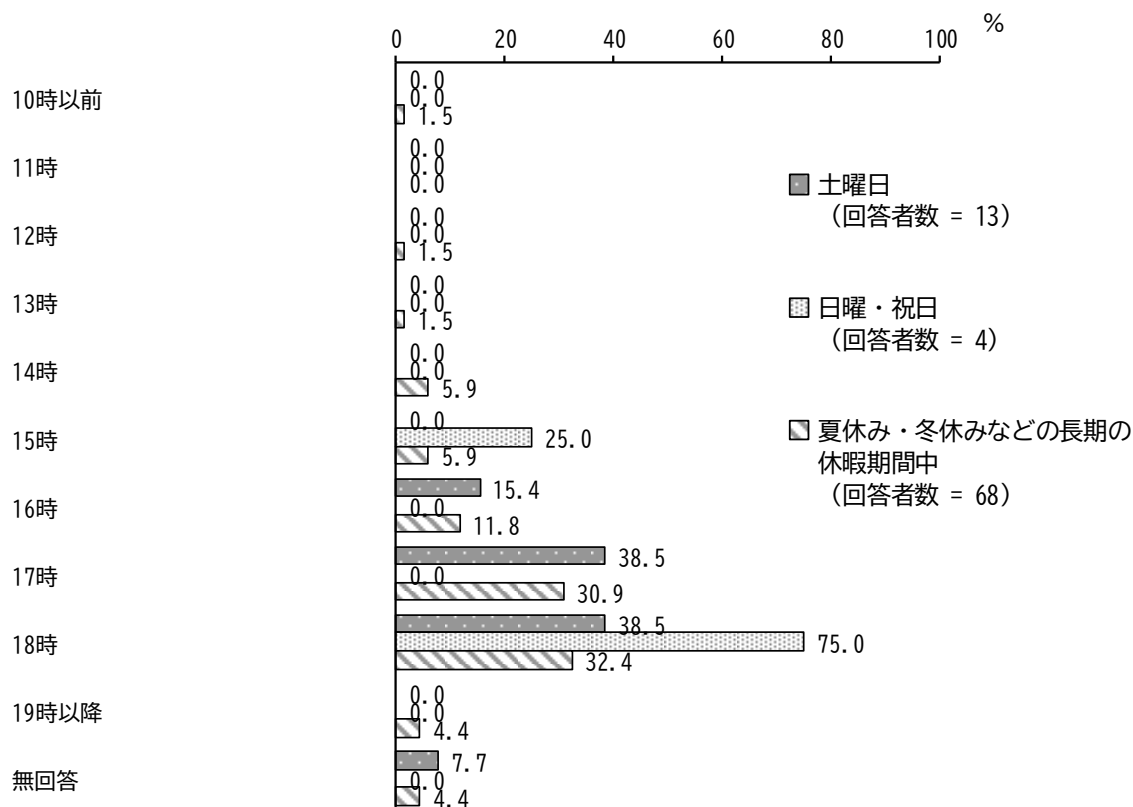
利用希望終了時間

土曜日では、「17時」、「18時」の割合が38.5%と最も高く、次いで「16時」の割合が15.4%となっています。

日曜・祝日では、「18時」が3件となっています。「15時」が1件となっています。

夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中では、「18時」の割合が32.4%と最も高く、次いで「17時」の割合が30.9%、「16時」の割合が11.8%となっています。

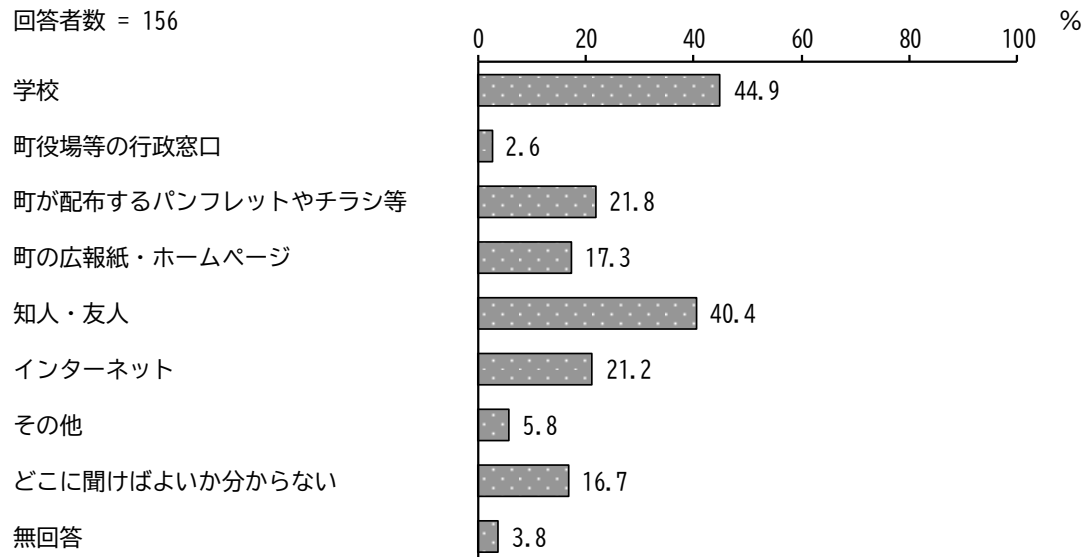
比較すると、大きな差はみられません。



問 28 放課後の過ごし方に関する情報を、どこから入手していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

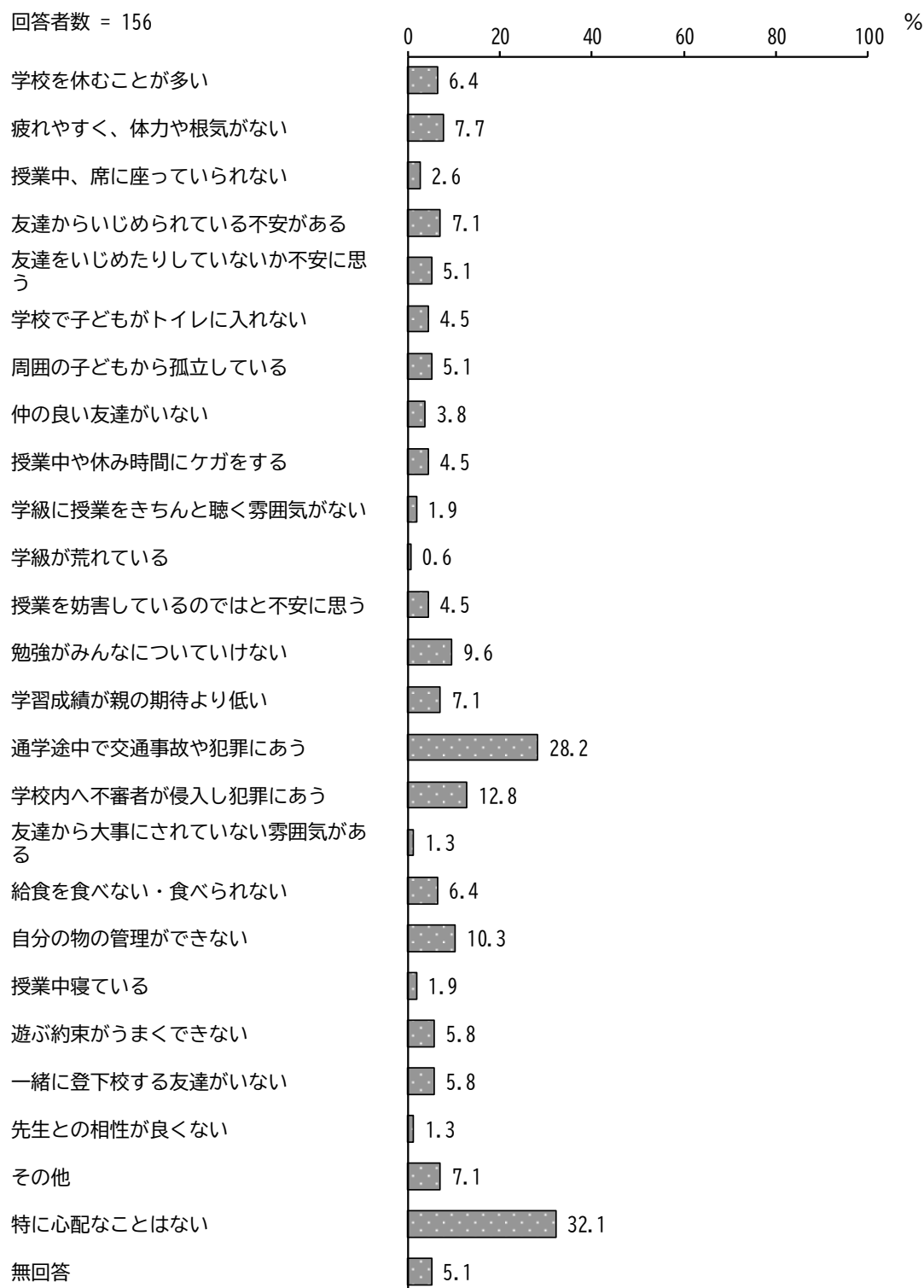
「学校」の割合が 44.9%と最も高く、次いで「知人・友人」の割合が 40.4%、「町が配布するパンフレットやチラシ等」の割合が 21.8%となっています。

回答者数 = 156



問 29 お子さんの学校生活で心配なことはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

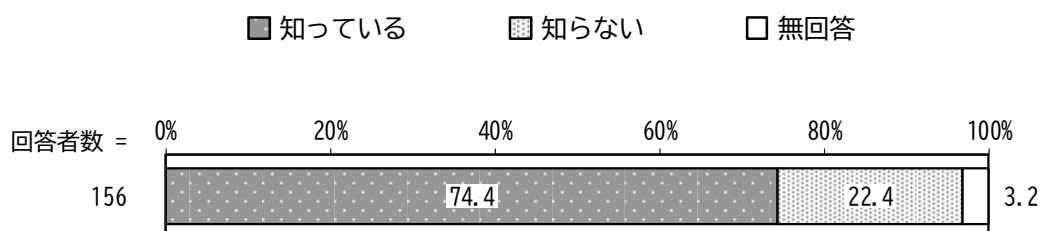
「特に心配なことはない」の割合が 32.1%と最も高く、次いで「通学途中で交通事故や犯罪にあう」の割合が 28.2%、「学校内へ不審者が侵入し犯罪にあう」の割合が 12.8%となっています。



(9) 子どもの権利について

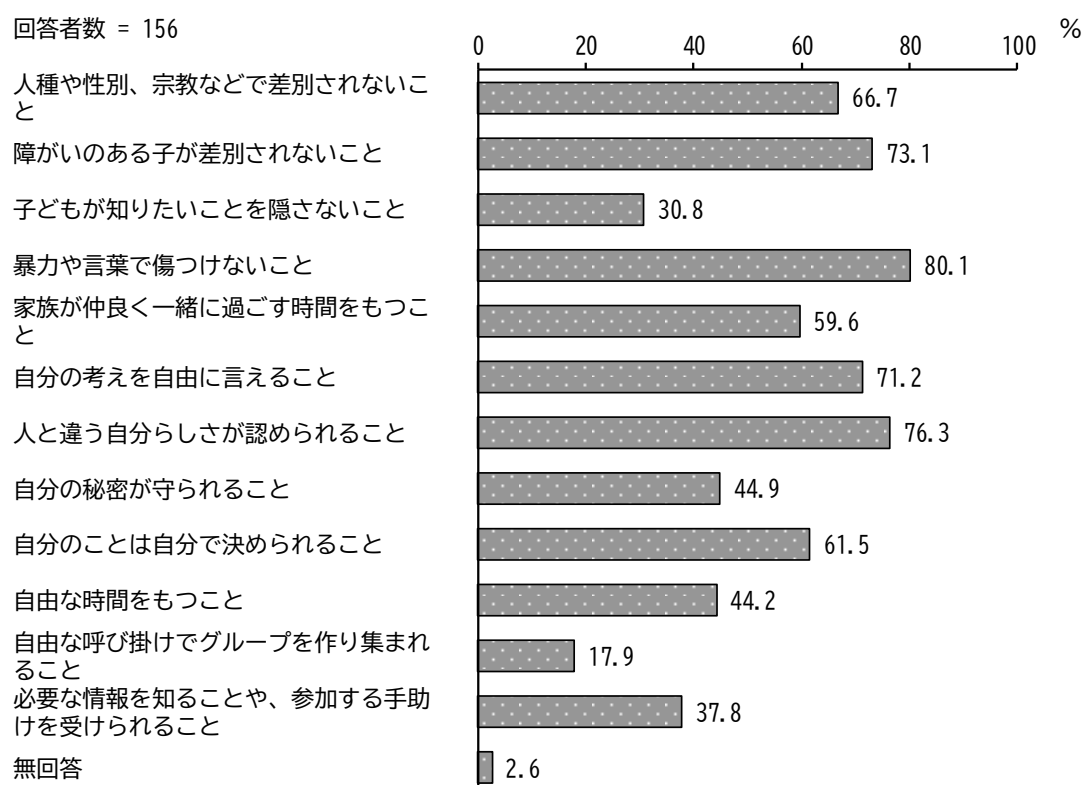
問 30 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「知っている」の割合が 74.4%、「知らない」の割合が 22.4%となっています。



問 31 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

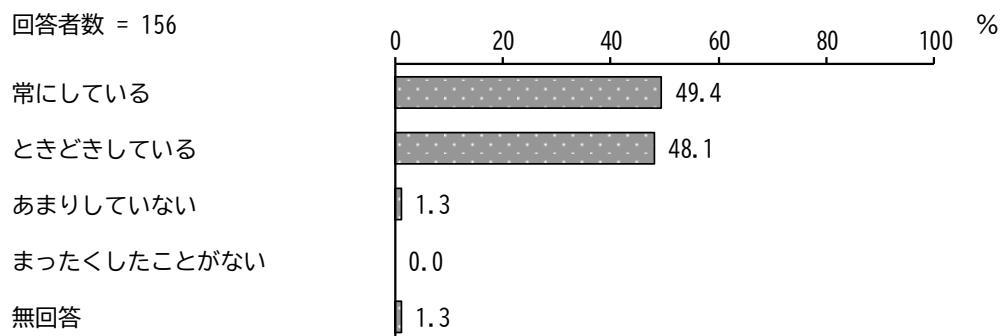
「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が 80.1%と最も高く、次いで「人と違う自分らしさが認められること」の割合が 76.3%、「障がいのある子が差別されないこと」の割合が 73.1%となっています。



問 32 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「常にしている」の割合が49.4%と最も高く、次いで「ときどきしている」の割合が48.1%となっています。

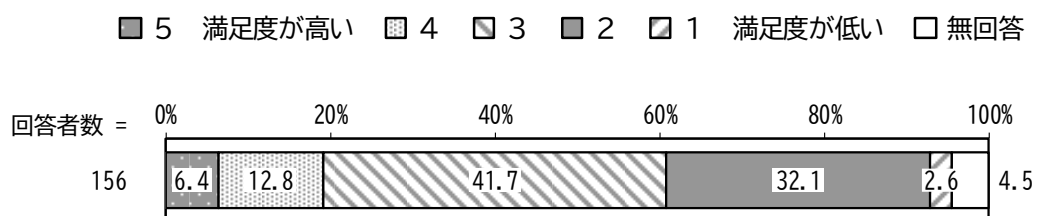
回答者数 = 156



(10) 子育て全般について

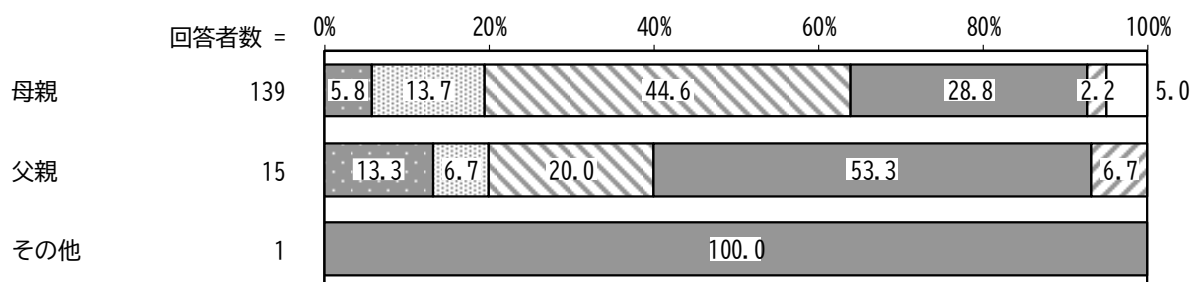
問 33 本町における子育ての環境や支援への満足度について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

「3」の割合が 41.7%と最も高く、次いで「2」の割合が 32.1%、「4」の割合が 12.8%となっています。



【父母別】

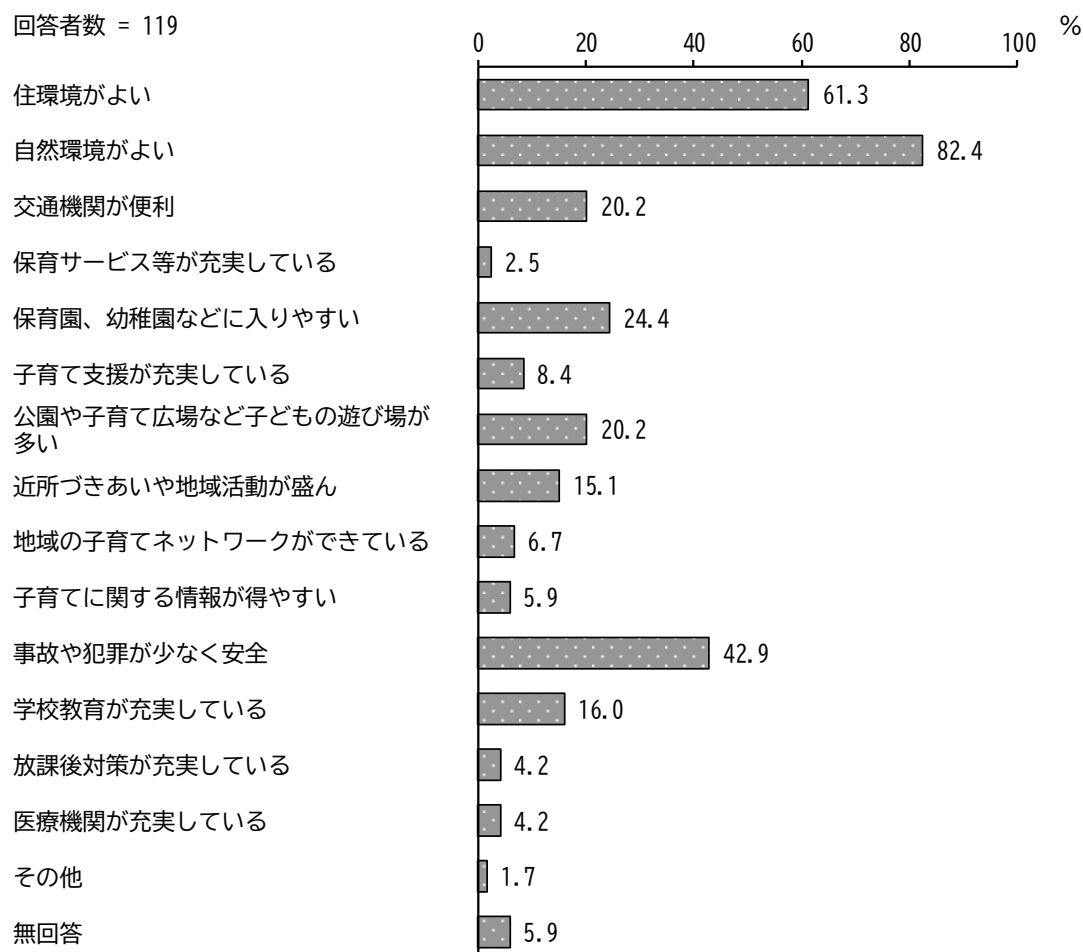
父母別にみると、「父親」で「2」の割合が高くなっています。



問 33－1 問 33 の回答「満足な理由」「不満足な理由」をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください

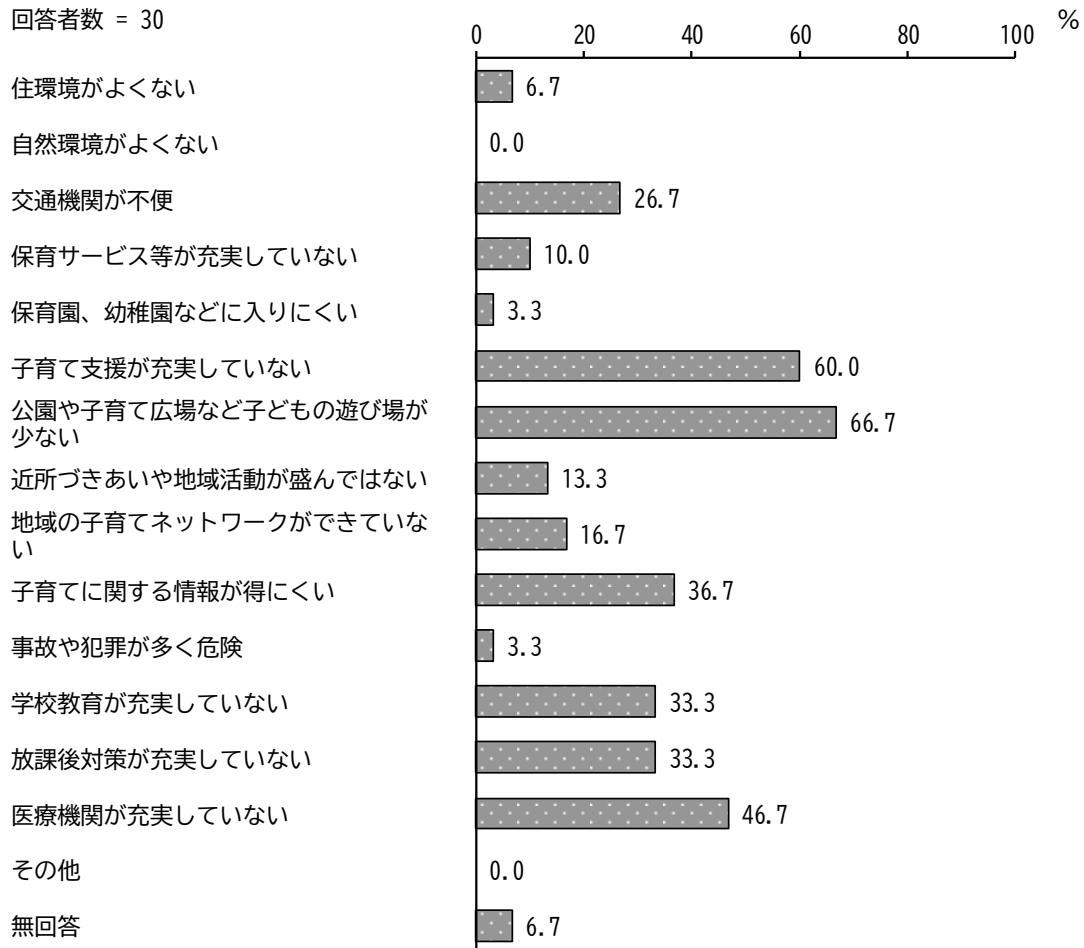
【問 33 で満足な理由】

「自然環境がよい」の割合が 82.4%と最も高く、次いで「住環境がよい」の割合が 61.3%、「事故や犯罪が少なく安全」の割合が 42.9%となっています。



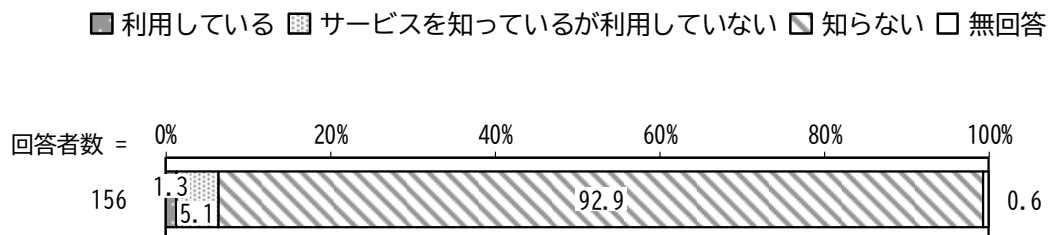
【問 33 で不満足な理由】

「公園や子育て広場など子どもの遊び場が少ない」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「子育て支援が充実していない」の割合が 60.0%、「医療機関が充実していない」の割合が 46.7%となっています。



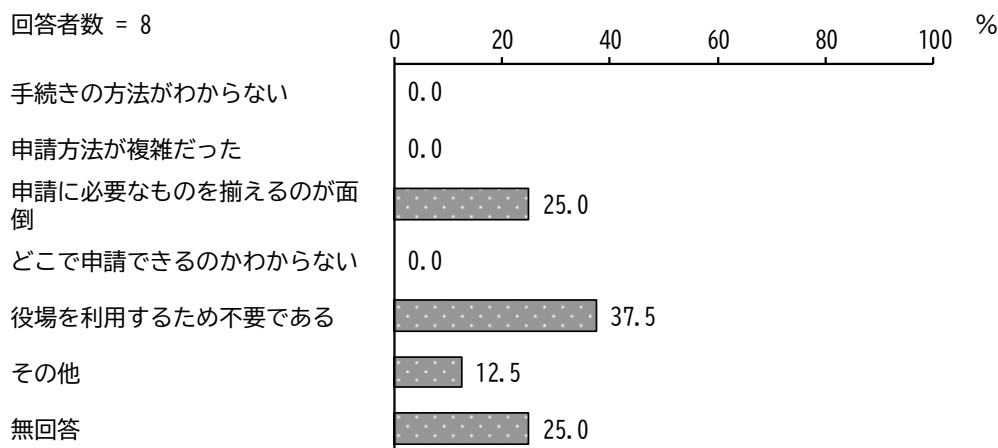
問 34 子育てワンストップサービスについてうかがいます。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

「知らない」の割合が 92.9%と最も高くなっています。



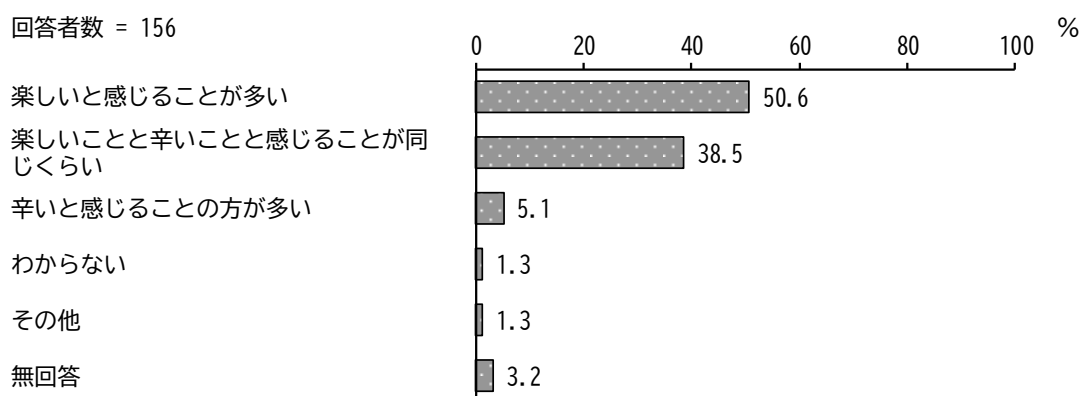
問 34－1 問 34 で「2. サービスを知っているが利用していない」に○をつけた方にかがいます。サービスを知っていて利用しない理由はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「役場を利用するため不要である」が3件となっています。「申請に必要なものを揃えるのが面倒」が2件となっています。



問 35 子育てを楽しんでいると感じることは多いですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「楽しいと感じることが多い」の割合が50.6%と最も高く、次いで「楽しいことと辛いことと感じることが同じくらい」の割合が38.5%となっています。



【父母別】

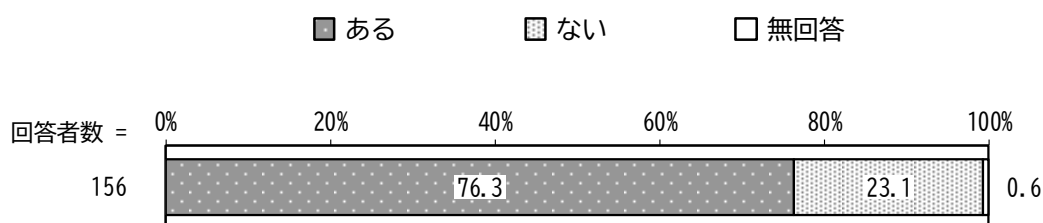
父母別にみると、「父親」で「楽しいと感じることが多い」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	楽しいと感じるこ とが多い	楽しいことと辛い ことが同じくらい	辛いと感じること の方が多い	わからない	その他	無回答
全 体	156	50.6	38.5	5.1	1.3	1.3	3.2
母親	139	49.6	38.8	5.0	1.4	1.4	3.6
父親	15	60.0	33.3	6.7	—	—	—
その他	1	—	100.0	—	—	—	—

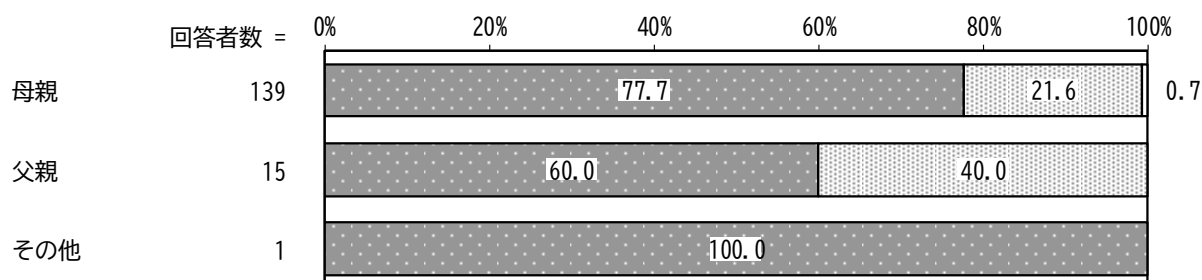
問 36 あなたは、子育てをされていて、不安や悩みなどがありますか。

「ある」の割合が 76.3%、「ない」の割合が 23.1%となっています。



【父母別】

父母別にみると、「母親」で「ある」の割合が高くなっています。

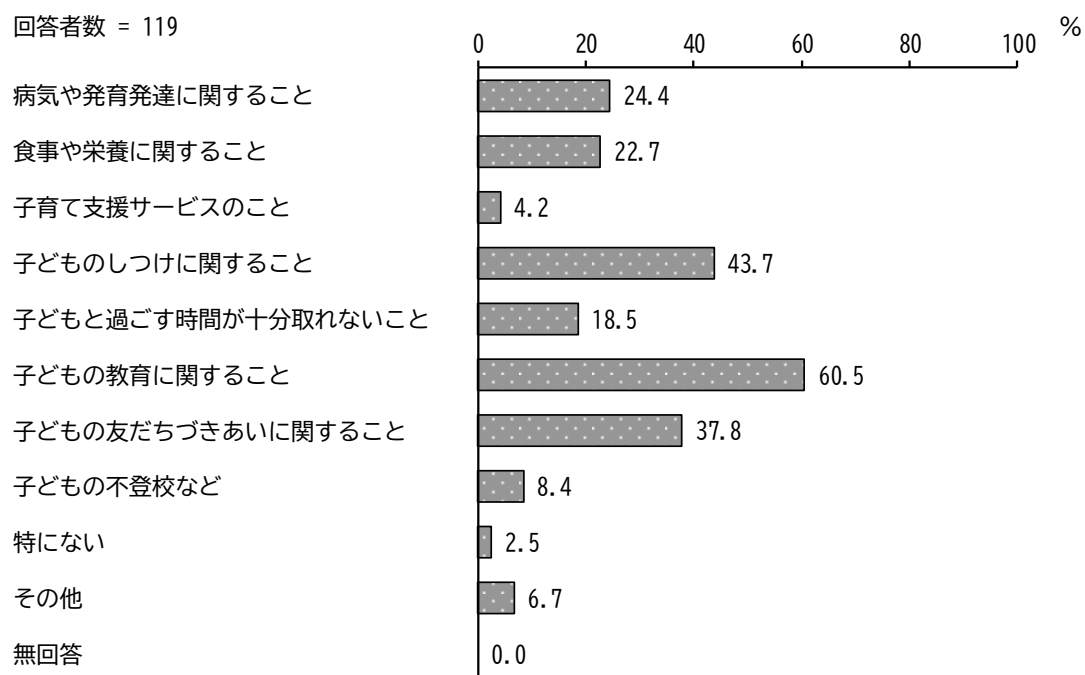


問 37 問 36 で「1. ある」に○をつけた方にうかがいます。子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 子どもに関すること

「子どもの教育に関すること」の割合が 60.5%と最も高く、次いで「子どものしつけに関すること」の割合が 43.7%、「子どもの友だちづきあいに関すること」の割合が 37.8%となっています。

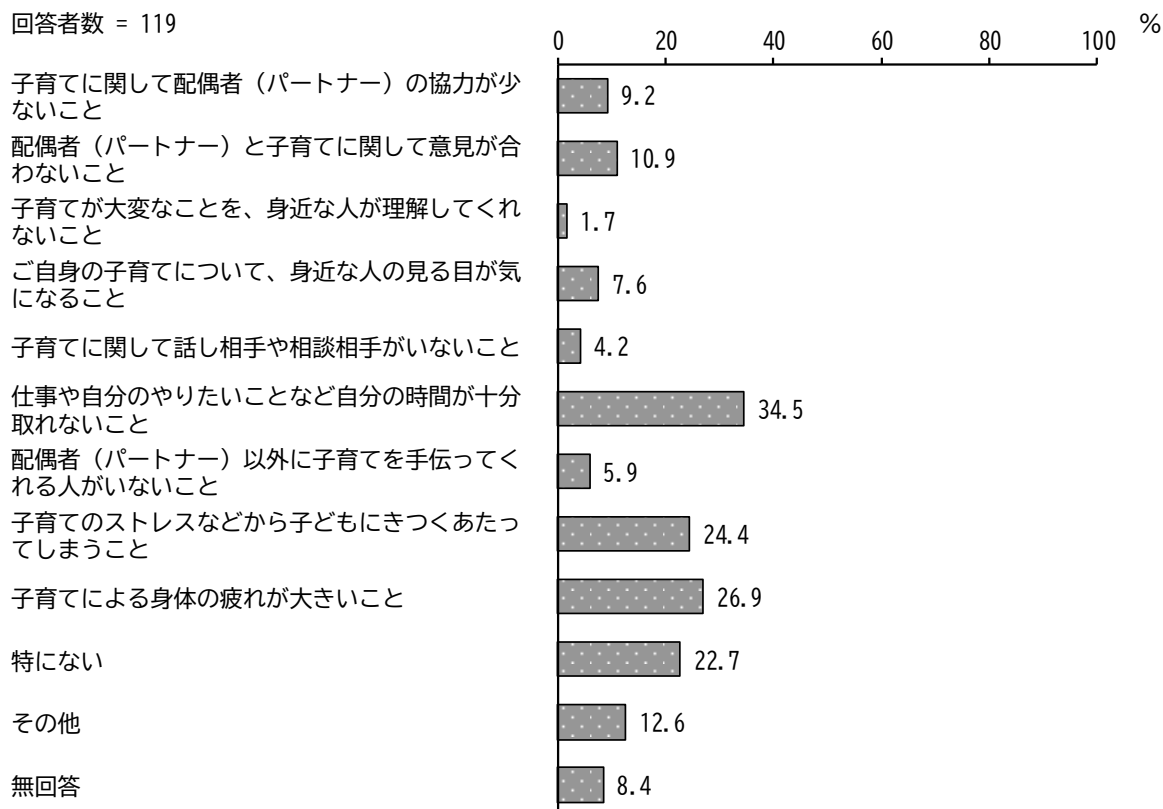
回答者数 = 119



(2) ご自身に関すること

「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が 34.5%と最も高く、次いで「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が 26.9%、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」の割合が 24.4%となっています。

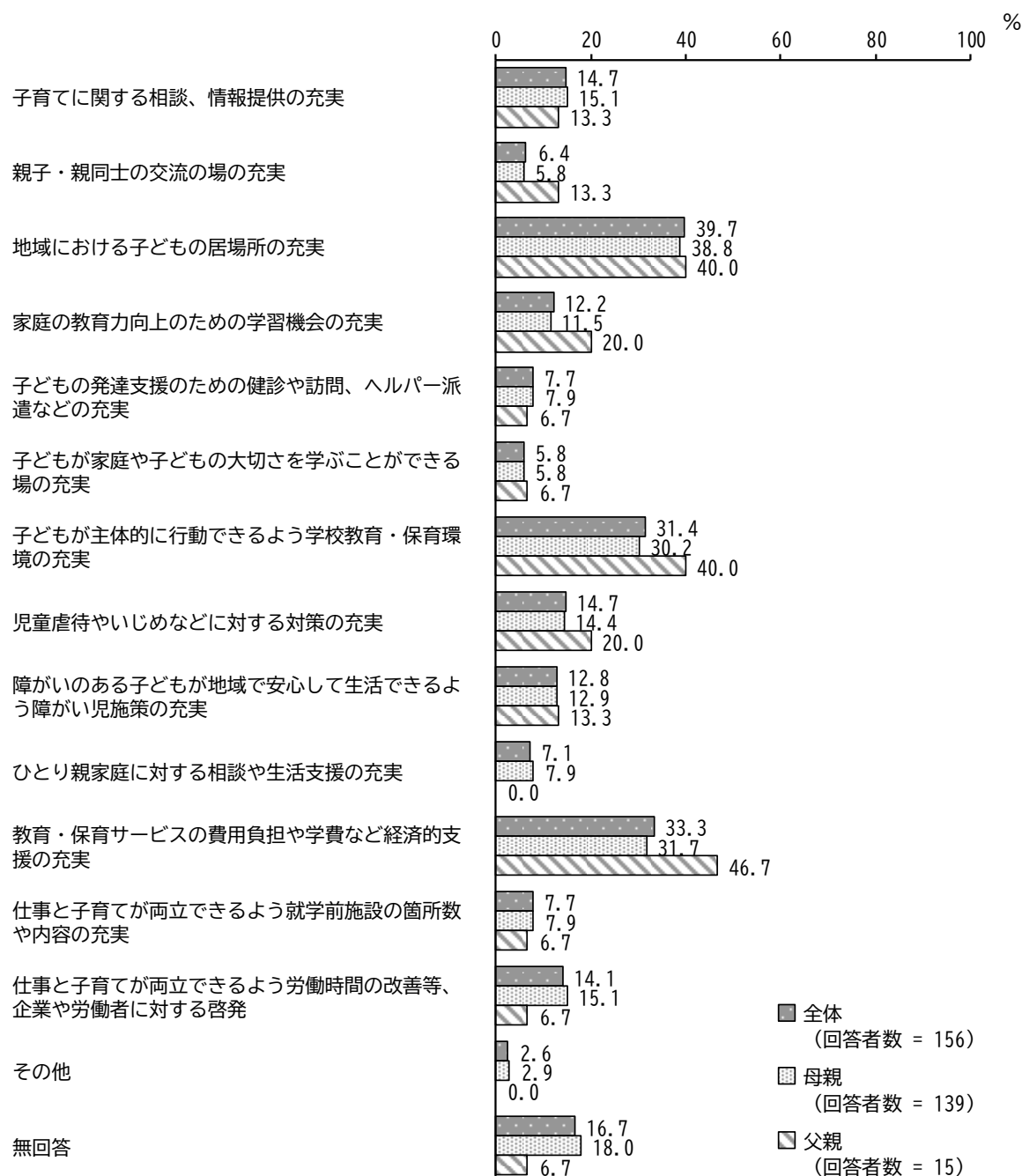
回答者数 = 119



問 38 二宮町の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。あてはまる番号3つまで○をつけてください。

「地域における子どもの居場所の充実」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実」の割合が 33.3%、「子どもが主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実」の割合が 31.4%となっています。

比較すると、「父親」で「教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実」の割合が高くなっています。



Ⅲ 自由意見

1 未就学

幼稚園・保育園について	54	育児・保育サービスについて	39
預かり保育・一時保育の充実	13	子育てサロンの充実・増設・駐車場の設置	19
保育園の質の向上・確保、保育士の意識改革	9	病児・病後児の保育	6
保育園数・利用時間(曜日)の拡充	7	子育て支援・相談窓口等について	4
入所条件の改警・検討	6	障がい児の支援施設・専門家の配置、質の向上	3
公立の保育園/幼稚園・こども園の設置	5	育児支援に満足(マタニティ教室等)	3
給食提供について	5	親が病気の際のサポート	3
保育環境の充実	4	ファミリー・サポート・センター等子育て支援施設の充実、価格の見直し	1
駐車場の設置・増設	1	教育について	40
保育士の待遇改善	1	学童保育の充実(長期休暇の時など)	12
保育料の見直し	1	教育の強化、自然を生かした教育	5
保育事業の長期休み利用の充実	1	学童保育の利用料が高い・無償化希望	5
保育園のセキュリティ強化	1	スクールバス・自転車通学の導入(中学校)	5
遊び場について	73	放課後の過ごし方(空き教室での習い事など)	4
公園の整備・遊具の充実	34	学校・学区整備、統廃合	3
公園の増設・公園が少ない	13	学校のPTA関係の仕事が負担	3
室内で遊べる施設の増設	7	小・中学校の整備(エアコン・プール等の設置)、老朽化	1
プールの整備・再開・増設	6	教育現場間での連携・交流	1
安心して遊べる公園・広場(水遊び場など)の提供	5	タブレット実習の廃止(小学校)	1
子どもが気軽に遊べる公園(ボール遊び等)	3	町政について	54
自然を通じて学べる(遊べる)場所を残してほしい	3	子育て支援の強化・充実	41
同月齢の子どもが集まれる場所の提供	2	イベントの充実	4
交通について	16	職員の意識改革	4
道路・歩道・住宅地の整備	10	相談窓口の充実・質の向上	3
シルバー人材の派遣(交通安全活動、学力支援など)	2	非営利活動の支援	1
交通環境の整備(交通マナー)	2	町役場と保健センターとの連携	1
信号機・標識・街灯などの設置	1	生活・環境について	10
移動支援(バス運行)	1	駅周辺の活性化(スーパー・ドラッグストアなど)	4
情報について	9	店舗が少ない・施設の充実(授乳室など)	2
情報の開示・発信方法の検討	6	地域・周囲の子育てへの理解	2
町ホームページの活用・充実	3	交流のある町づくり・孤立の防止	1
保健・医療について	28	子育てサークルの拡大・整備	1
医療機関の充実(産科・小児科・皮膚科など)	16	就労について	1
定期検診の改善(曜日・時間・場所)・要望	4	子どもが体調不良のときに親が休みやすい環境づくり	1
医療費負担の軽減・助成・所得制限	3	アンケートについて	13
保健センターの方への感謝	3	現状に満足	2
保健センターの設備改善、駐車場の増設など	2	その他	27
		合計	366

2 小学生

教育について	36
放課後子ども教室や放課後の居場所の充実・整備	7
学童保育の充実(時間・長期休暇)・整備	6
学校の教育環境・生活環境の整備	6
障がい児支援の充実	5
学校の質の向上・教員の確保	4
学校等のPTA関係の仕事が負担	2
小・中学校の整備(エアコン・プール等の設置)、老朽化	2
特別支援学級の整備・質の向上	2
不登校児童の支援	2
遊び場について	25
子どもが気軽に遊べる公園(ボール遊び等)	8
公園の整備・遊具の充実	6
プールの整備・再開・増設	6
公園の増設・公園が少ない	3
室内で遊べる施設の増設	2
町政について	17
子育て支援の強化・充実	12
助成金の充実・所得制限の見直し	2
イベントの充実	2
ひとり親世帯・低収入世帯への経済的支援	1
保健・医療について	4
医療機関の充実(産科・小児科・皮膚科など)	2
医療費負担の軽減・助成・所得制限	2
交通について	7
移動支援(バス運行)	4
道路・歩道・住宅地の整備	2
信号機・標識・街灯などの設置	1
生活環境について	8
交流のある町づくり・孤立の防止	6
防犯対策(防犯カメラの設置、見守りなど)	2
就労について	2
仕事と子育ての両立支援	2
情報について	2
情報の開示・発信方法の検討	2
幼稚園・保育園について	2
預かり保育・一時保育の充実	2
アンケートについて	3
現状に満足	1
その他	15
合計	122

IV 調査票

二宮町子ども・子育て支援に関するアンケート調査 ～調査の趣旨とご協力をお願いします～

未就学のお子さん用

【ご協力をお願いします】

町民の皆さまには、日ごろから本町の子育て支援行政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本町では、平成24年度に制定された「子ども・子育て支援法」に基づき、「二宮町子ども・子育て支援事業計画」を策定しております。

今回、令和7年度（2025年）から、新たな5か年計画を策定するにあたり、子ども・子育てに関する生活実態やご意見・ご要望などを把握するため、「二宮町子ども・子育て支援に関するアンケート調査」を実施いたします。

このアンケート調査は、町内の就学前のお子さんがある700世帯及び小学生がいる300世帯を無作為に選ばせていただき、子育てに関する皆さまのお考えや、子育てに関する実態を把握するとともに、ご意見やご要望を広くお聞きし、計画策定に反映していきたいと考えております。

ご回答いただきました内容は、全て統計的に処理されます。また、無記名でご回答いただくため、お答えいただいた方の個人情報が漏れたり、ご差支をお掛けしたりすることは一切ございません。お忙しいところ、誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和5年12月
二宮町長 村田 和子

・ご回答は、できるかぎりありて名のお子さんの保護者にお願ひしますが、ご家族の方や一帯にお住まいの方にちご協力いただきますようお願ひします。

・調査票の頁数が多くありますが、回答していただく方を限定している説明もありますので、最終頁までご回答くださいますようよろしくお願いいたします。

・番号を基ふところでは、あてはまる項目の番号を、指定の数だけ○で囲んでください。

・ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、

12月28日（木）までに郵便ポストへ投函してください。（切手は不要です。）

・調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ】 二宮町 健康福祉部 子育て・健康課 電話：0463-71-5862
FAX：0463-73-0134

※「子ども・子育て支援新制度」の趣旨・考え方

● 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

● 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした養育形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような条件を整備することを目指しています。

● 子ども・子育て支援は、以上のような考え方を基に、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

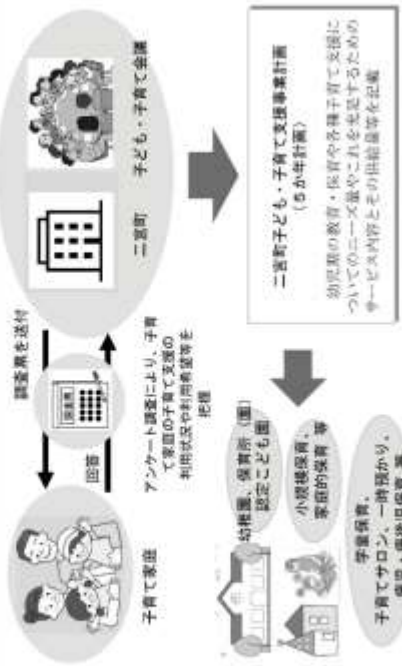
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支え、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることをできるような支援を目指しています。

アンケート調査票に使われている用語の定義

○子育て支援：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援

○教育：家庭での教育を含めた広い意味で用いています

いただいたご回答は、地域の子育て支援の充実に活かされます。
ぜひご回答いただきますよう、お願い申し上げます。



お住まいの地域についてうかがいます。

問 1 お住まいの地区としてあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 一色	2. 緑が丘	3. 百合が丘 1丁目
4. 百合が丘 2丁目	5. 百合が丘 3丁目	6. 中津
7. 京町北	8. 京町南	9. 富士見が丘 1丁目
10. 富士見が丘 2丁目	11. 富士見が丘 3丁目	12. 桜堤
13. 上町	14. 中町	15. 下町
16. 梅沢	17. 緑地	18. 茶屋
19. 遊野	20. 川辺	21. その他 ()

封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問 2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。和暦を導んだ後、数字で記入ください。

平成・令和 () 年 () 月 生まれ

問 3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を () 内に数字で記入ください。お 2 人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月、和暦を導んだ後、数字で記入ください。

きょうだい数 () 人 末子の生年月 平成・令和 () 年 () 月 生まれ

問 4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんから見た関係でお答えください。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問 5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問 6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係であてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖父母 5. その他 ()

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問 7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんから見た関係であてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 母親 3. 父親
4. 祖父母 5. 幼稚園 6. 保育園
7. 認定こども園 8. その他 ()

問 8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

1. 家庭 2. 地域 3. 幼稚園
4. 保育園 5. 認定こども園 6. その他 ()

問 9 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる } 【問 9-1 へ】
2. 緊急時もしくは用事の時に祖父母等の親族にみてもらえる }
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる }
4. 緊急時もしくは用事の時に子どもをみてもらえる友人・知人がいる } 【問 9-2 へ】
5. いずれもない - - - - - 【問 10 へ】

問 9-1 問 9 で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の時に祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的負担や時間的制約を配慮することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きくなる心配である
3. 祖父母等の親族の精神的負担や精神的負担が大きくなる心配である
4. 自分たちの立場として、負担をかけていることが悔しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある
6. その他 ()

問 9-2 問 9 で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の時に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的負担や時間的制約を配慮することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きくなる心配である
3. 友人・知人の精神的負担や精神的負担が大きくなる心配である
4. 自分たちの立場として、負担をかけていることが悔しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある
6. その他 ()

問 10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。
また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる/ある ---> 【問 10-1へ】 2. いない/ない ---> 【問 11へ】

問 10-1 問 10 で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 親父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育てサロン |
| 5. 保健センター | 6. 保健士 |
| 7. 保健相談所 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 町会連 |
| 11. その他（【別】ページにシッター） | |

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

ご家族の経済状況についてうかがいます。

問 12 昨年1年間（令和4年1月～令和4年12月）の、家族全員の収入（所得税・住民税などの税金や健康保険料・介護保険料などを支払った後の手取り額）の合計額は、およそいくらでしたか。
※世帯の世帯収入額をご記入ください。

世帯の収入は年間（万円）くらい

問 13 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. よくあった 2. ときどきあった 3. まれにあった 4. まったくなかった

問 14 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. よくあった 2. ときどきあった 3. まれにあった 4. まったくなかった

問 15 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、教育に關わるお金（保育料・学用品・給食費等）で困ったことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. よくあった 2. ときどきあった 3. まれにあった 4. まったくなかった

問 16 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください

- | | | | |
|---------|---------|---------|-------|
| 1. 電気料金 | 2. ガス料金 | 3. 水道料金 | 4. なし |
|---------|---------|---------|-------|

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 17 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従業員含む）をうかがいます。

（1）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--|------------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | 【(1) - 1へ】 |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
※、これまで就労したことがない | 【(2) へ】 |

(1) - 1 (1) で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（就業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。() 内に数字をご記入ください。

1週当たり () 日 1日当たり () 時間

(1) - 2 (1) で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例) 8時～18時のように、24時間制でお答えください。() 内に数字をご記入ください。

家を出る時刻 () 時 帰宅時刻 () 時

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しているが、 育児・介護休業中ではない	【(2) - 1へ】
2. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しているが、 育児・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労）で就労しており、 育児・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労）で就労しているが、 育児・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	【問 19へ】
6. これまで就労したことがない	

(2) - 1 (2) で「1. ～ 4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。
1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（就業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多い日数・時間についてお答えください。育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
() 内に数字をご記入ください。

1 週当たり () 日	1 日当たり () 時間
--------------	---------------

(2) - 2 (2) で「1. ～ 4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）8 時～18 時のように、24 時間制でお答えください。
() 内に数字をご記入ください。

家を出る時刻 () 時	帰宅時刻 () 時
--------------	------------

問 18 問 17 の (1) または (2) で「3.」、「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 20 へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問 19 問 17 の (1) または (2) で「5.」以前は就労していたが、現在は就労していない、または「6.」これまで就労したことがないに○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 20 へお進みください。
就労したいという希望はありますか、あてはまる番号・記号それぞれ 1 つに○をつけ、該当する () 内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1 年より先、一冊下の子ともが () 歳になったころに就労したい
3. すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい
→希望する就労形態
ア、フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）
イ、パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
→1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1 年より先、一冊下の子ともが () 歳になったころに就労したい
3. すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい
→希望する就労形態
ア、フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）
イ、パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
→1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間

あて名のお子さんの平日の「定期的」な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでの「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的に、幼稚園や保育所など、問20-1に示した事業が含まれます。

問20 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ---▶ **【問20-1へ】** 2. 利用していない ---▶ **【問20-5へ】**

問20-1 問20で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。
あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）	2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育所（国が定める施設基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）	4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模な保育施設（国が定める施設基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの）	6. 家庭内保育（保育者の家庭等で5人以下の子どものみを保育する事業）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが自治体が認証・認定した施設）
9. その他の認可外の保育施設	10. 児童発達支援事業所（地域での発達支援を提供する施設）
11. 居宅訪問型保育（ベビーママ・サポーターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）	12. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
13. その他（ ）	

問20-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週間当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、（ ）内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在	1 週当たり（ ）日	1 日当たり（ ）時間（ ）時～（ ）時
(2) 希望	1 週当たり（ ）日	1 日当たり（ ）時間（ ）時～（ ）時

問20-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。
「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 二宮町内	2. 他の市区町村
---------	-----------

問20-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。
主な理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの発達や発達のため	2. 子育てをしている方が育児に悩んでいる
3. 子育てをしている方が経済的余裕がある／求職中である	4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育てをしている方が病気や障害がある	6. 子育てをしている方が学生である
7. その他（ ）	

問20-5 問20で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
利用していない理由は何か。理由としてもっともあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用する必要がない	2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている	4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	8. 子どもがまだ小さいため、（ ）満くらいになったら利用しようと考えている
9. その他（ ）	

問21 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用希望が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）	2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育所（国が定める施設基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）	4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模な保育施設（国が定める施設基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの）	6. 家庭内保育（保育者の家庭等で5人以下の子どものみを保育する事業）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが自治体が認証・認定した施設）
9. その他の認可外の保育施設	10. 児童発達支援事業所（地域での発達支援を提供する施設）
11. 居宅訪問型保育（ベビーママ・サポーターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）	12. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
13. その他（ ）	

問21-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 二宮町内	2. 他の市区町村
---------	-----------

問21-2 問21で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～13にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育）をあわせて利用する場合を含む。の利用を強く希望しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 22 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい } 利用したい時間帯
3. 月に1～2回は利用したい } () 時から () 時まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい } 利用したい時間帯
3. 月に1～2回は利用したい } () 時から () 時まで

問 22-1 問 22 の (1) もしくは (2) で、「3」月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 同々仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要のため
4. 息抜きのため
5. その他 ()

問 23 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

あて名のお子さんについて、園休み・冬休みなど長期の休園期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい } 利用したい時間帯
3. 休みの期間中、週に数回利用したい } () 時から () 時まで

問 23-1 問 23 で、「3」休みの期間中、週に数回利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 同々仕事が入るため
2. 園い他等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要のため
4. 息抜きのため
5. その他 ()

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 24 あて名のお子さんは、現在、子育てサロン（親子が集まって過ごし、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、中継し来週にありします。）を利用していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を () 内に数字でご記入ください。

1. 利用している
1 週当たり () 回 もしくは 1 か月当たり () 回程度
2. 利用していない

問 25 子育てサロンについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いますが、あてはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を () 内に数字でご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい
1 週当たり () 回 もしくは 1 か月当たり () 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい
1 週当たり 更に () 回 もしくは 1 か月当たり 更に () 回程度
3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない
4. 利用したいとは思わない

問 25-1 問 25 で「4. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。利用したいと思わない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自宅から遠い
2. 施設の内容や利用方法がわからない
3. 保育所や幼稚園などを、定期的に利用している
4. 自分が施設の利用対象になるのかわからない
5. 子どもの年齢が大きくなり、園内では遊びづらい
6. 施設が混んでいる
7. 施設の雰囲気や設備が合わない
8. 特に利用する必要性を感じない
9. その他 ()

問 26 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものを答えてください。①～⑮の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている		B これまでに利用したことがある		C 今後利用したい	
①ファミリー・サポート・センター	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
②コミュニティ保育園 (いち・にの・さん、にのキッズ1)	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
③マタニティ教室	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
④離乳食講習会	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑤「にのほく」 (子育て世代副担支援センター)	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑥子育てサロンでの相談	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑦保健センター・交流事業 (でんでんむし)	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑧図書館の読み聞かせなど	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑨親子・教育相談	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑩育児・育児後援事業	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ

あて名のお子さんの病気の療育の対応についてうかがいます。
(平日の療育・保育を利用する方のみ)

問 27 平日の定例的な療育・保育の事業を利用していると思われる保護者の方(問 20 で「1. 利用している」に○をつけた方)にうかがいます。利用していない方は、問 28 にお進みください。
この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった → 【問 27-1 へ】 2. なかった → 【問 28 へ】

問 27-1 あて名のお子さんが病気やけがで療育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間にいったん療育方法としてあて名はまる記録すべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数も() 内に数字でご記入ください。(平日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

1年間の対応方法		日数	
ア 父親が休んだ		()	日
イ 母親が休んだ		()	日
ウ 親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった		()	日
エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた		()	日
オ 病院・療育院の療育を利用した(療育園で実施しているサービスを含む)		()	日
カ ベビーシッターを利用した		()	日
キ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた		()	日
ク その他()		()	日

ア、イに○がなくウ・クのいずれかに○がある場合 【問 27-5 へ】

【問 27-2 へ】

問 27-2 問 27-1 で「ア 父親が休んだ」「イ 母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病院・療育院のための療育施設等を利用したい」と思われましたか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけ、日数についても() 内に数字でご記入ください。なお、病院・療育院のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。かかりつけ医の受診が必要となります。

(1) 病院について

1. できれば病院療育施設等を利用したい → () 日 → 【問 27-3 へ】
2. 利用したいとは思わない → 【問 27-4 へ】

(2) 療育院について

1. できれば療育院療育施設等を利用したい → () 日 → 【問 27-3 へ】
2. 利用したいとは思わない → 【問 27-4 へ】

問 27-3 問 27-2 で「1. できれば病院・療育院療育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 市の施設(例：幼稚園・保育園等)に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て支援等の身近な場所で開催する事業(例：ファミリー・サポート・センター等)
4. その他()

→ 【問 28 へ】

問 27-4 問 27-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 育児・育児を他人に頼ってもらうのは不安	) -----> 【問 28 へ】
2. 事業の質に不安がある	
3. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない	
4. 利用方法・料率などがわからない	
5. 利用料がわからない	
6. 親が仕事を休んで対応する	
7. その他（ ）	

問 27-5 問 27-1 で「ア 父親が休んだ」「イ 母親が休んだ」に○がなく、「ウ 親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった」から「ク その他」のいずれかに回答した方にうかがいます。あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかつた場合、「できれば父親のいずれかが仕事を休んで書きたい。」と思われましたか。あてはまる番号 1 つに○をつけ、仕事を休んで書たかつた日数についても（ ）内に数字で記入ください。

1. できれば仕事を休んで書きたい → () 日 -----> 【問 28 へ】
2. 休んで書けることは非常に難しい・できない -----> 【問 27-6 へ】

問 27-6 問 27-5 で「2. 休んで書けることは非常に難しい・できない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの発達を理由に休みがとれない	)
2. 自費的なので休めない	
3. 休む日数が足りないのでは休めない	
4. 仕事の都合上、休めない	
5. その他（ ）	

あて名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 28 あて名のお子さんについて、日中の定時的な保育や食事のため以外に、私用、親の通院、不特定の親が等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1 年間の利用日数（おおよそ）を（ ）内に数字で記入ください。

利用している事業		日数（年間）
1. 一時保育（私用など理由を問わずに保育所（園）で、一時的に子どもを保育する	() 日	() 日
2. 幼稚園の預かり保育（不定期に利用する場合のみ）	() 日	() 日
3. 一時預かり（託児所など）	() 日	() 日
4. ファミリー・サポート・センター	() 日	() 日
5. 訪問看護等事業：トワイライトステイ※	() 日	() 日
6. ベビーシッター	() 日	() 日
7. その他（ ）	() 日	() 日
8. 利用していない		

↑

【問 29】へ

【問 28-1】へ

※トワイライトステイ・・・保護者が仕事・その他の理由により、半日の夜間又は休日・不在となることで家庭において児童を保育することが困難となった場合やその他の緊急の場合に、児童を見守り監視施設などにおいて保護し、生活指導、食事の提供等を行う事業です。（二府県では実施しておりません。）

問 28-1 問 28 で「8. 利用していない」と回答した方にご記入ください。現在利用していない理由は、
何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要はない	2. 利用したい事業がはじまらない
3. 事業の質に不安がある	4. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）が良くない
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 自分や事業の利便性になるかどうかかわからない	
8. 事業の利用方法（予約など）がわからない	
9. その他（ ）	

問 29 あて名のお子さんについて、私用・親の通院、不正職の就労等の目的で、年間何日くらい間 28
の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号す
べてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数
を（ ）内に数字でご記入ください。）なお、これらの事業の利用にあたっては、一定の利用
料がかかります。

1. 利用したい	計（ ）日
ア 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の買い物、リフレッシュ目的）	（ ）日
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	（ ）日
ウ 不正職の就労	（ ）日
エ その他（ ）	（ ）日

2. 利用する必要はない → 【問 30 へ】

【問 29-1】へ

問 29-1 問 29 で「1. 利用したい」に○をつけた方にご記入ください。問 29 の目的でお子さんを預
ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。あてはまる番号すべてに
○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育園等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）
3. 地域住民等が子育て支援等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問 30 あて名のお子さんについて、保護者の同意（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の冠婚葬
祭や育児不安・病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思
いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童発達施設等で一定期間、子どもを保
護する事業）の利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数
を（ ）内に数字でご記入ください。（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を数字で
ご記入ください。）なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計（ ）泊
ア 冠婚葬祭	（ ）泊
イ 保護者や家族の育児疲れ・不安	（ ）泊
ウ 保護者や家族の病気	（ ）泊
エ その他（ ）	（ ）泊

2. 利用する必要はない

あて名のお子さんが5歳以上（年長児）である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。※5歳未満（年中児以下）の方は問 35 へ

問 31 あて名のお子さんについて、小学校就学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了
後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、
それ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育」の場合には、利用
希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18 時のように 24 時間
制でご記入ください。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事	週（ ）日くらい
4. 公民館（ラヂアン、図書館など）	週（ ）日くらい
5. 学童保育等	週（ ）日くらい
6. 障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）	週（ ）日くらい
7. 学校の校庭や公園などの屋外	週（ ）日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい
9. その他（ ）	週（ ）日くらい

※ 学童保育・・・保護者が就労等により長期にわたらない場合などに、児童館の下、子どもの生活の場を
提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問 32 あて名のお子さんについて、小学校就学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終
了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつ
け、それの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育」の場合には、利用を
希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18 時のように 24 時間制
でご記入ください。※ たいふのことにありますが、現在お持ちのイメージでお願いします。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事	週（ ）日くらい
4. 公民館（ラヂアン、図書館など）	週（ ）日くらい
5. 学童保育	週（ ）日くらい
6. 障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）	週（ ）日くらい
7. 学校の校庭や公園などの屋外	週（ ）日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい
9. その他（ ）	週（ ）日くらい

育児休業や短時間勤務制度など職場の雇立支援制度についてうかがいます。

問 35 子どもが原則1歳（保育所における保育の要が認められないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満2歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）の期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 36 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけ、該当する（ ）内には数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 取得していた（取得中である）--->【問36-1へ】 2. 取得した（取得中である）--->【問36-1へ】 3. 取得していない --->【問37へ】	1. 取得していた --->【問37へ】 2. 取得した（取得中である）--->【問36-1へ】 3. 取得していない --->【問37へ】
取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

1. 職場に育児休業を求めにくい雰囲気があった
2. 仕事が多かった
3. （専任後に）仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に返るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 転勤先（国）などに移れることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が転勤、祖父母等の転勤にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めなかった）
12. 有給休暇のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
15. その他（ ）

問 33 問 31 または問 32 で「5. 学童保育」に○をつけた方にうかがいます。
あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますが、次の（1）、（2）のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。
なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい } 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい } （ ）時から （ ）時まで
3. 利用する必要はない

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい } 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい } （ ）時から （ ）時まで
3. 利用する必要はない

問 34 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。あてはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい } 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい } （ ）時から （ ）時まで
3. 利用する必要はない

問 36-1 問 36で母親・父親が「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した。→【問 36-2へ】	2. 現在も育児休業中である。→【問 36-7へ】
3. 育児休業中に転職した。→【問 37へ】	

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した。→【問 36-2へ】	2. 現在も育児休業中である。→【問 36-7へ】
3. 育児休業中に転職した。→【問 37へ】	

問 36-2 問 36-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。

(1) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった

問 36-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたいですか。()内に数字でご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間 () 歳 () か月	希望 () 歳 () か月
実際と希望が異なる場合 →【問 36-3-1へ】	実際と希望が同じ場合 →【問 36-4へ】

(2) 父親

実際の取得期間 () 歳 () か月	希望 () 歳 () か月
実際と希望が異なる場合 →【問 36-3-1へ】	実際と希望が同じ場合 →【問 36-4へ】

問 36-3-1 問 36-3で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

(2) 父親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 希望する保育所に入らなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が悪しくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 園部の受け入れ調整が滞っていないなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他 ()	

(2) 父親

1. 希望する保育所に入らなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が悪しくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 園部の受け入れ調整が滞っていないなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他 ()	

問 36-4 お勤め先に、育児のために、歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたいですか。()内に数字でご記入ください。

(1) 母親

() 歳 () か月

(2) 父親

() 歳 () か月

問 36-5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった。もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したが、利用しなかった（利用できなかった）

(2) 父親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった。もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したが、利用しなかった（利用できなかった）

問 36-6 問 36-5 で「3. 利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 短時間に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の継続にみてもらえななど、子どもをみてくれる人がいない
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 短時間に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

(2) 父親

1. 短時間に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の継続にみてもらえななど、子どもをみてくれる人がいない
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 短時間に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

問 36-7 問 36-1 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。あて名のお子さんが1歳もしくは2歳になったときに必ず利用できる事案があれば、1歳もしくは2歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事案があっても1歳もしくは2歳になる前に退職しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	2. 1歳になる前に退職したい
3. 2歳になるまで育児休業を取得したい	4. 2歳になる前に退職したい

(2) 父親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	2. 1歳になる前に退職したい
3. 2歳になるまで育児休業を取得したい	4. 2歳になる前に退職したい

問 36-8 問 36-7 で「3. 2歳になるまで育児休業を取得したい」と回答した方にうかがいます。あなたが育児休業を2歳になるまで取得したいと考える理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. できるだけ子どもの近くにいきたいから	2. 保育園を急いで探す必要がなくなるから
3. その他（ ）	4. 特に理由はない

子どもの権利についてうかがいます。

問 37 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問 38 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 人権や性別、宗教などで差別されないこと
2. 誰がいのある子が差別されないこと
3. 子どもが知りたいことを聞かれないこと
4. 暴力や言葉で傷つけないこと
5. 家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと
6. 自分の考えを自由に言えること
7. 人と違う自分らしさが認められること
8. 自分の秘密が守られること
9. 自分のことは自分で決められること
10. 自由な時間をもつこと
11. 自由な遊びでグループを作り集まれること
12. 必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること

問 39 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 常にしている
2. とまどきしている
3. あまりしていない
4. まったくしたことがない

子育て全般についてうかがいます。

問 40 本町における子育ての環境や支援への満足度について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

満足度が低い	←	5	4	3	2	1	満足度が高い
--------	---	---	---	---	---	---	--------

問 40-1 問 40 の回答「満足な理由」「不満な理由」をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください

【問40で満足な理由】

1. 住環境がよい
2. 自然環境がよい
3. 交通機関が便利
4. 保育サービス等が充実している
5. 保育園、幼稚園などに入りやすい
6. 子育て支援が充実している
7. 公園や子育て広場など子どもの遊び場が多い
8. 近所づきあいや地域活動が盛ん
9. 地域の子育てネットワークができていて
10. 子育てに関する情報が得やすい
11. 事故や犯罪が少なく安全
12. 学校教育が充実している
13. 放課後対応が充実している
14. 医療機関が充実している
15. その他 ()

【問40で不満な理由】

1. 住環境がよくない
2. 自然環境がよくない
3. 交通機関が不便
4. 保育サービス等が充実していない
5. 保育園、幼稚園などに入りにくい
6. 子育て支援が充実していない
7. 公園や子育て広場など子どもの遊び場が少ない
8. 近所づきあいや地域活動が盛んではない
9. 地域の子育てネットワークができていない
10. 子育てに関する情報が得にくい
11. 事故や犯罪が多く危険
12. 学校教育が充実していない
13. 放課後対応が充実していない
14. 医療機関が充実していない
15. その他 ()

問 41 子育てワンストップサービスについてうかがいます。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 利用している
2. サービスを知っているが利用していない
3. 知らない

※ 「子育てワンストップサービス」…子育てに関する各種申請や届出をマイナビサービスの「びったりサービス機能」や「お知らせ機能」を利用し、パソコンなどから申請ができるサービスです。現在、二宮町では児童手当などの手続きで利用可能ですが、今後、多様な手続きが可能になる見込みです。

問 41-1 問 41 で「2. サービスを知っているが利用していない」に○をつけた方にうかがいます。サービスを知っていて利用しない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 手続きの方法がわからない
2. 申請方法が複雑だった
3. 申請に必要なものを揃えるのが面倒
4. どこで申請できるのかわからない
5. 位置を利用するため不便である
6. その他 ()

問 42 子育てを楽しいと感じることは多いですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 楽しいと感じることが多い
2. 楽しいことと辛いことが同じくらい
3. 辛いと感じることが多い
4. わかりない
5. その他 ()

問 43 あなたは、子育てををしていて、不安や悩みなどはありませんか。

1. ある
2. ない

問 44 問 43 で「1. ある」に○をつけた方にうかがいます。子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 子どもに関すること

1. 病気や発達障害に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 子育て支援サービスのこと
4. 子どものしつけに関すること
5. 子どもと過ごす時間が十分取れないこと
6. 子どもの教育・保育に関すること
7. 子どもの発達や成長に関すること
8. 子どもの習字・器楽活動など
9. 特にない
10. その他 ()

(2) ご自身に関すること

1. 子育てに関して配偶者（パートナー）の協力が少ないこと
2. 配偶者（パートナー）と子育てに関して意見が合わないこと
3. 子育てが大変なこと、身近な人が理解してくれないこと
4. ご自身の子育てについて、身近な人の見る目が気になること
5. 子育てに関して話し相手や相談相手がいらないこと
6. は事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7. 配偶者（パートナー）以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8. 子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと
9. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
10. 特にない
11. その他 ()

二宮町子ども・子育て支援に関するアンケート調査 ～調査の趣旨とご協力をお願いします～

小学生のお子さん用

【ご協力をお願いします】

町民の皆さまには、日ごろから本町の子ども子育て支援行政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本町では、平成24年度に制定された「子ども・子育て支援法」に基づき、「二宮町子ども・子育て支援事業計画」を策定しております。

今回、令和7年度（2025年）から、新たな5か年計画を策定するにあたり、子ども・子育てに関する生活実態やご意見・ご要望などを把握するため、「二宮町子ども・子育て支援に関するアンケート調査」を実施いたします。

このアンケート調査は、町内の就学前のお子さんがいる700世帯及び小学生がいる300世帯を対象に選ばさせていただきます。子育てに関する皆さまのお考えや、子育てに関する実態を把握するとともに、ご意見やご要望を広くお聞かせいただき、計画策定に反映していきたいと考えております。

ご回答いただいた内容は、全て統計的に処理されます。また、無記名でご回答いただくため、お答えいただいた方の個人情報が漏れたり、ご迷惑をお掛けしたりすることは一切ございません。お忙しいところ、誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和5年12月

二宮町長 村田 邦子

- ・ご回答は、できるかぎりお名前のお子さんの保護者をお願いしますが、ご家族の方や一緒にいらっしゃる方にもご協力いただきますようお願いいたします。
- ・調査票の枚数が多くありますが、回答していただく方を限定している訳ではありませんので、最終までご回答くださいますようお願いいたします。
- ・番号を基とすることは、あくまでも項目の番号を、指定の欄だけ○で囲んでください。
- ・ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、12月28日（木）までに郵便ポストへ投函してください。（切手は不要です。）

・調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。
【お問い合わせ】 二宮町 健康福祉部 子ども・健康課 電話：0463-71-5962

FAX：0463-73-0134

※「子ども・子育て支援新制度」の趣旨・考え方

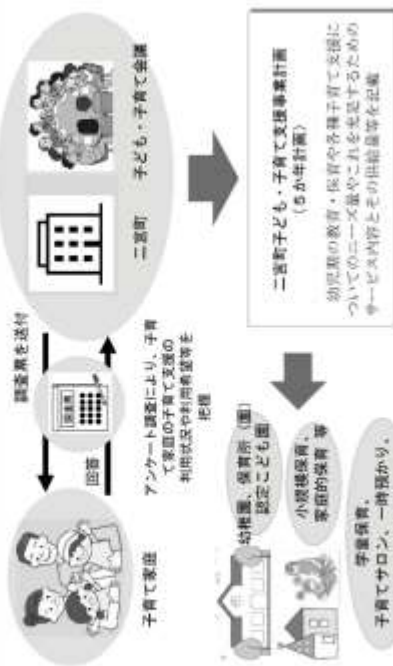
- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く価値観の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが豊かに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳幼児期におけるしっかりとした養育形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方を基に、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

アンケート調査票に使われている用語の定義

O子育て支援：教育・保育その他の子どもたちの健やかな成長のために行われる支援

O教育：家庭での教育を含めた広い意味で用いています

いただいたご回答は、地域の子ども子育て支援の充実に活かされます。
ぜひご回答いただきますよう、お願い申し上げます。



お住まいの地域についてうかがいます。

問 1 お住まいの地区としてあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 1. 一色 | 2. 緑が丘 | 3. 百合が丘 1丁目 |
| 4. 百合が丘 2丁目 | 5. 百合が丘 3丁目 | 6. 中津 |
| 7. 元町北 | 8. 元町南 | 9. 富士見が丘 1丁目 |
| 10. 富士見が丘 2丁目 | 11. 富士見が丘 3丁目 | 12. 校場 |
| 13. 上町 | 14. 中町 | 15. 下町 |
| 16. 梅沢 | 17. 緑地 | 18. 茶屋 |
| 19. 遊野 | 20. 川町 | 21. その他 () |

封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問 2 あて名のお子さんの学年にあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1. 1年生 | 2. 2年生 | 3. 3年生 |
| 4. 4年生 | 5. 5年生 | 6. 6年生 |

問 3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を () 内に数字でご記入ください。お 2 人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月日を、和暦を添った後、数字でご記入ください。

きょうだい数 () 人 末子の生年月 平成・令和 () 年 () 月生まれ

問 4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 () |
|-------|-------|------------|

問 5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問 6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にやっているのはどなたですか。お子さんから見た関係であてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|------------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他 () | |

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問 7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんから見た関係であてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------|--------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 |
| 4. 祖父母 | 5. 小学校 | 6. 学習保護 |
| 7. その他 () | | |

問 8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------|------------|--------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 小学校 |
| 4. 学習保護 | 5. その他 () | |

問 9 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | 【問 9-1へ】 |
| 2. 緊急時もしくは用事の時には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | 【問 9-2へ】 |
| 4. 緊急時もしくは用事の時には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | 【問 10へ】 |

問 9-1 問 9 で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の時には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 祖父母等の親族の身体面・精神的負担や時間的負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きいく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の精神的負担や精神的負担が大きいく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心ざしい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってさらさらしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問 9-2 問 9 で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の時には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 友人・知人の身体面・精神的負担や時間的負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きいく心配である |
| 3. 友人・知人の精神的負担や精神的負担が大きいく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心ざしい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってさらさらしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問 10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|-----------|-----------|---------|
| 1. いる／ある | 【問 10-1へ】 | 2. いない／ない | 【問 11へ】 |
|----------|-----------|-----------|---------|

問 10-1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人は、誰（どこ）ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 保健センター |
| 5. 小学校教員・SC・SSW | 6. 民生委員・児童委員 |
| 7. かかりつけの医師 | 8. 相談室 |
| 9. その他【例】ベビーシッター | () |

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（奥近な人、行政担当者など）からどのようなサポートが あればよいとお考えでしょうか、ご自由にお書きください。

ご家族の経済状況についてうかがいます。

問 12 昨年 1 年間（令和 4 年 1 月～令和 4 年 12 月）の、家族全員の収入（所得税・住民税などの税金や健康保険料・介護保険料などを支払った後の手取り額）の合計額は、およそいくらでしたか。年間の世帯収入額をご記入ください。

世帯の収入は年間（ ）万円 ぐらい

問 13 あなたの世界では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする事柄が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。あてはまる番号 1 つに O をつけてください。

1. よくあった 2. ときどきあった 3. まれにあった 4. まったくなかった

問 14 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。あてはまる番号 1 つに O をつけてください。

1. よくあった 2. ときどきあった 3. まれにあった 4. まったくなかった

問 15 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、教育に関わるお金（学用品費・給食費・修学旅行等の諸立費等）を支払うことができなかったことがありましたか。あてはまる番号 1 つに O をつけてください。

1. よくあった 2. ときどきあった 3. まれにあった 4. まったくなかった

問 16 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、以下の料金について、経済的な理由で支払いが滞ったことがありましたか。あてはまる番号すべてに O をつけてください。

1. 電気料金 2. ガス料金 3. 水道料金 4. なし

あて各のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 17 あて各のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】あてはまる番号 1 つに O をつけてください。

1. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しており、 育児・育児・介護休業中ではない	【(1) - 1へ】
2. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しているが、 育児・育児・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労）で就労しており、 育児・育児・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労）で就労しているが、 育児・育児・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	【(2) へ】

(1) - 1 (1) で「1. ～ 4.」(就労している)に O をつけた方にうかがいます。

1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（就労時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児・育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。() 内に数字でご記入ください。

1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間

(1) - 2 (1) で「1. ～ 4.」(就労している)に O をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児・育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間、必ず (例) 8 時～18 時のように、24 時間制でお答えください。() 内に数字でご記入ください。

家を出る時刻 () 時 帰宅時刻 () 時

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】あてはまる番号 1 つに O をつけてください。

1. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しており、 育児・育児休業中ではない	【(2) - 1へ】
2. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しているが、 育児・育児休業中である	
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労）で就労しており、 育児・育児休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労）で就労しているが、 育児・育児休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	【(2) へ】

(2) - 1 (2) で「1. ～ 4.」(就労している)に O をつけた方にうかがいます。

1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（就労時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児・育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。() 内に数字でご記入ください。

1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間

(2) - 2 (2) で「1. ～ 4.」(就労している)に O をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児・育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間、必ず (例) 8 時～18 時のように、24 時間制でお答えください。() 内に数字でご記入ください。

家を出る時刻 () 時 帰宅時刻 () 時

問18 問17の(1)または(2)で「3.」「4.」「パート・アルバイト等」で就労している)に○をつけたい方へうかがいます。該当しない方は、問21へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますが、あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問19 問17の(1)または(2)で「6.」以前は就労していたが、現在は就労していない)または「6.」これまで就労したことがない)に○をつけたい方へうかがいます。該当しない方は、問21へお進みください。

就労したいという希望はありますが、あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) ----> 【問21へ】

2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい

3. すぐでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア、フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ、パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり()日 1日当たり()時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) ----> 【問21へ】

2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい

3. すぐでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア、フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ、パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり()日 1日当たり()時間

問20 問19の(1)(2)で「2.」または「3.」(就労したい)に○をつけた方にうかがいます。仕事を始めた後、対象のお子さんは就労後の時間をどのような場所で過ごしますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自宅
2. 祖父母や友人・知人宅
3. 習い事
4. 公共施設(ラティアン、図書館など)
5. 児童館
6. 障がい児通所支援事業(発達後等デイサービス)
7. 学校の校庭や公園などの屋外
8. ファミリー・サポート・センター
9. その他()

あて名のお子さんの病気の療育の刻印についてうかがいます。

問21 この1年間に、あて名のお子さんが病気を休まなければならなかったことはありますか。

1. あった ----> 【問21-1へ】 2. なかった ----> 【問22へ】

問21-1 あて名のお子さんが病気を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対応方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数も()内に数字でご記入ください。(平日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

1年間の対応方法		日数
ア 父親が休んだ	()	() 日
イ 母親が休んだ	()	() 日
ウ 親戚・知人(同居者を含む)に子どもをまかせてもらった	()	() 日
エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	()	() 日
オ ベビーシッターを利用した	()	() 日
カ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()	() 日
キ その他()	()	() 日

ア、イに○がなくウ・キのいずれかに○がある場合【問21-5へ】

【問21-2へ】

問21-2 問21-1で「ア 父親が休んだ」「イ 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。その際、小学生が利用できる病児・病後児のための保育施設等があれば利用したいと思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、()内に利用日数をご記入ください。

(1) 病児について

1. できれば病児保育施設等を利用したい => () 日 ----> 【問21-3へ】

2. 利用したいとは思わない ----> 【問21-4へ】

(2) 病後児について

1. できれば病後児保育施設等を利用したい => () 日 ----> 【問21-3へ】

2. 利用したいとは思わない ----> 【問21-4へ】

問21-3 問21-2で「1.」できれば病児・病後児保育施設等を利用したい)に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設(例：幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で開催する事業(例：ファミリー・サポート・センター等)
4. その他()

----> 【問22へ】

問 21-4 問 21-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 育児・介護等を他人に頼ってもらうのは不安	)
2. 事業の質に不安がある	
3. 事業の利便性（立地やお預り時間・日数など）がよくない	
4. 利用方法・料額などがわからない	
5. 利用料がわからない	
6. 親が仕事を休んで対応する	
7. その他（	

問 21-5 問 21-1 で「ア 父親が休んだ」「イ 母親が休んだ」に○がなく、「ウ 親族・知人（同居を含む）に子どもをみてもらった」から「主 その他のいずれかに回答した方」にうかがいます。あて名のお子さんが休養やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなくなった場合、「でされば父の休みのいすれがが仕事を休んで書いた。」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、仕事を休んで書いた日数についても（ ）内に数字で記入ください。

1. でされば仕事を休んで書いた日数 → () 日	【問 22 へ】
2. 休んで書くことは非常に難しい・できない	【問 21-6 へ】

問 21-6 問 21-5 で「2. 休んで書くことは非常に難しい・できない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの発達を理由に休みがとれない	)
2. 日数短いため休みがとれない	
3. 休暇日数が足りないため休みがとれない	
4. 仕事の都合上、休みがとれない	
5. その他（	

あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 22 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や朝晩のため以外に、私用、親の通院、不登校の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を（ ）内に数字で記入ください。

利用している事業	日数（年間）
1. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	() 日
2. 夜間通達等事業：トワイライトステイ※	() 日
3. ベビーシッター	() 日
4. その他（	() 日
5. 利用していない	

【問 23】へ

【問 22-1】へ

※トワイライトステイ…保護者が仕事・その他の理由により、平日の夜間または休日・休日に不在となることで家庭において児童を養育することが困難となった場合やその他の緊急の場合に、児童を児童養護施設等において保護し、生活指導、食事の提供等を行う事業です（二市町では実施しておりません）。

問 22-1 問 22 で「5. 利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	)
2. 利用したい事業が地域にない	
3. 事業の質に不安がある	
4. 事業の利便性（立地やお預り時間・日数など）がよくない	
5. 利用料がわからない	
6. 利用方法・料額などがわからない	
7. 自分が事業の対象者になるのがわからない	
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない	
9. その他（	

問 23 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不登校の就労等の目的で、年間何日くらい問 22 の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字で記入ください）。なお、これらの事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計（ ）
ア 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事、リフレッシュ目的）	() 日
イ 習い事、学外行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	() 日
ウ 不登校の就労	() 日
エ その他（	() 日
2. 利用する必要はない	

問 24 あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹を含む）の育児、疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を（ ）内に数字で記入ください。（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字で記入ください）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計（ ）
ア 冠婚葬祭	() 泊
イ 保護者や家族の育児疲れ・不安	() 泊
ウ 保護者や家族の病気	() 泊
エ その他（	() 泊
2. 利用する必要はない	

あて名のお子さんの放課後の過ごし方や学校生活についてうかがいます。

問 25 あて名のお子さんは放課後（平日の小学校終了後）の時間どのような場所で過ごしていますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ該当する日数を数字でご記入ください。また、「6. 学習保護」の場合には、利用する時刻も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18 時のように 24 時間制でご記入ください。

1. 自宅	週（ ）日くらゐ
2. 祖父母や友人・知人宅	週（ ）日くらゐ
3. 画塾	週（ ）日くらゐ
4. 公民館（ラディアン、図書館など）	週（ ）日くらゐ
5. 学習塾	週（ ）日くらゐ
6. 画がけ児童所・交流事業（放課後等デイサービス）	週（ ）日くらゐ
7. 学校の校庭や公園などの野外	週（ ）日くらゐ
8. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらゐ
9. その他（ ）	週（ ）日くらゐ

問 26 あて名のお子さんの、放課後の過ごし方について、今後どのようなことを望みますか。もっともあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 学習保護を利用したい	
2. クラブ活動や学習塾など習い事をしたい	
3. 利用を希望するサービスは特になし	
4. その他（ ）	

問 27 土曜日、日曜日、祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、学習保護の利用希望はありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけ、また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）9 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

(1) 土曜日	
1. 低学年（1～3 年生）の間は利用したい	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6 年生）まで利用したい	（ ）時から（ ）時まで
3. 利用する必要はない	
(2) 日曜・祝日	
1. 低学年（1～3 年生）の間は利用したい	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6 年生）まで利用したい	（ ）時から（ ）時まで
3. 利用する必要はない	
(3) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中	
1. 低学年（1～3 年生）の間は利用したい	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6 年生）まで利用したい	（ ）時から（ ）時まで
3. 利用する必要はない	

問 28 放課後の過ごし方に関する情報を、どこから入手していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 学校	2. 司教課等の行政窓口
3. 町が配布するパンフレットやチラシ等	4. 町の広報紙・ホームページ
5. 知人・友人	6. インターネット
7. その他（ ）	8. どこに聞けばよいかわからない

問 29 お子さんの学校生活での悩ましいことはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 学校を休むことが多い
2. 疲れやすく、体力や気力がでない
3. 授業中、席に座っていられない
4. 友達からいじめられている不安がある
5. 友達をいじめたりしていないか不安に思う
6. 学校で子どもがトイレに入れない
7. 周囲の子ともから話している
8. 仲の良い友達がいらない
9. 授業中や休み時間にカガをする
10. 夢中に授業をきくと夢く習習がない
11. 学習が滞っている
12. 授業を妨害しているのではと不安に思う
13. 勉強がみんなについていけない
14. 学習成績が他の期待より低い
15. 通学途中で交通事故や犯罪にあう
16. 学校へ不審者が侵入し犯罪にあう
17. 友達から大目にされてはいないと感じがある
18. 給食を食べない・食べられない
19. 自分の荷物の管理ができない
20. 授業中寝ている
21. 勉強が楽にうまうまできない
22. 一緒に登下校する友達がいらない
23. 先生との相性が良くない
24. その他（ ）
25. 特に悩ましいことはない

子どもの権利についてうかがいます。

問 30 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 知っている 2 知らない

問 31 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 人種や性別、宗教などで差別されないこと
2. 誰がいのある子が差別されないこと
3. 子どもが知りたいことを聞かないこと
4. 暴力や虐待で傷つけないこと
5. 家族が中良く一緒に過ごす時間をもちつこと
6. 自分の考えを自由に言えること
7. 人と違う自分らしさが認められること
8. 自分の秘密が守られること
9. 自分のことは自分で決められること
10. 自由な時間をもつこと
11. 自由な遊び場やグループを作り集まれること
12. 必要な情報を得ることや、参加する手助けを求められること

問 32 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それを取り入れるように意識をしたことはありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 常にしている
2. ときどきしている
3. あまりしていない
4. まったくしない

子育て全般についてうかがいます。

問 33 本町における子育ての環境や支援への満足度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 満足度が低い 5 4 3 2 1 満足度が高い

問 33-1 問 33 の回答「満足な理由」「不満な理由」をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください

【問33で満足な理由】

1. 住環境がよい
2. 自然環境がよい
3. 交通機関が便利
4. 保育サービス等が充実している
5. 保育園、幼稚園などに入りやすい
6. 子育て支援が充実している
7. 公園や子育て広場など子どもの遊び場が多い
8. 近所づきあいや地域活動が盛ん
9. 地域の子育てネットワークができていて
10. 子育てに関する情報が得やすい
11. 事故や犯罪が少なく安全
12. 学校教育が充実している
13. 医療後援が充実している
14. 医療機関が充実している
15. その他（ ）

【問33で不満な理由】

1. 住環境がよくない
2. 自然環境がよくない
3. 交通機関が不便
4. 保育サービス等が充実していない
5. 保育園、幼稚園などに入りにくい
6. 子育て支援が充実していない
7. 公園や子育て広場など子どもの遊び場が少ない
8. 近所づきあいや地域活動が盛んでない
9. 地域の子育てネットワークができていない
10. 子育てに関する情報が得にくい
11. 事故や犯罪が多く危険
12. 学校教育が充実していない
13. 医療後援が充実していない
14. 医療機関が充実していない
15. その他（ ）

問 34 子育てワンストップサービスについてうかがいます。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「子育てワンストップサービス」…子育てに関する本町申請や届出をマイポータルの「びっすりサービス機能」や「お知らせ機能」を利用し、パソコンなどから手続きができるサービスです。現在、二宮町では児童手当などの手続きで利用可能ですが、今後、多様な手続きが可能になる見込みです。

1. 利用している 2. サービスを知っているが利用していない 3. 知らない

問 34-1 問 34 で「2. サービスを知っているが利用していない」に○をつけた方にうかがいます。サービスを知っていて利用しない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 手続きの方法がわからない
2. 申請方法が複雑だった
3. 申請に必要なものを揃えるのが面倒
4. どこで申請できるのかわからない
5. 役所を利用するに不便である
6. その他（ ）

問 35 子育てを楽しんでいると感じることは多いですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 楽しいと感じることが多い	2. 楽しいと感じることが多い	3. 楽しいと感じることが多い	4. わからない
5. その他 ()			

問 36 あなたは、子育てをしていて、不安や悩みなどはありますか。

1. ある	2. ない
-------	-------

問 37 問36で「1. ある」に○をつけた方になります。子育てに関して、目覚められていること、あるいは気になることは何ですか。それそれぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 子どもに関すること

1. 育児や育児サービスに関すること	2. 食事や栄養に関すること
3. 子育て支援サービスのこと	4. 子どものしつけに関すること
5. 子どもと過ごす時間が十分取れないこと	6. 子どもの健康に関すること
7. 子どもの友だちと遊ぶ機会に関すること	8. 子どもの不登校など
9. 特にない	10. その他 ()

(2) ご自身に関すること

1. 子育てに関して配偶者（パートナー）の関与が少ないこと
2. 配偶者（パートナー）と子育てに関して意見が合わないこと
3. 子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと
4. 自身の子育てについて、身近な人の見方が変になること
5. 子育てに関して話し相手や相談相手がないこと
6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7. 配偶者（パートナー）以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8. 子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと
9. 子育てによる身体的疲れが大きいこと
10. 特にない
11. その他 ()

問 38 二重町の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。あてはまる番号3つまで○をつけてください。

1. 子育てに関する相談、情報提供の充実
2. 親子・親同士との交流の場の充実
3. 地域における子どもの居場所の充実
4. 家庭の教育力向上のための学習機会の充実
5. 子どもの発達支援のための療育や相談、ヘルパー派遣などの充実
6. 子どもが家庭や子どもの大いさを学ぶことができる場の充実
7. 子どもが主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実
8. 児童虐待やいじめなどに對する対策の充実
9. 障がいのある子どもが地域で安心して生活できるよう障がい児施設の充実
10. ひとり親家庭に對する相談や生活支援の充実
11. 教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実
12. 仕事と子育てが両立できるよう就学前施設の開所数や内容の充実
13. 仕事と子育てが両立できるよう労働時間の短縮等、企業や労働者に対する啓発
14. その他 ()

問 39 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

切手は貼らずに同封の封筒に入れて、12月28日（木）までに郵便ポストへ投函してください。調査にご協力いただき、ありがとうございました。

二宮町
子ども・子育て支援に関するアンケート調査

発 行 年 月：令和6年3月

発 行：二宮町 健康福祉部 子育て・健康課

〒259-0196

神奈川県中郡二宮町二宮 961 番地

電 話：0463-71-5862